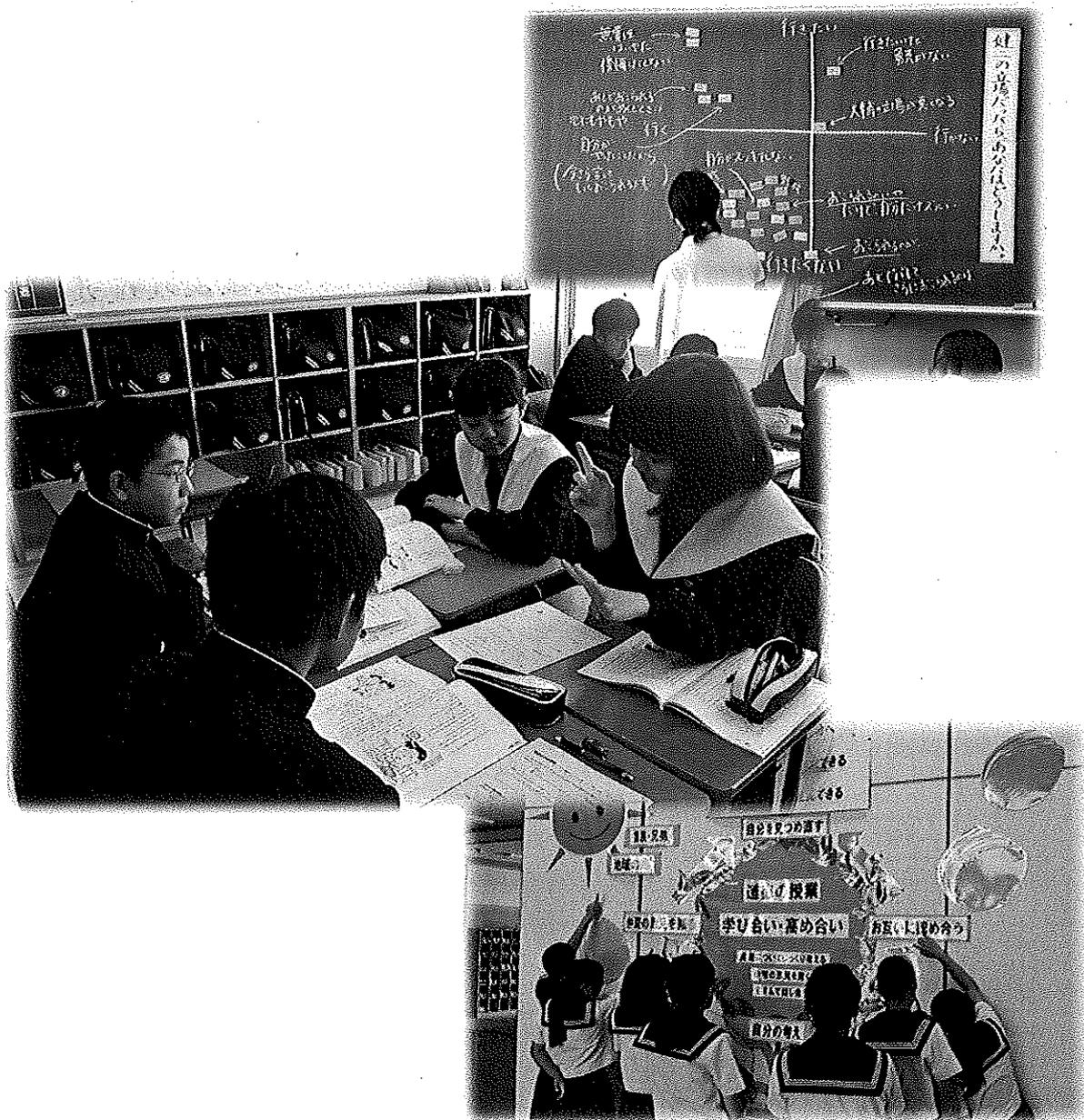


第54回愛知県道徳教育研究大会弥富大会

仲間と学び合い、よりよく生きる生徒の育成
—多様な価値に気づき、互いに高め合う道徳の授業を通して—

指導案・資料集



平成28年10月25日（火）
弥富市立弥富中学校

＜目 次＞

P. 1 分科会について

P. 2～81 公開授業指導案

階	クラス	授業者	教材名	内容項目	頁
3階	1年A組		夢をあきらめない	A-4 希望と勇気、克己と強い意思	2～5
	1年B組		無人スタンド	C-12 社会参画、公共の精神	6～9
	1年C組		いのちの判断	D-19 生命の尊さ	10～13
	1年D組		カーテンの向こう	B-6 思いやり、感謝	14～17
	1年E組		ライバル	B-8 友情、信頼	18～21
	1年F組		わたしは言った	C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	22～25
2階	2年A組		「親切」のできなかつた日	C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	26～29
	2年B組		たまたま女に生まれてだけ	B-9 相互理解、寛容	30～33
	2年C組		エースの出場辞退	B-9 相互理解、寛容	34～37
	2年D組		カーテンの向こう	B-6 思いやり、感謝	38～41
	2年E組		星置きの滝	B-8 友情、信頼	42～45
	2年F組		友達がもし…	C-11 公正、公平、社会正義	46～49
	特支I組		かぼちやのつる	A-2 節度、節制	50～53
1階	3年A組		人との接し方	B-6 思いやり、感謝	54～57
	3年B組		道はいつもひらかれている	A-5 真理の探究、創造	58～61
	3年C組		Re-born ～生まれ変わる～	B-9 相互理解、寛容	62～65
	3年D組		明かりの下の燭台	C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実	66～69
	3年E組		裏庭での出来事	B-8 友情、信頼	70～73
	3年F組		ワカサギ	C-10 遵法精神、公徳心	74～77
	特支J組		こどものとうひょう おとなのせんきよ	B-9 相互理解、寛容	78～81

P. 82～103 【資料】指導案集

学年	授業者	教材名	内容項目	頁
1年		あるレジ打ちの女性	D-22 よりよく生きる喜び	82・83
		やっぱり敬語が必要なわけ	B-7 礼儀	84・85
		村長の決断	C-10 遵法精神、公徳心	86・87
2年		ぼくらの村の未来	C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	88・89
		海と空 ～檜野の人々～	C-18 国際理解、国際貢献	90・91
		この子のために	D-19 生命の尊さ	92・93
		父の決意	D-22 よりよく生きる喜び	94・95
3年		塩狩峠	D-22 よりよく生きる喜び	96・97
		六千人の命のビザ	C-18 国際理解、国際貢献	98・99
		教室から地球へ	C-18 国際理解、国際貢献	100・101
特支		二度と通らない旅人	D-22 よりよく生きる喜び	102・103

P. 104～106 【資料】学年別年間指導計画

P. 107 【資料】ローテーション授業一覧表

P. 108～109 【資料】主発問記録シート

P. 110～115 【資料】協議会事前配付・事後まとめ

P. 116～117 【資料】個人評価

P. 118～119 【資料】道徳通信

P. 120 【資料】引用一覧

1 分科会について

13:55～14:40 分科会【体育館】

- 1 研究提案
- 2 テーマ別ワークショップ型協議会
- 3 指導助言

○ テーマ別ワークショップ型協議会について

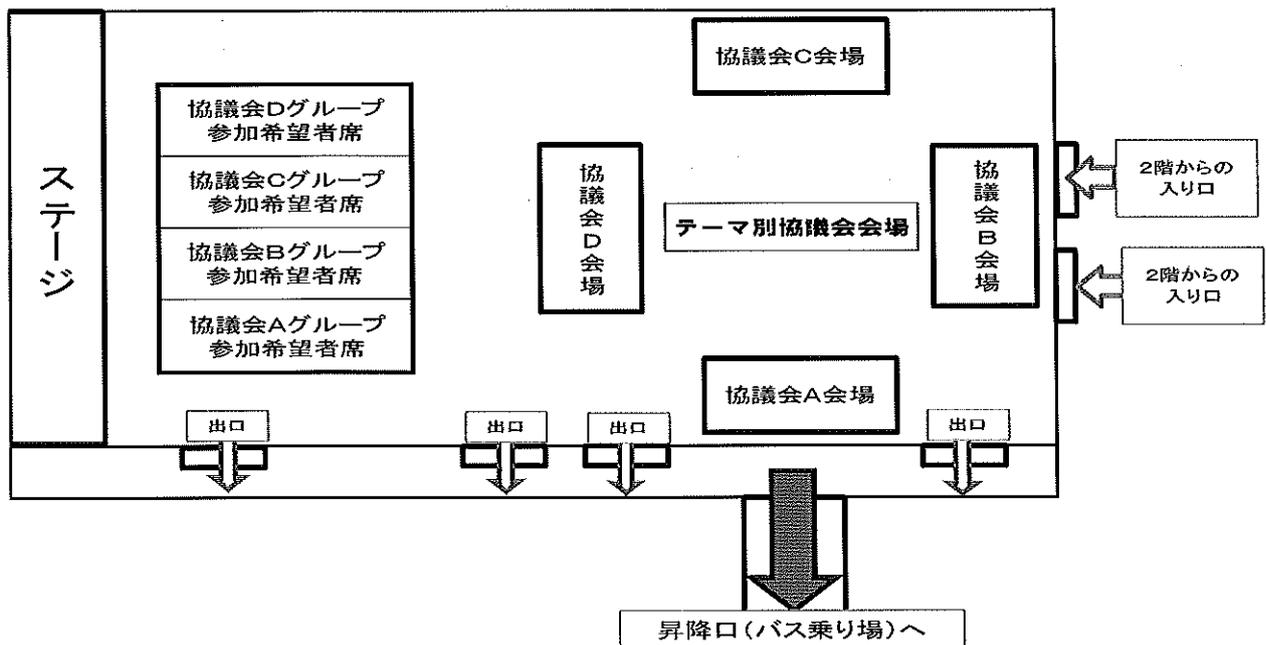
協議テーマ

- A：子ども同士が活発に意見交換できる方法
- B：授業が盛り上がる発問とは？
- C：楽しく学びのある道徳授業を考える
- D：特別支援学級における道徳授業

【参加される先生方へ】

分科会に参加される際に、上記A～Dのどの協議会に参加するか考えておいて頂けると助かります。ご協力をお願いします。

分科会会場図



- 1 主 題 希望と勇気、夢をあきらめない（A-4 希望と勇気、克己と強い意志）
- 2 教 材 「夢をあきらめない」（スーパーニュース：東海テレビ）
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

あなたの夢は何ですか？と聞かれると答えられない生徒は多い。本当は夢をもっているのに恥ずかしくて言えない人もいるが、本当に夢や目標がなくて答えられない生徒もいるであろう。人間は、本来、人間としてよりよく生きたいという願いをもっている。夢や目標をもち、それに向かって努力し続けることは人間としてよりよく生きるために大切なことである。子どもたちが抱く将来の夢は、長い期間を掛けて達成させる大きな目標であり、学校生活や身近な生活の中には、日々の達成を目指すような小さな目標もある。小さな目標であっても、一つずつ達成することを積み重ねていくことで、自信につながり、大きな目標に近づく力を生み出すことができると考える。よって、夢や目標を達成するまでには、困難や挫折に遭遇することも考えられるが、強い意志や忍耐によって乗り越えようとする自分をつくることの素晴らしさについて考えさせることは意義あることだと考える。

本教材は、愛知県に実在する車いすの教員を扱ったニュースを基にしている。交通事故で両脚を失うというハンディキャップがありながら、車いすマラソンに出会い、あきらめずにチャレンジすることの大切さを知り、教員になるという夢を叶えた人の話である。本教材を学習することで、夢を叶えることの大変さと、諦めずに努力を続けることで未来は開けるのだということを感じてほしい。また、この人は現在、近くの小学校に勤務しており、身近にいる人を題材にすることで、自分のこととして捉えやすくなると考え、本教材を設定した。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、全体的には感情を表に出すことが少なく一見大人しい学級であるように見える。生活面では、責任感の強い生徒が多く、係活動や与えられた役割への熱心な取り組みが見られる。その反面、自ら主体的に動ける生徒が少なく、与えられたことさえやっておけばあとはよい、と考える傾向が見られる。物事に一心不乱に取り組むことができるものの執着心が希薄であり、熱しやすく冷めやすい面があるため、目標を達成する前に諦めてしまう生徒が多い。

今回の教材を通して、夢や目標をもって生きることの大切さに気付かせたい。また、夢をもち続けることの難しさを感じながらも、壁にぶつかった際に、努力を続けることの大切さを実感できるようにしたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 鈴木さんの映像を見て、夢に対する困難があることに気づき、それを克服するために大切なことについて考えることができる。
- ・ 夢や目標をもつことの大切さについて、考えをより深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 自分が鈴木さんの立場になったときにはどうするかを小グループで話し合う。
- ・ グループで意見交換し、その後個人で考える。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

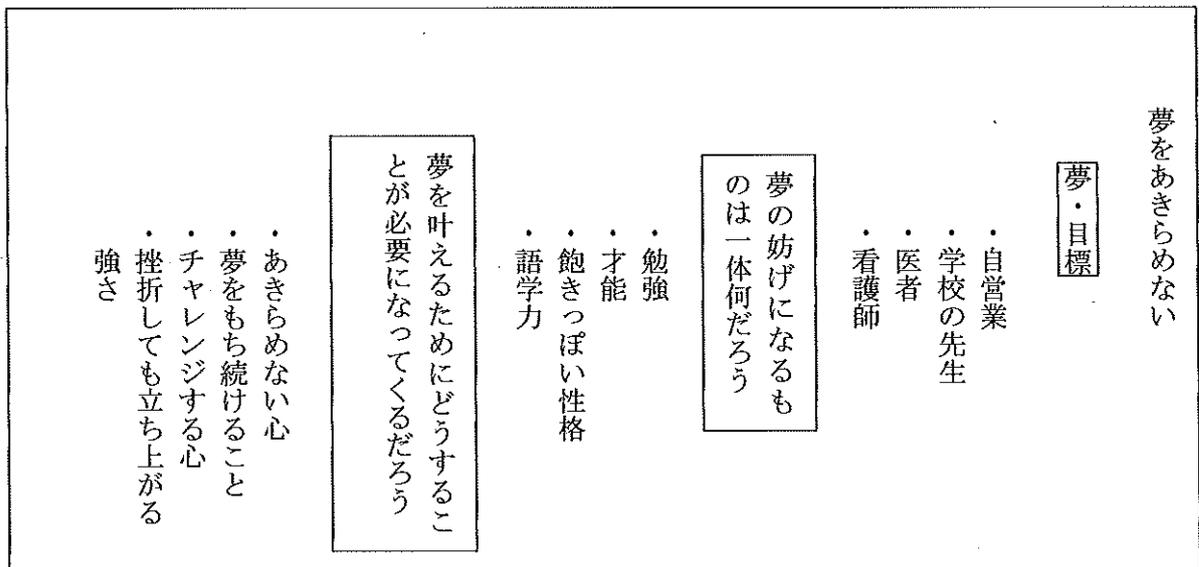
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 7分	1 主題を知る。 2 ワークシートに自分の夢を書く。 3 個人の考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢について学習することを知らせる。 ・ ワークシートを配布する ・ 夢の書けない生徒には身近な目標でもよいことを伝える。
深 め る	4 教材を視聴する。 (1) 教材の前半を視聴し、内容を確認する。 (2) 問題となる事柄について考える。 (3) 個人の考えを発表する。 <予想される意見> 「勉強」「才能」「飽きっぽい性格」 「語学力」 (4) 教材の後半を視聴し、内容を確認する。 5 夢を追いかけるために必要なことについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鈴木さんが事故に遭うまでの映像を視聴させる。 ・ 夢や目標を達成させるために立ちあがる壁について考えさせる。 ・ 車いすマラソンに出会ってもう一度夢を追いかけるまでを視聴させる。
35分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 夢を叶えるためにどうすることが必要になってくるだろう。 </div> (1) 個人で考える。 (2) <u>グループで話し合う。</u> (3) 各グループでまとめた意見を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢を叶える為にどうすることが大切になるかを自分に置き換えて考えさせる。 ・ 3人もしくは4人のグループを作らせる。 ・ グループで話し合うことで、夢が違ふと必要なことも違ふことに気付かせる。 ・ よいと思った意見はメモするよう指示する。

見 つ め 直 す 8分	<p>6 本時を振り返る。</p> <p>(1) エピソードを交え、鈴木さんの紹介をする。</p> <p>(2) <u>ワークシートにまとめを記入する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> 鈴木さんの紹介をし、身近な存在であることを知らせる。 本時の活動を振り返って、自分の考えをワークシートに書かせる。 自己評価を記入させる。
---------------------------------	--	---

(4) 評価

- 本時の活動を通して、夢に対する困難があることに気づき、それを克服するために大切なことについて考えることができたか。
- 夢や目標をもつことの大切さについて、考えをより深めることができたか。

(5) 板書計画

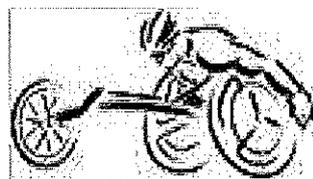


道徳プリント「夢をあきらめない」

1年 組 番 氏名



- ①あなたの夢を書いてみよう。
- ②あなたの夢の妨げになるものは何だろう。
- ③夢を叶えるためにどうすることが必要になってくるだろう
- ④この時間を通して感じたことを書いてみよう。



<本時の振り返り>

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 公共の精神 (C-12 社会参画、公共の精神)
- 2 教 材 「無人スタンド」(明るい人生 1年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生のこの時期は、既成のものに対する反発心が生じる年代であるが、その一方で、自己中心的で自分勝手な言動を良くないことであると思うことができ、社会の仕組みもある程度理解できるようになり、人間のよりよい生き方について自覚をもち始めるようになる。そこで、法やきまりを守ることでよしとせず、周りにも声をかけ合って、ともに社会をよりよくしようとする気持ちを高めることが大切であると考え。

本教材は、わたしの家の近くで熱心に農業を続けている千葉さんが、道路沿いの軒先に野菜を並べて販売している「無人スタンド」を舞台にしたものである。わたしが、無人スタンドで三百円の代金のうち百円しか置いていかなかった少年を見かけるものの、声をかけることができず、その少年はその場を立ち去ってしまう。後日、千葉さんにたまたま会ったわたしはそのことを話し、注意すればよかったと思っていることを伝えた。すると彼女は「そんなことで近所の人と、ガタガタしたくないし、あまり角をたてないほうがいいわよ。」と不機嫌そうに言うのであった。少年のために注意すべきだったのではと思うわたしの自責の念と、千葉さんの言葉との間で、釈然としないものを感じるわたしの心情を考えたをもとに、みんなが幸せにスタンドを利用するために何が必要であったかを考え、公共の精神について考えを深められるようにしたい。また、社会生活をよりよいものにしていくためには、社会のルールやマナーを大切に自他への配慮と思いやりをもち、周りの人々と声をかけ合って、ともに明るく住みやすい世の中にしていこうとする気持ちが大切である。そのような事にまで生徒一人ひとりの考えを深めていきたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、笑顔が多く、明るい雰囲気である。明朗活発だが、幼さの残る生徒が多く、男女分け隔てなく関わるることができる生徒が多い。また、すすんで他の生徒の活動を手伝うことができたり、学級のために行動できたりする生徒もいる。しかし、時に自分のことを優先するために時間に遅れてしまうなど、周りに迷惑をかける場面が見られることもある。

本教材を通して、自己中心的な言動ではなく、ルールを守ること、さらに、相手への配慮と思いやりを大切に、明るく住みやすい世の中にしていくためには、何を大切にしていけばよいのかを考えることをもとにして、公共の精神について考えさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 無人スタンドをめぐる登場人物の心情を考え、他者と意見交換をすることで、公共の精神を深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体での意見交換を通して、他者の様々な考えに触れる。
- ・ 意見を記述してから少人数のグループで話し合うことで、自分の考えを深める。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 7分	1 日ごろの生活で、「〇〇しておけばみんなのためになったな」と思うことはないか思い出す。 2 無人スタンドの写真を提示し、本時の教材について知る。	<ul style="list-style-type: none"> 市松模様のコの字型隊形で授業を始める。 無人スタンドを舞台にした物語であることを伝える。 無人スタンドの写真を提示して、無人スタンドについて知っていることを聞く。
深める 35分	3 教材の前半の範読を聞き、内容を理解する。 ○ どうして少年は戸惑いの表情を見せたのだろうか。 <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> お金が足りなかったから。 百円で持って行こうとしたのを見られたから。 4 教材の後半の範読を聞き、内容を理解し、「わたし」と「千葉さん」の心情を考え、 <u>自分の意見をワークシートの記入し、発表する。</u> ○ あなたは、「わたし」と「千葉さん」のどちらに共感しますか。 <予想される意見> 【わたし】 <ul style="list-style-type: none"> 少年のために注意すべきである。 【千葉さん】 <ul style="list-style-type: none"> 他人を簡単に疑うのはよくない。 5 <u>問題点を考え、グループで話し合う。</u> ○ 幸せに無人スタンドを利用している人は誰だろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配付する。 登場人物を確認しながら、場面を思い出させる。 ワークシートに自分の意見を記入させ、黒板に名札カードを貼り付けるよう声をかける。 全員が貼り付いたら、生徒に理由を発表させる。 4～5人のグループ隊形をつくるように指示する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> みんなが幸せに無人スタンドを利用するためにはどうしたらよいだろうか。 </div> <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> 誰もがわかりやすく利用できる工夫をする。 他人のことを信じることを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見をワークシートに記入させる。 話し合った内容を発表するように伝える。
見つめ直す 8分	6 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 隊形をコの字型隊形に戻すように指示する。 ワークシートが書き終わった生徒数名に感想を発表させる。 自己評価を記入させる。

(4) 評価

- ・ 無人スタンドをめぐる登場人物の心情を考え、他者と意見交換をすることで、公共の精神を深めることができたか。

(5) 板書計画

The blackboard contains the following elements:

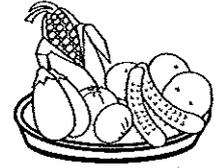
- Flowchart:** A central horizontal line with arrows pointing to the left and right. Above the line are boxes for 'わたし' (I) and '千栗さん' (Chikuri-san). Below the line are boxes for '少年' (Shounen) and 'お店' (Mise).
- Photos:** Three small photographs are pasted on the board. The first shows a person at a stand. The second shows a group of people. The third shows a stand with a sign.
- Text:**
 - On the left: 'わたし' (I) and '少年' (Shounen) with handwritten notes: '少年のため' (For the sake of the boy), 'お店が嫌な店' (A shop I don't like), 'お店が嫌な店' (A shop I don't like), 'お店が嫌な店' (A shop I don't like).
 - In the center: '少年' (Shounen) with handwritten notes: '人を下かつ' (Looking down on people), '少年が嫌な店' (A shop I don't like), 'お店が嫌な店' (A shop I don't like), 'お店が嫌な店' (A shop I don't like).
 - On the right: '千栗さん' (Chikuri-san) with handwritten notes: '代金は空き缶' (The money is an empty can), '全て百円の徳園で' (All at 100-yen Tokuen), '代金は空き缶' (The money is an empty can), '代金は空き缶' (The money is an empty can).
- Other:** A circled note at the top right says 'わたしと千栗さん' (I and Chikuri-san) and 'の足らなくてをいふよつ' (Saying it's not enough). A title '無人スタンド' (Unmanned Stand) is written vertically on the right side.

1年 組 番 名前〔 〕

タイトル『 』を読んで考えよう

※ 登場人物

「 」 「 」 「 」 「 」

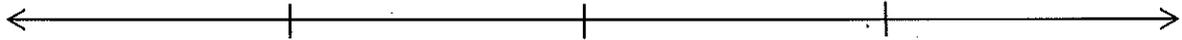


あなたは、「わたし」と「千葉さん」のどちらに共感しますか？

【わたし】

or

【千葉さん】



〔理由〕

みんなが幸せに無人スタンドを利用するためにはどうしたら良いだろうか？

【話し合いの中で印象に残った友だちの意見】

.....

.....

.....

【自己評価】(1 できなかった・2 あまりできなかった・3 まあできた・4 よくできた)

- ・自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？ (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)
- ・友達の意見や考えを理解できましたか？ (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)
- ・自分の考えを深めることはできましたか？ (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4)

【授業を振り返って・感想】

.....

.....

.....

- 1 主 題 生命の尊さ (D-19 生命の尊さ)
- 2 教 材 「いのちの判断」(NHK for School 道徳ドキュメント)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

現代は医療技術が発達し、人間の寿命を飛躍的に延長させた。同時に、生命に対する倫理的な問題も抱えている。中でも臓器移植に関連する「脳死」が生か死かという概念は、簡単には答えの出せないものがある。最近は、「ムカついたから」「誰でもよかった」という動機での殺人事件も増えており、生命に対する考えが希薄になってしまっていると感じることが多い。中学生にとっても、漫画やゲームの中で人を傷つけるシーンを目にすることも多く、命の尊さに触れる機会が少なくなっているように思う。

本教材は、事故で脳死になった息子の臓器提供を許可するか葛藤する永吉さん夫婦の考えに触れるものである。医者になることが夢だった息子の洋介が転落事故により脳死になる。洋介のドナーカードには、「脳死、心臓が停止した場合すべての臓器を提供したい」と記されている。それを見た永吉さん夫婦は、「他の人の役に立ちたい」という息子の思いと、「親より先に死んだということ認めたくない」「脳死でも、まだ生きる可能性を信じたい」という思いに葛藤する。悩んだ末に、息子の意思を尊重するために、永吉さん夫婦は臓器提供を許可する。洋介さんや永吉さん夫婦の思いを通して、生命の大切さや命を巡る人々の深い思いに気づき、自他の生命を尊重しようとする態度を身に付けさせていきたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、明るく元気で、相手のことを思いやる生徒が多い。休み時間には、勉強を教え合ったり、給食の時間には、男女隔たりなく談笑したりする様子が見られる。しかし、日常生活の中で些細なことからけんかをしてしまう時に、「死ね」「いなくなれ」などと、相手の気持ちを考えずに傷つけるような発言をする生徒もいる。中学生の時期は、健康に毎日が過ごせる場合が多いためか、生命にありがたみを感じて生活している生徒は決して多いとは言えない。また、核家族化が進み、身内の不幸を経験したことがない生徒が多く、生命が有限であり、かけがえのないものであることを真に実感できている生徒は少ない。そこで、本教材を通して生命の尊さに気付かせ、自他の生命を大切にすることを育てたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

永吉さん夫婦の考えに触れ、自分の意見を持ちつつ、友達の考えを聞いて生命の尊さに対する多様な考え方があることを知ることから、自他の生命を大切にすることを深める。

(2) ねらいにせまる学習活動

個人で考えてから全体で意見を共有することで、生命に対する多様な考えを聞き、自分の考えを見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

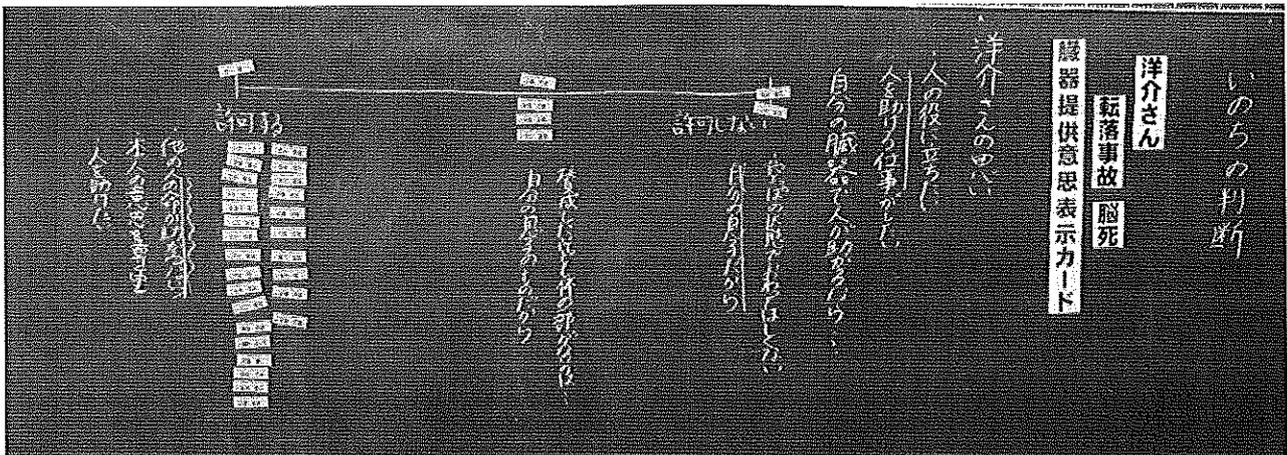
過程	学習活動	指導上の留意点
つかむ 5分	<p>1 ドナーカードについて知る。</p> <p>○ もし、あなたが死亡したと判断されたとしたら、自分の臓器提供を許可しますか。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人の役に立つのなら、許可する。 ・ 自分の体は、人にあげたくない。 ・ わからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際のドナーカードと、拡大印刷したドナーカードを提示する。 ・ 裏面に臓器提供の許可が選択できる部分があることを知らせる。
深める 37分	<p>2 教材を視聴する。</p> <p>(1) 教材の前半を見て、あらすじを確認する。</p> <p>○ 洋介さんは、どんな思いでドナーカードを残したのでしょうか。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医者をめざしていたから、人の役に立ちたい。 ・ 人を助けたいから。 ・ 命の大切さを知っているから。 <p>3 永吉さん夫婦の立場に立って考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配る。 ・ 医者を目指し、人の役に立ちたいという夢をもっていた洋介さんの気持ちを押さえる。 ・ 「脳死」と「心停止」のちがいについて説明する。 ・ 永吉さん夫婦が悩んでいた部分の台詞を抜き出し、どんな思いで悩んでいたか思い出させる。
<p>あなたがもし永吉さん夫婦の立場だったら、息子の臓器提供を許可しますか。</p>		
	<p>(1) <u>ワークシートに自分の考えを記入する。</u></p> <p>(2) <u>意見を発表し合う。</u></p> <p><予想される意見></p> <p>【許可する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 息子の意思を尊重したいから。 <p>【許可しない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 息子の死を認めたくないから。 ・ 誰かの命が助かるなら、したいけど、息子の体は傷つけないから。 <p>4 自分の家族の臓器提供について考える。</p> <p>○ あなたの家族が、もしドナーカードに「臓器提供してもよい」と意思表示していたら、臓器提供を許可しますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの数直線上に○をつけ、理由も書かせる。 ・ 黒板上の数直線上に名札カードを貼らせる。 ・ 様々な立場から意見を発表させ、多様な価値観に触れさせる。 ・ 永吉さん夫婦の立場で考えた場合と、自分の立場で考えた場合の答えのちがいについて考えさせる。

	<p>(1) ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>(2) 意見を発表し合う。</p> <p><予想される意見></p> <p>【許可する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体の一部がなくなるのは嫌だけど、自分の家族が決めたことは貫いてあげたい。 ・ 脳死の状態だと迷うけど、人の命を救うことができるなら。 <p>【許可しない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族の意見を尊重してあげたいけれど、回復することを願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数人に発表させる。
まとめ 8分	<p>5 「いのち」について考えたことをまとめる。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 臓器提供する人も、しない人も命を大切にしている。 ・ 「いのちの判断」をすることは、とても難しい。 <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入し、数名に発表させる。 ・ 自己評価を記入させる。

(4) 評価

永吉さん夫婦の考えに触れ、自分の意見をもちつつ、友達の考えを聞いて生命の尊さに対する多様な考え方があることを知ることから、自他の生命を大切にする心情を深めることができたか。

(5) 板書計画



いのちの判断

1年 組 番 氏名

洋介さんは、どんな思いでドナーカードを残したのでしょうか。

脳死とは・・・脳全体の機能が失われた状態。薬剤や人工呼吸器などによって、しばらくは心臓を動かすことができる。

あなたがもし永吉さん夫婦の立場だったら、息子の臓器提供を許可しますか。理由も書きましょう。

許可する

許可しない

理由を書きましょう。

あなたの家族がもし、ドナーカードに「臓器提供してもよい」と書いていたら、許可しますか。理由も書きましょう。

許可する

許可しない

理由を書きましょう。

今日の授業を通して、「いのち」について考えたこと

<本時の振り返り>

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 思いやりの心 (B-6 思いやり、感謝)
- 2 教 材 「カーテンの向こう」(明るい人生 1年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりの心は、他の人の立場を尊重しながら、親切にしたり、励ましたりする生き方として現れる。したがって、思いやりの根底には、人間に対する深い理解と共感がなければならず、単なる同情と考えるべきではない。しかし、わたしたちは、つつい自己中心的な考えに陥りがちである。他の人との関わりの中で、温かい人間関係を深め、これを身に付けていくことは人としてきわめて大切なことであると考えられる。

中学生は、他の人との関わりをもつことの大切さを理解できるようになってくる時期である。しかし、人と人との関わりが少なくなっている現代の社会環境の中で、自己中心的な判断に陥りやすく、他の人を省みない言動をとることも多くある。そこで、自分も他の人も、かけがえのない人間であることを自覚することが大切であり、その上で、感謝と思いやりをもって人に接することができるよう態度を育てていきたい。

本教材は、重症患者がベッドを並べて横たわっている病室内でのやりとりである。患者たちは自分で起き上がることもできず、何の変化もない毎日を送っている。唯一の楽しみは、ヤコブがカーテンの隙間から外の様子を眺め、話してくれることである。その話は他の患者の生きる希望になっていた。しかし、ヤコブしか外が見られないことに不満を抱く「わたし」は、いつしかヤコブの死を願うようになる。ヤコブの死後、「わたし」はカーテンの外を見ることができた。しかし、カーテンの向こうは、冷たいレンガのかべだった。本教材を通して、ヤコブの思いやりの深さ、「わたし」の人間的な弱さや醜さに気付かせることと、思いやりの心をもって人と関わることの大切さや、本当の思いやりとは何なのかということを考えさせていきたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、明るく元気があり、素直な子が多い。道徳の授業で積極的に挙手・発言できる生徒は多くはないが、自分とは違う他の人の意見に耳を傾け、照らし合わせながら自分の考えを深めていこうとする姿勢は見られる。しかし、普段の生活の中で相手の気持ちを考えられずに、自分中心な言動をしてしまい、相手に嫌な思いをさせたり、傷つけてしまったりする場面も多く見られる。他の人との関わりをもつことは、社会の中で生きていく上でとても重要なことである。そこで、相手の置かれている状況を想像したり、相手の立場を理解したりすることを大切にしながら、相手に対する思いやりの心をもって接していくことの大切さを、本教材を通して考えさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

本教材を通じて、「思いやりの心」について自分の意見を持ちつつ、友達の意見を聞いて多様な考え方があることを知ることで、自分の考えをより深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 各グループでの話し合い活動をする。
- ・ 意見交換を終えた後に、もう一度自分の意見を見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

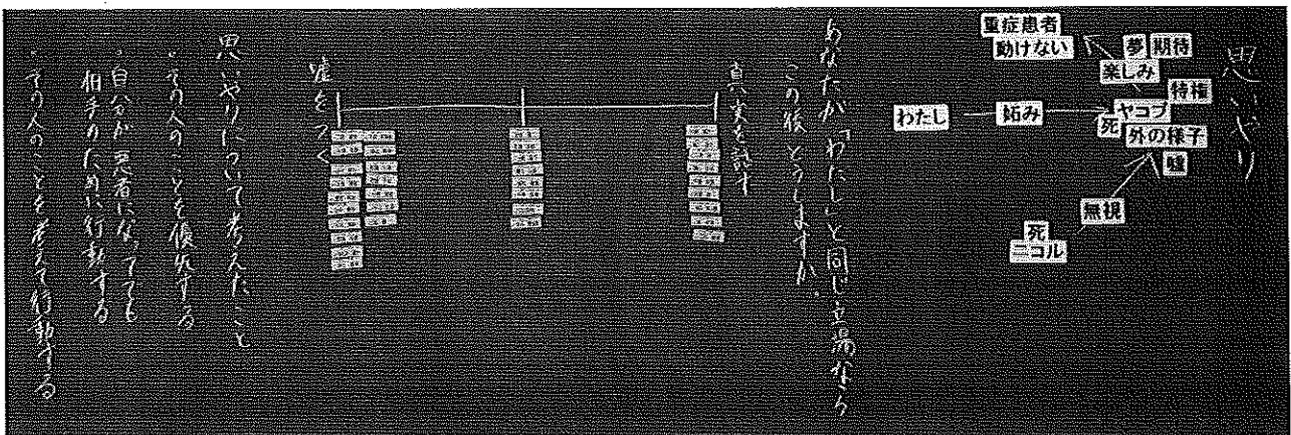
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	<p>1 思いやりについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 思いやりとは何ですか。 ○ 思いやりのある行動とはどんな行動ですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの体験や見たり、聞いたりした経験から「思いやり」について考えて発表させる。
深 め る 4 0 分	<p>2 教材を読む。</p> <p>(1) 教材の前半を読み、あらすじの確認をする。</p> <p>(2) 教材の後半を読み、あらすじの確認をする。</p> <p>3 カーテンの向こうが冷たいレンガのかべだとわかった後の「わたし」の気持ちを考え、発表する。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤコブは嘘をついていたのか。 ・ 死ねばいいと思ってしまって情けない。 ・ 本当のことを言ってほしかった。 <p>4 「わたし」の立場になって考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヤコブが外の様子を話すことだけが、重症患者の唯一の楽しみであるという状況を確認する。 ・ 「わたし」がヤコブに対して、にくらしい気持ちが芽生え、それが「死ねばいい」という思いに変わっていたことを確認する。 ・ ヤコブが嘘をついていたことを確認する。 ・ 配付したワークシートに、自分の考えを記入させる。 ・ 全員を立たせ、同じ意見が出たら座らせていき、全員の意見を出させる。 ・ ワークシートの数直線上に○をつけ、理由も書かせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> あなたが、「わたし」と同じ立場なら、この後どうしますか。 </div>		
<p>(1) 名札カードを黒板に貼る。</p> <p>(2) それぞれの意見の理由を発表する。 <予想される意見></p> <p>【嘘をつく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤコブのしてきたことを無駄にしたくない。 ・ ヤコブのためにも続けたい。 <p>【真実を話す】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤコブが苦しかったことを伝えたい。 ・ 嘘はよくないから。 <p>(3) <u>グループで意見交換をする。</u></p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入が済んだ人から、順に黒板に貼らせる。 ・ それぞれの意見を聞いて、よいと思ったものはメモさせる。 ・ 4、5人のグループを作り、お互いの意見を聞き合う。 ・ 意見交換が終わったら、質問をし合うように伝える。

	<p>5 もう一度、「わたし」の立場になって考える。</p> <p>(1) 意見が変わった生徒の発表を聞く。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 嘘をつく方が、ヤコブのためになると思った。 ・ ヤコブが嫌われたままなのはかわいそう。 <p>(2) 意見が変わらなかった生徒の発表を聞く。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やっぱ、ヤコブの後を引き継いだ方がよいと思う。 ・ それでもヤコブが嫌われたままなのは納得がいかない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートの数直線上に○をつけ、理由も書かせる。 ・ 意見が変わらなくてもよいことを伝える。
<p>ま と め 5 分</p>	<p>6 思いやりのある行動をする時、何を大切にするとよいかを考える。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分を犠牲にしても誰かを助けること。 ・ 本当に相手のためになることをすること。 <p>7 本時のふり返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の内容をふり返らせ、ワークシートに書かせる。 ・ 数人に発表させる。 ・ 自己評価を記入させる。

(4) 評価

本教材を通じて、「思いやりの心」について自分の意見をもちつつ、友達の見解を聞いて多様な考え方があつたことを知ることで、自分の考えをより深めることができたか。

(5) 板書計画



カーテンの向こう

組 番 氏名

1 カーテンの向こうが「かべ」だと理解したあとの「わたし」の気持ちを考えよう。

2 あなたが、「わたし」と同じ立場なら、この後、どうしますか。
当てはまるところに○をつけましょう。その理由も書きましょう。

ヤコブのように
嘘をつく

ヤコブの行いの
真実を話す

--	--

理由

3 班で話し合った後、あなたが、「わたし」と同じ立場なら、この後、どうしますか。
当てはまるところに○をつけましょう。その理由も書きましょう。

ヤコブのように
嘘をつく

ヤコブの行いの
真実を話す

--	--

理由

4 今日の感想（思いやりについて考えたことをまとめよう）

ふり返り

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

①自分の考えを相手に伝えることはできましたか	1	2	3	4
②相手の意見や考えを理解することができましたか	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか	1	2	3	4

- 1 主 題 葛藤の中で育まれる友情 (B-8 友情、信頼)
- 2 教 材 「ライバル」(明るい人生 1年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学校では集団を意識し、行動する場面がほとんどであり、生活の中で友達を尊重し、助け合う気持ちが大切になってくる。友達を尊重し、助け合う気持ちを育てるためには、友達を信頼し、より確かな友情を育んでいく必要がある。しかし、その中で友達にねたみ等の気持ちが生じることは誰しもが経験することである。この気持ちをもち続けては、深い友情を育むことはできない。

本教材は、啓介と康夫が友人でありながら、水泳のライバルでもある二人の気持ちの葛藤を考えさせるものとなっている。啓介は康夫が病気になる、友人としては悲しい気持ちになるが、ライバルとしては、ほっとした気持ちになってしまう。反対に康夫は啓介が病気を喜んでいると思い、見舞いに来て冷たくあしらってしまう。だが、お互いが自分の気持ちを見つめ直し、友人そしてライバルとしての気持ちが葛藤する中でお互いの信頼を築いていく。お互いのことを思い、考えることで友情、信頼の心を高めていく。本教材を通して、生徒にねたみ等の気持ち以上に信頼する気持ちをもたせ、強い絆で結ばれた友達を作ることができるように、友情の大切さを学ばせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、全体的に明るく、誰に対しても分け隔てなく話すことができる生徒が多くいる。放課中も積極的にコミュニケーションをとり、クラスの雰囲気は明るい。道徳以外の授業では、発言を積極的に行う姿がよく見られる。しかし、道徳の授業で発言する場面や友達と意見交換する場面では、自分の意見をすすんで発表できる生徒は少ない。だが、ワークシート等を見ると、自分の意見をしっかりと書いている生徒がほとんどである。つまり、自分の意見に自信をもつことができない生徒が多くいるのがクラスの実態である。これは、クラスの友達同士がまだ信頼し合うところまで友情が高まっていないことが影響していると考えられる。そこで本教材を通して互いの信頼を高め、より積極的に発言や活動ができるようになってほしい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 本教材を通じて、自分と友人との間にも起こりうるトラブル等について考え、周りの意見を聞くことで、深い友情について考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ グループでの話し合い活動をする。
- ・ 学級全体で意見交換をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

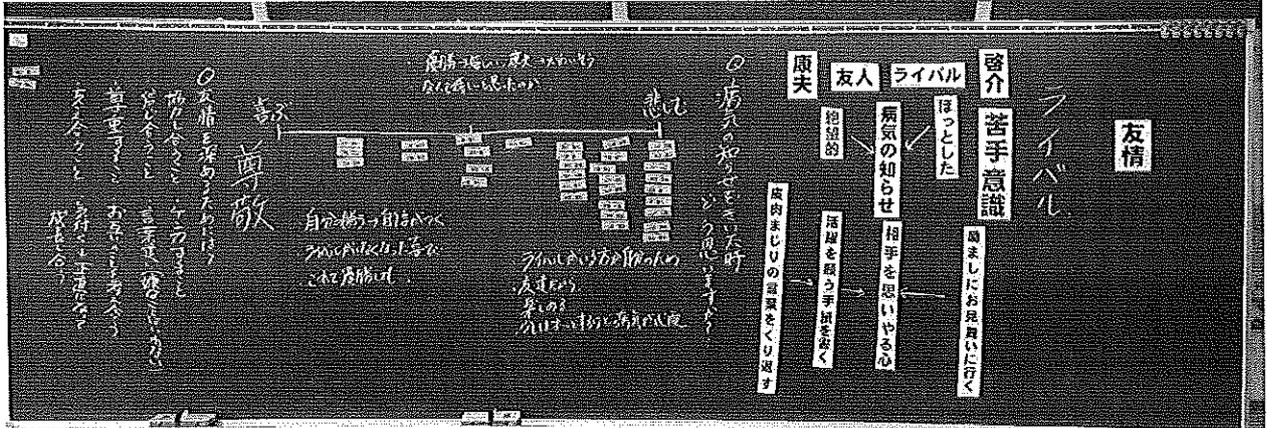
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	1 主題について知る。 (1) 友情の形にはどのようなものがあるか考えさせる。 ○ 友人にしてもらって、嬉しかったことはなんですか。 <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> ・ 係活動を手伝ってくれた。 ・ 重たい荷物をもってくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友情について学んでいくことを示す。 ・ どのようなことがあったか、発表させる。

<p>深める 40分</p>	<p>2 教材の前半部を読む</p> <p>3 自分の考えをまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 貼付カードを使って、内容を黒板にまとめる。 康夫を苦手と感じるようになった啓介の気持ちをおさえる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>あなたが啓介の立場だったら、病気の康夫をどう思いますか。</p> </div> <p>(1) ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>(2) <u>意見を発表する。</u></p> <p><予想される意見></p> <p>友人としての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に水泳ができなくて残念。 康夫と戦えないと意味がない。 <p>ライバルとしての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 康夫がいなければ、県大会で優勝できる。 少しほっとした気持ちになる。 <p>4 教材の後半部を読む</p> <p>5 主題について考える。</p> <p>○ 友情を深めていくためには、何が必要ですか。</p> <p>(1) ワークシートに自分の考えを記入する。</p> <p>(2) <u>グループで意見交換をする。</u></p> <p>(3) <u>グループごとに発表する。</u></p> <p><予想される答え></p> <ul style="list-style-type: none"> お互いを思いやる気持ち。 相手を信頼すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 友人としての意見、ライバルとしての意見を板書に分類する。 最初はお互いが気持ちをぶつけていただけだったが、最後には相手のことを信頼し、励まし合っていく気持ちの変化をおさえる。 意見は一つだけでなく、思ったことを全て書くよう指示する。 3、4人のグループを作り、意見を交換させる。 グループで発表者を決めさせる。 友情を深めていくためには、多くの要素が必要であることをおさえる。
<p>まとめ 5分</p>	<p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>(1) 感想を記入する。</p> <p>(2) 自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時を通して友情について感じたこと、学んだことを具体的に記入させる。 数人に発表させる。

(4) 評価

- ・ 本教材を通じて、自分と友人との間にも起こりうるトラブル等について考え、周りの意見を聞くことで深い友情について考えを深めることができたか。

(5) 板書計画



ライバル

1年 組 番 氏名 _____

1 あなたが啓介の立場だったら病気の康夫をどう思いますか？

2 友情を深めるためには、何が必要だろうか。

3 今回の授業の感想

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

① 自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
② 友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③ 自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4



1 主 題 よりよい学校生活（C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実）

2 教 材 「わたしは言った」（明るい人生 1年：愛知県教育振興会）

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

集団の成員が、共通の目標を目指して一体となるためには、一人一人が分担された役割の活動に終始することにとどまらず、すすんでこれを他から期待される活動にまでおし広げる気持ちをもつことが望まれる。しかし、利己心や狭い仲間意識にとらわれ、志に反して、しばしば成員間の摩擦や対立を引き起こし、目標の達成を妨げることがある。そこで、集団の一員として、互いに理解し合い、協力し合って、集団生活の発展に努めることの重要性を考えることは意義深いことである。

本教材は、中学校生活における部活動のトラブルが題材となっている。一年生にして実力を認められてメンバー登録され、一年生キャプテンという地位に就いた「わたし」。そんな中、周りの一年生から芽生えてきた上級生への不満。一年生キャプテンという役割を担った「わたし」は、その不満を解消するために話し合いをもちかけるのか、チームのメンバーという地位を守るために何も言わないのか迷う。この葛藤は、生徒にとって身近に感じられる問題であろう。よりよい部活動にしていきたいと自覚し、行動するまでの「わたし」の心の動きを通して、集団の中で自己の役割をすすんで果たすことの大切さを考えさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、積極的に活動し、全体に声かけができる学級委員のもと、快く行動することができる協力的なクラスである。5月に行われたオリエンテーション合宿では、互いのよかったところや頑張ったところを認め合い、楽しく過ごすことができた。しかし、自分で気づいて行動するという点に関しては不十分であり、現状の維持はできるが向上することはできていない。

本教材を通して、自己の役割をすすんで果たすことの大切さを知るとともに、担任や学級委員が声をかける前に、自ら「気付き・考え・実行する」という精神をもつことが、学級という集団の向上につながるという広い視野をもたせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 「わたし」の心の変化を通して、感情に左右されることなく、自己の役割を果たそうとする気持ちを高めることができる。
- ・ よりよい学校生活にしていくために、自分ができるところを考え、また、友達の見解を聞いて、その後の生活に活かすことができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 隊形を変えるなどして、互いの顔を見て意見交流を行う。
- ・ 意見交流後に、自分の考えを見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

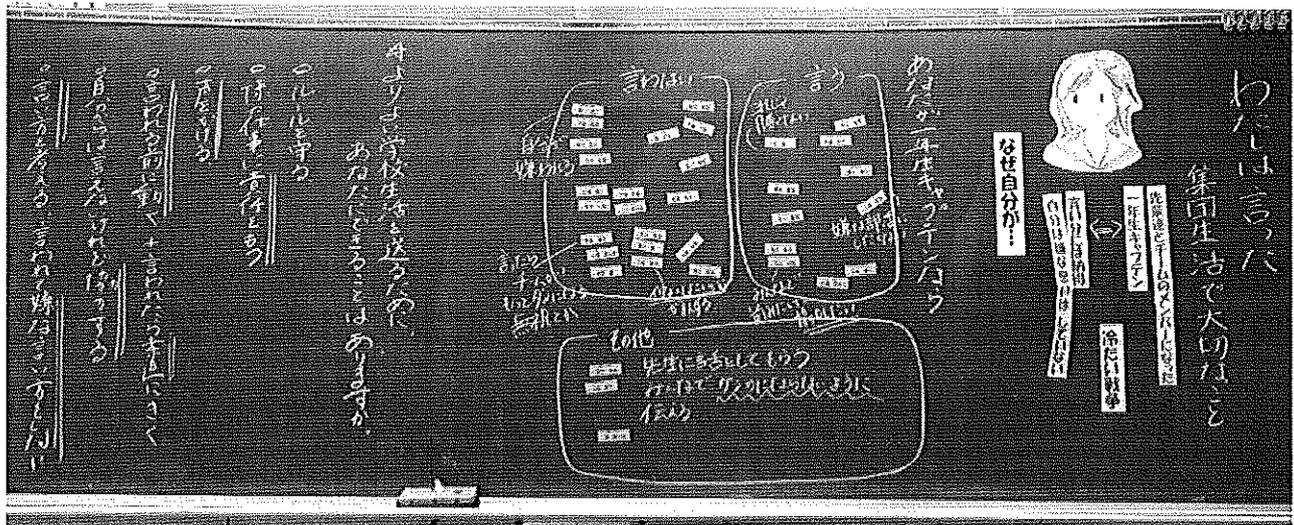
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	<p>1 自分が所属している部活動について考える。 (1) 入部したきっかけについて発表する。</p> <p>(2) 部内での役割について発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動見学で感じたことや、先輩からの情報、保護者との話し合いなど、内容を明確にして発表させる。 ・ 役割が明確に割り振られていない場合は、準備や片付け、声出しなど日頃取り組んでいることを発表させる。
深 め る 40 分	<p>2 教材 (前半部) を読む。 (1) あらすじを確認する。</p> <p>3 「わたし」の立場について考える。 ○ 自分が1年生キャプテンだったらどうしますか。 (1) 個人で考える。 (2) 発表する。 <予想される意見> 【言う】 ・ このままでは、憧れた部活ではない。 ・ 協力しないと、試合に負けてしまう。 【言わない】 ・ トラブルになる可能性がある。 ・ 自分は嫌な思いをしていない。 【その他】 ・ 生徒だけで解決しようとするとうまくいかないから、先生に協力してもらおう。</p> <p>4 教材 (後半部) を読む。</p> <p>5 よりよい学校生活について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> よりよい学校生活を送るために、あなたにできることはありますか。 </div> <p>(1) ワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「わたし」は、チームのメンバーとして認められているが、他の1年生のためにキャプテンとして上級生に話さなければならないという不満や葛藤を抱えていることを確認する。 ・ ワークシートを配付する。 ・ ワークシートに記入後、黒板に名札カードを貼り、全員がどのような考え方をしているか確認できるようにする。 ・ 互いの顔が見えるように座席の隊形を変え、理由を添えて発表させる。 <p>・ 座席を元の隊形に戻す。</p> <p>・ よりよい部活動にするために、「わたし」は実際に行動したことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活を見つめ直し、今後改善していけることを具体的に考えさせる。

	<p>(2) 発表する。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気付いたらすぐに行動したり、声をかけたりする。 ・ 誰かが動いたら、協力する。 ・ 自分勝手に物事を考えずに、みんなのためにできることを考える。 ・ 責任をもって、役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在うまくいっていないことや、困っていることについて、どうしたら解消できるか考えるとよいことを伝える。 ・ 理由を添えて発表させる。
<p>見 つ め 直 す 5 分</p>	<p>6 授業のまとめをする。 <u>(1) 授業の感想を書く。</u></p> <p>(2) 自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いだけではなく、友達の意見を聞いて感じたことなども書くように伝える。

(4) 評 価

- ・ 「わたし」の心の変化を通して、感情に左右されることなく、自己の役割を果たそうとする気持ちを高めることができたか。
- ・ よりよい学校生活にしていくために、自分ができるところを考え、また、友達の意見を聞いて、その後の生活に活かすことができたか。

(5) 板書計画



C-15 わたしは言った ～集団生活で大切なこと～

組 番 名前

1 あなたが1年生キャプテンなら…

言う

言わない

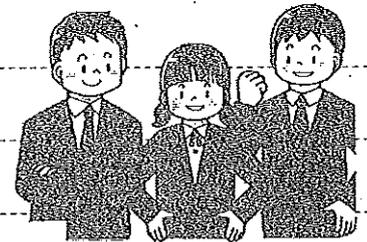
その他

()

理由：

2 よりよい学校生活を送るために、あなたにできることは何かありますか？

○感想○



〈本時の振り返り〉

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
① 自分の考えを友達に伝えることはできましたか？	1	2	3	4
② 友達の意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③ 自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 自分を高める（C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実）
- 2 教 材 『親切』の出来なかった日（明るい人生 2年：愛知県教育振興会）
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人は、家庭・学校・地域社会などの様々な集団や社会の一員として生活を営んでいる。よりよい集団や社会をつくるために、集団の意義を十分に理解することが大切であるが、周りの目を気にし、他のみんなと同じ行動をとらなければ、というような弱さももっている。そこで、よりよい集団をつくる一員となるために、自己を素直に見つめ、自己のよさに気付き、自己のあるべき姿を伸ばしていこうとする強さをもつことが必要であると考え。中学生の時期は、それぞれの集団の中で人間的な成長を遂げるのによい時期である。しかし、集団の一員としての所属感や一体感を強く求める一方で、自己の思いのみを先行させてしまうこともある。そこで、自己を素直に見つめ直すと同時に、他の人のよさを認め、集団の一員として、よりいっそう伸ばしていこうとする強さをもたせたい。

本教材では、病院の待合室で、ドアを開けられずに困っている障がいのある人に、筆者が、「いい子ぶるんじゃない。」という言葉が邪魔をして素直に親切ができない自分と、相手を優しく思いやろうとする自分とが心の中で葛藤する。そんな筆者が、最後には「いつかわたしにも、何げなく『親切』のできる日がくるといいな。」という気持ちをもつようになる。本教材を通して、主人公に親切心があることをおさえた上で、素直に親切ができなかった自分と思いやろうとする自分との葛藤の過程を考えさせることにより、よりよい集団の一員として、自己のあるべき姿をめざそうとする気持ちを高めさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、自分の経験と重ねて他人に共感し、人のために行動が出来る生徒が多い。例えば、1学期には給食の配膳時に、床に給食をひっくり返してしまったことがあった際、すぐにティッシュや雑巾で拭き取り、新しい給食を用意するなど率先して助け合うことが出来た。また、一部の生徒が時間を守れなかったり、係の活動を忘れてしまったりしたときに、黙って気付くのを待っていたり、係の活動を代わりにしてしまったりする様子は多く見られる。その一方で、自分の考えに自信がもてないため、そのような時に子ども同士が積極的に声をかけ合い、集団の一員としてあるべき姿に仲間がなるよう促す様子はなかなか見られない。そこで、本教材を通して、よりよい集団をつくるために、自己のあるべき姿をめざせる強さをもった生徒を育てたいと考える。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 「わたし」が葛藤する姿を自分のこととして考え、よりよい集団生活をつくる自分の在り方について考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ グループでの話し合い活動をする。
- ・ 意見交換後に、自分の考えを見つめ直す。

(3) 本時の展開（ねらいにせまる学習活動）

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ5分	1 他の人を助けようと思ったけど、できなかったことがあるか発表する。	・ 学校生活や日常生活で、親切にできなかった経験を思い出させ、数名に発表させる。

深 め る 40 分	2 教材を読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 朗読後、貼付カードを使って、話の内容を確認する。 「その人と目を合わせないように、そうっとその人を見ました。」「その人を見ることができなかった。」という筆者の思いに共感させて、筆者の思い悩む気持ちを捉えさせる。
	3 自分が「わたし」の立場だったらどうするかを考える。 (1) 個人で考える。 <u>(2) 小グループで話し合う。</u> (3) 発表する。 〈予想される意見〉 <ul style="list-style-type: none"> 他の人が動かなかったら助ける。 恥ずかしいから助けない。 時間があれば助ける。 用事があったら助けない。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを配付し、理由も記入させる。 隊形を4～5人にするように伝える。 グループ活動の中で自分の意見が言えるように、誕生日の早い人から時計回りに発表させる。 隊形を元に戻すよう伝える。 授業の初めに聞いたことと織り交ぜ、自分の姿について考えさせる。 自分の心の弱さをもっている人が他にもいることに気づかせる。 各グループで出てきた意見などを発表させる。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> よりよい集団をつくるために、大切にすべき自分の姿を考えよう。 </div>	
	4 集団の一員としてあるべき姿を考える。 〈予想される意見〉 <ul style="list-style-type: none"> 責任をもって行動すること。 勇気をもつこと。 思いやりをもって過ごす。 周りの目を気にしないで、素直に動く。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、大切にすべき自分の姿を記入させる。 数名の生徒を指名し、発表させる。
見 つ め る 5 分	5 ワークシートに考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 友達の考えを聞いて、自分の考えや気持ちをまとめるようにさせる。 まとめ終わった生徒に、発表させる。
	6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を記入させる。 ワークシートを回収する。

(4) 評 価

- 「わたし」が葛藤する姿を自分のこととして考え、よりよい集団生活をつくる自分の在り方について考えを深めることができたか。

(5) 板書計画

「見る」のときなんか、日
目を合わせないと

「聞かなければ」
↑
藤
↓
いい子ぶる

「見る」のときなんか、日

白分がこの場にいたら
どうしますか？

助けようと思っ
他人が助かなたら助ける

周りの人の視線が気になって
助けない

恥ずかしいから

よりよい集団をつくるために
大切にするべき自分の姿

勇気をもつこと

責任をもちて行動すること

道徳ワークシート C-15

「親切」のできなかつた日 2年 組 番 氏名

1 自分がこの場にいたとしたらどうしますか？

理由	
----	--

2 よりよい集団をつくるために、大切にすべき自分の姿について考えよう。

大切にすべき姿は、 _____ です。

理由



3 集団の一員として、授業を振り返り自分の考えをまとめよう！

--	--

<本時の振り返り>

できなかつた あまりできなかつた まあできた よくできた

①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

1 主 題 互いを認め合う (B-9 相互理解、寛容)

2 教 材 「たまたま女に生まれただけ」(明るい人生 2年:愛知県教育振興会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生の発達段階として、異性に関心をもつことは自然なことである。生徒にとって、異性のものの見方や考え方を知ることは大切であり、それを基に自分の異性に対する関わりを見直すきっかけとなるように指導していきたい。また、相手のものの見方や考え方に対する理解が深まることによって、自己の成長が実感できると考える。

本教材では、なにげなく言われる「男だから…」「女だから…」という言葉が投げかけられた経験を呼び起こすところを導入とし、異性について考えるきっかけにしたい。そして、先入観や偏見を捨て、互いの特性を理解し、よりよい関係を築いていくことの大切さに気づかせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級には、明るく元気な生徒が多い。思春期をむかえ、異性に対する関心も芽生え、その影響はさまざまな形となって現れている。意識的に異性を避けたり、表面的な理解にとどまり、互いのよいところに気付かず生活している場面も少なくない。異性に対する関心の高まりは、自然な成長である。本教材を通じて、互いの特性を理解し、尊重し、協力し合うことで、望ましい関係が築けることを考えさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

「わたし」が母とのやりとりを通じて異性観を深めることをもとに、異性との関わりについて理解を深め、互いの人格を尊重していこうとする気持ちを高めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ クラス全体での意見交換をする。
- ・ 個人による二次判断をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

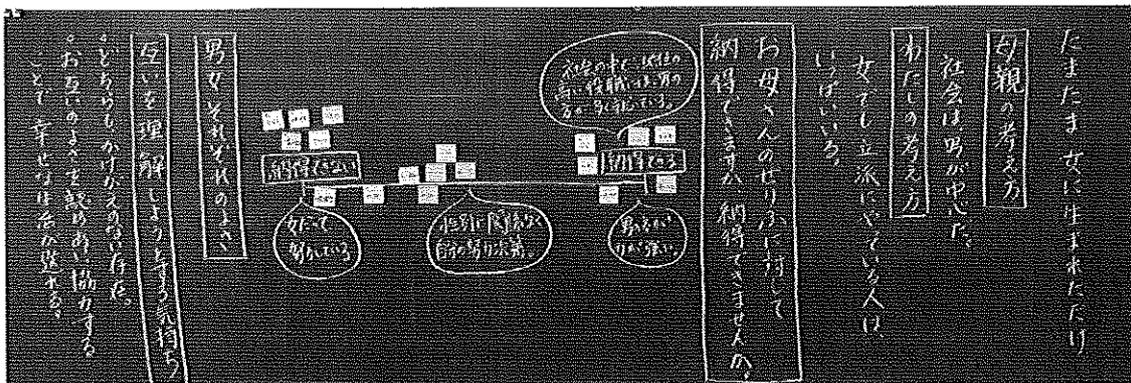
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	1 先入観や偏見をもって見られた経験について話し合う。 ○ 「男なんだから…」「女なんだから…」と言われた経験はありますか。 2 本時のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふだんの生活の中で経験したことを発表し、本時のねらいに方向づける。 ・ 本時のねらいが、異性との関わりについて理解を深め、互いの人格を尊重する気持ちを高めることであることを伝える。
	3 <u>互いの特性について考える。</u> ○ 「男なんだから重い荷物を持ってあたりまえ。」という言い方を「あなたは、()だから荷物を持ってくれませんか？」という言い方に変えてみましょう。 <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> ・ 力持ち。 ・ 腕力が強い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付する。 ・ 先入観や偏見が感じられる言い方から身体的な特性を肯定的にとらえた言い方に変えることができる点に気付かせたい。

<p>深める</p> <p>35分</p>	<p>4 教材を読み、内容を確認する。</p> <p>5 主題について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お母さんのせりふに対して、納得できますか、納得できませんか。</p> </div> <p>(1) <u>自分の意見をワークシートに書き、発表する。</u> <予想される意見> 【納得できる】 ・ 男の方が力が強い。 ・ 社会の中で地位の高い役職に男の方が多く就いている。 【納得できない】 ・ 女だって努力している。 ・ 性別に関係なく、自分の努力次第。</p> <p>(2) <u>級友の意見について話し合う。</u> <予想される意見> ・ 性別で先入観をもつのではなく、その人自身のよいところを認めるべきだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 母の言葉に対して、「わたし」が疑問を抱いていることに気付かせる。 自分の考えをワークシートに記入し、その理由も考えさせる。 黒板の心情グラフに名札カードを貼付させる。 級友の意見を聞き、それに対しての意見を発表し合う。
<p>見つめ直す</p> <p>10分</p>	<p>6 自分の考えを見つめ直す。 ○ 日常生活の中で男女それぞれのよさを感じたのは、どんなときですか。</p> <p>7 授業の振り返りをする。 (1) ワークシートにまとめを書く。 <予想される意見> ・ お互いのよさを認め、協力することで、幸せな生活が送れる。</p> <p>(2) 授業の取り組みについて、自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをワークシートに記入し、数名に発表させる。 男女それぞれがいてこそ、生活が豊かになり心が豊かになることに気付かせる。 男らしさ、女らしさについて考えたことをワークシートに記入させ、発表させる。 ワークシートを回収する。

(4) 評価

「わたし」が母とのやりとりを通じて異性観を深めることをもとに、異性との関わりについて理解を深め、互いの人格を尊重していこうとする気持ちを高めることができたか。

(5) 板書計画



B-9 「たまたま女に生まれただけ」

組 番 氏名

1 「男なんだから重い荷物を持ってあたりまえ。」

この言い方を次のように変えてみましょう。

「あなたは、（ ）だから

荷物を持ってくれませんか？」

2 お母さんのせりふに対して、納得できますか、納得できませんか？

納得できる ・ 納得できない

理由

3 日常生活の中で男女それぞれのよさを感じたのは、どんなときですか。

4 男らしさ・女らしさについて考えたことを書きましょう。

<本時の振り返り>

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

① 自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
② 友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③ 自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 相互理解 (B-9 相互理解、寛容)
- 2 教 材 「エースの出場辞退」(中学生に道徳力をつける：明治図書)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

人間は、たいいていの物事についてその全体を知り尽くすことは難しく、自分なりの視点から物事を見ることが多い。人には、それぞれの考え方があり、個性がある。そこで大切なことは、互いが相手の存在の独自性を認め、相手の考えや立場を尊重することであると考える。

中学生は、ものの見方や考え方が確立するとともに、自分の考えや意見に固執する傾向が見えてくる時期でもある。また、意見の違いから友人関係に摩擦が生じ、悩み孤立することもある。他方で過剰に他者の意見に同調する傾向も生じやすい。だからこそ、この時期に自分の考えや意見を伝えること、そして互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立っているいろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てることが大切である。

本教材は、岡山県の高校サッカー選手権大会の決勝戦で起こった実話である。作陽高校のゴールがノーゴールと判定され、水島工業高校がPK戦の末、勝利を収める。出場か辞退かチームが揺れる中、チームはミーティングを行い、出場することを決めた。しかし、水島工業高校のエースは誤審のため、自分たちは全国大会に出るべきではないと出場辞退を決める。エースは自分の意思を貫いたが、チームとしての決断とは違う決断をした。このエースの決断を通して、生徒に普段の自分自身の行動を見つめ直させ、人にはいろいろな見方や考え方があり、他者の考えや立場を尊重することについて考えさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、明るく元気で活発な生徒が多い。また、男女ともに仲が良く、休み時間はとても楽しそうに生活している。しかし、時に自分の考えを相手に押しついたり、友だちに対して自分の思いを伝えられなかったりするためにトラブルになってしまうことが何度かあった。また、学習意欲は低く、授業になると発言が消極的になることが多い。そこで、自分の思いを積極的に伝えられるよう、道徳の授業やSTなどを通して、自分の意見を他者に伝える機会を多くつくるように意識してきた。

本教材を通して、自分の考えを他者に伝える活動や学級での討議やグループ活動を通して、自分の意見を大切にしつつ、他者の見方や考え方もしっかりと尊重できる生徒を育てたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

サッカー部のエースが全国大会の出場を辞退するという資料をもとに、自分の考えを大切にしながらも、他者の見方や考え方もしっかりと考えることで、様々な立場に立って考えることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体での討議を通して、様々な考えに触れる。
- ・ 少人数グループで自分の考えを伝える。
- ・ 意見交換を終えた後に、自分の考えをもう一度見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 3 分	1 「自分のこだわり」について、意見交換し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ コの字型の座席で授業を始める。 ・ 意見が出やすい雰囲気を作るために、周りの人と自由に話をするように指示する。
高 め 合 う	2 信念を突き通すことは良いことか考え、ワークシートに記入する。 3 教材プリントを読み、あらすじを確認する。 4 この教材の問題点を整理する。 5 本時の主題について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付する。 ・ 数名指名して、発表させる。 ・ 教材プリントを配付する。 ・ 教師が範読する。 ・ A高校は負けていたはずなのに、誤審で全国大会出場を決めたことを押さえる。 ・ 全国大会出場を決めたA高校のエースが全国大会に出場しないと言いつつ出たことを押さえる。
42 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> エースの決断は、よかったですか。 </div> (1) ワークシートに自分の考えを記入する。 (2) 名札カードを黒板に貼る。 (3) <u>グループで考えを共有する。</u> (4) <u>学級全体で主題について、討議する。</u> <予想される意見> 【良かった】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 勝ったのは間違いだから。 ・ 審判のミスで勝ったから。 【良くなかった】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多数決で決めたから。 ・ チームに迷惑がかかったから。 (5) <u>もう一度、主題について考える。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えを記入させる。 ・ 机間指導をしながら、書き終わった生徒に黒板に名札カードを貼付するように声をかける。 ・ 4もしくは5人のグループを作らせる。 ・ 生徒に自由に意見を発表させる。 ・ 友だちの意見を参考にしつつ、考えをまとめるよう伝える。
見 つ め る 5 分	6 本時の感想と自己評価を記入する。 7 ワークシートを提出し、友だちの意見を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返って、自分の考えをワークシートに書かせる。 ・ ワークシートから、数人の意見を紹介する。

(4) 評価

- ・ 本時の活動を通して、自分の考えを大切にしながらも、他者の見方や考え方もしっかりと考えることで、様々な立場に立って考えることができたか。

(5) 板書計画

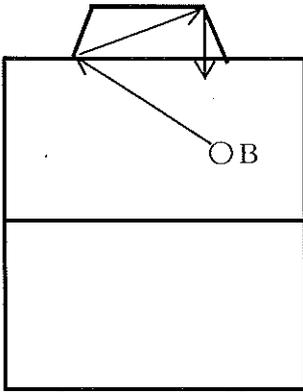
エースの出場辞退

エースの決断は、よかったですか？

良かった (出ない) ← → 良くなかった (出るべき)

名札カードを貼る

Bが勝ったはず
Aが勝った



【ボールの軌道】

- ・ 間違っていたから
- ・ 審判のミスだから
- ↓
- エースは信念を貫いた
- ↓
- チームに迷惑がかかる

- ・ 県代表としてがんばるべき
- ・ 賞をとってBのために実力を示したい。
- ・ PKで負けたのも実力
- ・ Bの悔しい気持ちを背負うべき
- ・ 多数決で決めたから
- ・ チームに迷惑をかける
- ↓
- 集団にあわせる
- ↓
- 信念を貫かなかった

道徳ワークシート

「エースの出場辞退」

組 番 名前

1 自分の信念を突き通すことは良いことだと思いますか？ [良い ・ 良くない]

2 全国大会に出場しないというエースの決断は良かったと思いますか？

良かった

良くなかった

--	--	--	--

3 話し合いを終えて、全国大会に出場しないというエースの決断は良かったと思いますか？

良かった

良くなかった

--	--	--	--

4 今日の感想を書きましょう。

〈本時の振り返り〉

できなかった あまりできなかった できてきた よくできた

① 自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
② 友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③ 自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 思いやりの心 (B-6 思いやり、感謝)
- 2 教 材 「カーテンの向こう」(明るい人生 1年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

だれに対しても思いやりの心をもって接することは、よりよい人間関係づくりにつながる。中学生の時期は、家族や友達、先輩や後輩、地域の人々など、様々な人との関わりをもつ機会が増え、またその大切さを理解できるようになっていく時期である。しかし時として、自分さえよければいいという自己中心的な判断に陥り、他を省みない言動に走ってしまう場合もある。相手を尊重する温かい人間関係を築くことは、社会でよりよく生きるために大切なことである。そこで本教材を通して、生徒一人一人に相手の立場に立って物事を考え、行動することのできる「思いやりの心」を育てたい。

本教材は、死を待つだけの重症患者が入院する病院の一室が舞台となる。病室には、窓がたった一つしかなく、その窓は、分厚いカーテンによって閉ざされている。唯一窓の外を眺めることができるヤコブをねたみ、ヤコブの死を心の奥底で笑う「わたし」の心の動きを中心に描かれている。本教材では、カーテンの向こうがレンガの壁であったことを知った「わたし」の気持ちについて考えさせることで、温かい心遣いの大切さに気付かせたい。さらに、死を待つ患者たちが少しでも生きる希望を失わないように、自分を奮い立たせながらも嘘をつき通したヤコブの生き方から、本当の優しさとは何か、本当の思いやりとは何かということについて、多様な考えがあることに気付かせ、深めさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級には、明るく元気で活発な生徒が多い。道徳の授業では、積極的に発表をする生徒が増えてきている。また、生徒はこれまでに、様々な学校行事等を通じ、相手の立場や置かれている環境を尊重して、協力する心が培われつつあると感じる。しかし、自己中心的な考え方の生徒もおり、相手の立場に思いを寄せることができず、相手に嫌な思いをさせたり傷つけたりする場面も見られることがある。学校生活アンケートを見ても、「私は人の気持ちがよく分かるほうです」という質問項目に、34人中11人の生徒が「あまり当てはまらない」もしくは「ぜんぜん当てはまらない」と答えており、人の気持ちをくみ取ることの難しさを感じていることがわかる。そこで、本教材を通して、相手の立場に立って考え、思いやりの心をもって接していくことの大切さについて考えさせたい。そして、集団の中でよりよい人間関係を築き、社会の中で他者とともに生きられる生徒を育てたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ ヤコブの行動を通じて、「思いやりの心」について自分の意見をもちつつ、友だちの考えを聞いて多様な考え方があることを知る。
- ・ 思いやりとは何かについて、自分の考えをより深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ グループでの話し合い活動をする。
- ・ 意見交換を終えた後に、自分の考えをもう一度見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5分	<p>1 主題を知る。</p> <p>2 提示された絵を見て、思いやりについて考える。 ○ 絵の状況で、この子を思いやって行動するならあなたはどのようにしますか。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話しかけてなぐさめる。 ・ 泣いている理由を聞く。 ・ そっとしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「思いやり」について考えていくことを伝える。 ・ 友達が教室で泣いている絵を見せる。 ・ 理由も添えて、発表させる。
深 め る 40 分	<p>3 教材を読む。</p> <p>(1) 教材の前半部を読み、あらすじを確認する。</p> <p>(2) 教材の後半部を読み、あらすじを確認する。 ○ ヤコブが死んだときのわたしの気持ちはどうだったでしょう。</p> <p>4 終末部を聞く。</p> <p>5 「わたし」の気持ちについて考え、発表する。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちを喜ばそうとしてくれていたんだ。 ・ ヤコブはすごい人だ。 ・ 死ねばいいと思って悪かった。 <p>6 「わたし」の立場に立って考える。 ○ もし自分が「わたし」なら、ヤコブのよううそをつきますか。つきませんか。 <予想される意見> 【うそをつく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 悲しませたくない。 ・ 夢や希望を与え続けたいから。 ・ ヤコブのうそが無駄になるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材プリントを配付する。 ・ 暗い病室の中で、ヤコブが外の様子を話すことだけが、唯一病人たちを明るくしているという状況を把握させる。 ・ 絶対にその場所を譲らないヤコブを見て、「わたし」の気持ちが「死ねばいい」に変わっていることを確認する。 ・ 終末部を読む。 ・ 最後の一文を書いた資料を提示する。 ・ ヤコブの話はうそであったことに気付かせる。 ・ 理由も添えて、発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに記入させる。 ・ 戸惑っている生徒には、ヤコブのとつた言動を振り返らせ、考えやすくする。 ・ 理由も添えて、発表させる。

B-6 『カーテンの向こう』 _____ 組 番 名前 _____

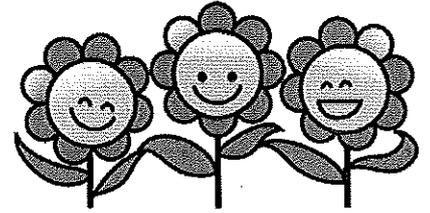
1. もしあなたが「わたし」なら、この後どうしますか？

ヤコブのようなうそを

つく

•

つかない



理由

2. 人を思いやる上で、大切なことは何だと思えますか？

あなたの考えを書こう。

グループの考えを書こう。

メモ欄

他の人の考えを聞いて、もう一度あなたの考えをまとめよう。

<本時の振り返り>

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第2学年E組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 真の友情について考える (B-8 友情、信頼)
- 2 教 材 「星置きの滝」(明るい人生 2年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

相手の立場や気持ちを考えずに、自分にとって都合の良いことばかり考えていたのでは、友情は育たない。よくないことは注意し合い、互いに高め合っていこうとする気持ちが、友情のきずなを更に強くするものである。信頼と敬愛に支えられ、ともに語り、悩み、共感し、そして励まし合うことにより友情は深まっていく。

本教材では、友達らしい友達がいない筆者が I 君に誘われて「星置きの滝」へキャンプに行く。そこで筆者は I 君の誠意に心を動かされる。この出来事を契機に、二人は人生の支えとなるような生涯にわたる友人へとなっていく。

本教材を通じて、利害や打算ではなく相手に対して誠実に好意をもつことが真の友人関係を育てるために必要なことに気付かせ、友情の尊さ、友情のあり方を考えさせたい。

(2) 子どもの実態について

生徒にとって、友人関係は日常生活の中で大きな比重を占めている。誰もが心の奥深いところで結びついた親友がほしいと強く願っているが、お互いに傷つくことを恐れてか、単なる話し相手や遊び友達として付き合っている場合が多いと感じる。また、仲間どうしの気安さから、自己中心的な行動や冗談が過ぎるなど、ささいなことから感情の行き違いが生じ、友人関係が崩れてしまうこともしばしば見受けられる。

本学級の生徒は、明るく元気があり、給食中や放課中に男女分け隔てなく接することができる。しかし、自分本位な言動をしてしまう生徒も多く見られ、その行為が周囲にどのような影響を与えるかまで考えることができていない。また、学級内で級友が間違った行動をしていてもそれを注意することができず、一緒になって間違った行動をしてしまう生徒も見られる。そこで、本教材を通じて真の友情について考え、日常生活の中で互いに励まし合い、高め合おうとする気持ちを育てていきたいと考える。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 仲間と意見を交換し合う中で、真の友情について自分の考えを深めることができる。
- ・ 自分の友人関係を振り返り、友情の尊さや意義を考えることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 小グループでの話し合い活動をする。
- ・ 学級内の意見を共有し、自分の考えを深める。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	1 日常の友人との関係について見つめる。 ○ 友達がいてほしいなと思ったときはどんなときですか？	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちの友人関係のあり方について見つめさせる。 ・ テーマが友情であることを確認する。

<p>深める 35分</p>	<p>2 教材を読む。</p> <p>3 友情について考える。 (1) 何が私とI君の心の距離を近づけることになったのか考える。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ I君の誠実な対応 ・ やさしさ ・ I君の器の大きさ ・ I君の裏表のない行動 <p>(2) <u>長く続く友情を得るには何が必要か考え、グループで話し合う。</u> <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーション ・ 豊かな心 ・ 相手への思いやり <p>4 友情のあり方を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が教材を範読する。 ・ ワークシートを配る。 ・ 私の気持ちがなぜ変化したのかを考えさせる。 ・ 近づいたのは物理的でなく、心の距離であることを理解させる。 ・ 数名の生徒に発表をさせる。 ・ 4～5人のグループをつくるように指示する。 ・ 多くの意見を出させる。 ・ グループで出た意見を数名に発表させる。
<p>自分は友達にとって、どんな人でありたいですか？</p>		
	<p>(1) 自分の考えをワークシートに記入する。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誠実な人 ・ 思いやりの心をもった人 ・ 安心できる人 <p>(2) <u>発表された意見について話し合う。</u> <予想される意見> (「なんでもしっかりと喋る人」に対して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちがわかるのでいい ・ すぐ喧嘩になってしまうかも ・ でも喧嘩してもまた仲良くなればいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席を元に戻すよう指示をする。 ・ 数名の生徒に発表をさせる。 ・ 発表した意見を板書し、クラス全体で共有する。 ・ 板書された考えから数個を選び、あなたならこのような友達はどう思うか生徒に考えさせる。 ・ 自分と異なる意見に対しても考えを深めさせる。
<p>まとめる 10分</p>	<p>5 授業の振り返りをする。 (1) 本時の感想をワークシートに記入する。 (2) 自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達から出た意見などを考えつつまとめるよう伝える。

(4) 評価

- ・ 仲間と意見を交換し合う中で、真の友情について自分の考えを深めることができたか。
- ・ 自分の友人関係を振り返り、友情の尊さや意義を考えることができたか。

(5) 板書計画

「星置きの滝」

○ 何が私とI君の心の距離を近づけることになったのですか。

- ・ I君の誠実な対応
- ・ やさしさに心をうたれたこと
- ・ 自分勝手ではないI君の器の大きさ
- ・ I君の裏表のない行動

○ 長く続く友情を得るには何が必要ですか。

- ・ コミュニケーション
- ・ 豊かな心
- ・ 話すこと
- ・ 相手を思うやさしさ

○ 自分は友達にとってどんな人でありたいですか。

- ・ 誠実な人
- ・ 思いやりの心をもった人
- ・ 安心できる人
- ・ 何でもしっかりと喋る人
- ・ 相談できる人

道徳ワークシート 「星置きの滝」 B-8

組 番 氏名 _____

1 何がI君とわたしの心の距離を近づけることになったのか？

2 長く続く友情を得るには何が必要だろうか？

3 自分は友達にとってどんな人でありたいか？四角の中を埋めよう。

な人

<理由>

○ 今日の感想

振り返り	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを相手に伝えることはできましたか。	1	2	3	4
②相手の意見や考えを理解することができましたか。	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか。	1	2	3	4

- 1 主 題 公正、公平、社会正義について考える (C-11 公正、公平、社会正義)
- 2 教 材 「友だちがもし・・・」(水戸市立第一中学校自作資料)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

現在、世界は携帯電話やスマートフォンをはじめ、インターネットなどの情報化が進んでいる。情報技術が発展することで、とても便利な世の中になってきた。友人とのコミュニケーション方法もLINEやメールで会話をすることが多くなっている。そのため、目を見て話したり対面して会話をしたりする機会が減っており、直接相手の表情や反応を見ながらコミュニケーションをとり、相手の思いを考えながら行動することが少なくなっているように感じる。また、自分の知りたい事はインターネットを利用して調べれば、すぐに情報を得ることができる。そのため、自分の身の回りに起きる困難に対して解決方法を他人の意見に任せ、自分の考えで判断することなく行動することが多くなっているようにも感じる。

本教材は、部活動を一緒に盛り上げてきた友人が、受験を前にした切迫感からテストで不正行為を行ってしまうという内容で中学生にとって身近に感じられる。そして、辛いことも楽しいことも共に経験してきた友人に対し、見逃してあげるのが友情であると勘違いしてしまったり、間違っていることを間違っていると注意してしまうと嫌われてしまわないか考えてしまったりと様々な心情を生徒から引き出すことが可能である。また、友人に対してどんな働きかけが自分にできるのかを悩みながら考えることで、生徒それぞれが自分なりに公正、公平、社会正義について考えを深めることができる教材である。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、学習やその他の活動に集中でき、比較的落ち着いた行動ができる生徒が多い。しかし、年度始めの道徳アンケートにおいて、「道徳の時間の中で、自分の考えを話したり発表したりすることについてどう思いますか。」という問いに対して、「苦手・できない」・「一応するが好きではない」という回答が全体の70%と非常に多く、「気兼ねなくできる」・「意欲的にできる」という回答は30%と少なかった。これは、自分の意見をもっていても自信がなかったり、周囲を気にしすぎ勇気をもって発言できなかつたりする生徒が多いことが考えられる。一方で、集中力が続かず、学習やその他の活動をしないで居眠りをしたり、他事をしたりする生徒もおり、時には他の生徒の邪魔をする生徒もいる。そんな生徒に対し、友人同士で注意し合い励まし合いながらお互いを高める行動を見かけることは少なく、学級でのトラブルを教員が解決する場面が多くある。また、集中力が続かない生徒は、他生徒の行動が気になり、その生徒が他事をしているときには自分の行動を棚にあげて注意する場面を見かけることもある。

本教材を通して、お互いが良いところを認め、悪いところを指摘し合える関係をつくることができるようにしたい。また、公正、公平、社会正義について、正しくないことは正しくない判断でき、状況によってどんな判断をしたらよいか深く考えることができるようにさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

友人の不正行為について考えたことを通じて、正義を重んじ、だれに対しても公正、公平に接していこうとする気持ちを育てる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 自分の立場を明確にしてからクラス全体で話し合う。
- ・ グループで話し合う。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

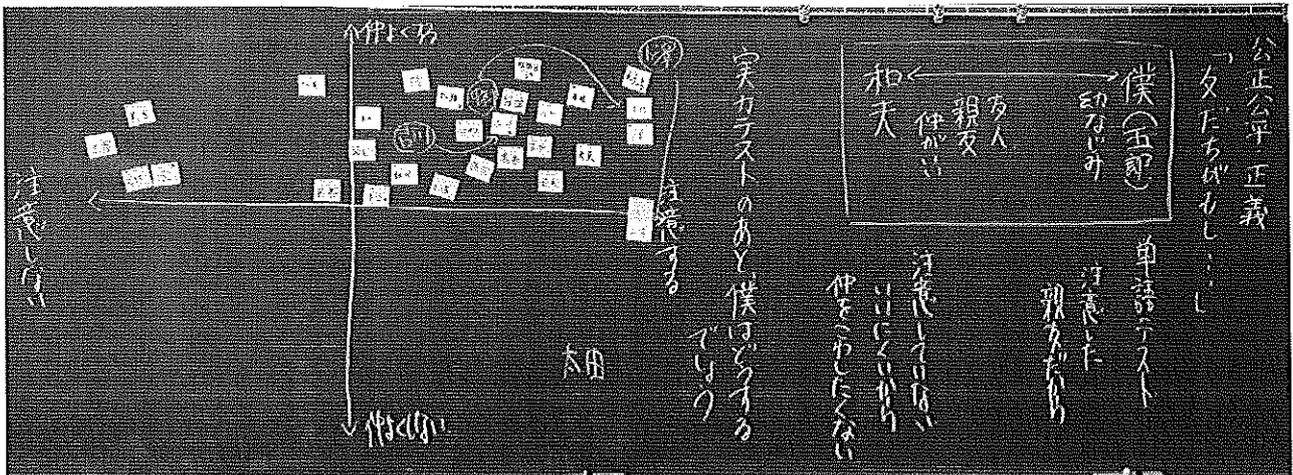
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5分	1 主題を知る。 2 主題についての質問に答える。	<ul style="list-style-type: none"> 公正、公平、社会正義について学ぶことを知らせ、資料を配る。 質問に答えることで、主題について日頃の行動を振り返らせる。
深 め る 40分	3 教材を読む。 4 心情をつかむ。 ○ 単語テストのあと、和夫の机の英単語が消されていたのを見て、「僕」はどんなことを考えたでしょう？ <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> 自分が見間違えたのかな？ カンニングだ！ どうしよう・・・ ○ 実力テストのあと、僕はどうすると思いますか？ 5 自分に置き換えて考える。 ○ 友人がカンニングをしているところを目撃したとき、あなたならどんな行動をとりますか。 6 公正、公平、社会正義について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 教材を朗読しながら、僕（五郎）と和夫が親友であることを確認する。 ワークシートを配付する。 ワークシートに自分の意見を書かせ、机間指導をしながら○つけ法を行う。 ワークシートの「和夫に言う」「先生に言う」「誰にも言わない」「その他」のいずれかに○をつけさせる。あるいは、自分の意見を書くように指示する。 ワークシートの縦軸（仲良くする・しない）横軸（注意する・しない）のどの位置に自分の気持ちが近いのかを○で表現する。 黒板に縦軸、横軸を書き、自分の名札カードを貼りにくるよう伝える。 全員が名札カードを貼付したら、生徒に理由を聞く。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 親友との仲を保ちつつ、公正、公平、社会正義を守ることはできると思いますか。 </div> (1) <u>グループで話し合う。</u> (2) <u>全体で発表する。</u> <予想される意見> 【できる】 <ul style="list-style-type: none"> 友人を説得して、先生にカンニングしたことを話しに行かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 4～5人の班をつくるように指示する。 机間指導しながら、話し合いが深まるように補助発問をする。 グループの代表に発表をさせる。 あくまでもグループの話し合いによる意見であり、今回の教材に対する答え等ではないことを伝える。

	<p>【できない】</p> <ul style="list-style-type: none"> どんな風に言っても見過ごさない限り嫌われる。 	
見 つ め 直 す 5分	6 本時の振り返りを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> 公正、公平、社会正義について、自分の生活を振り返り、感想をまとめさせる。 導入で答えた質問に変更がある場合は、赤で書き直す。 自己評価を記入させる。

(4) 評 価

友人の不正行為について考えたことを通じて、正義を重んじ、だれに対しても公正、公平に接していこうとする気持ちをもつことができたか。

(5) 板書計画



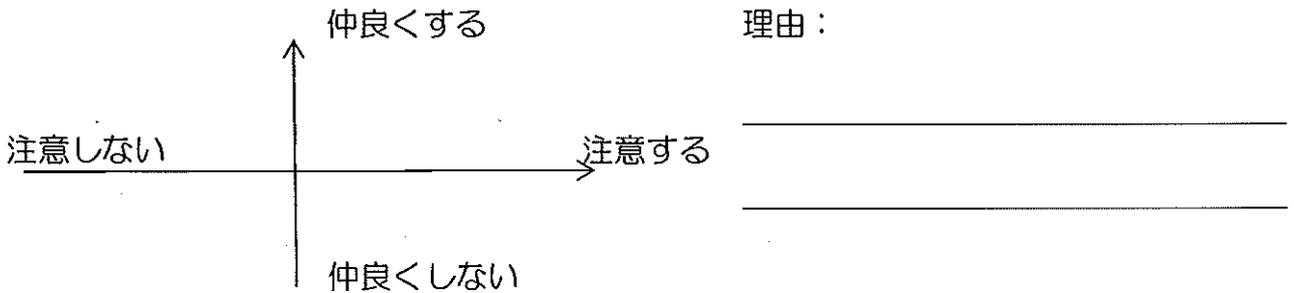
1. 単語テストのあと、和夫の机の英単語が消されていたのを見て、「僕」はどんなことを考えたでしょうか。

2. 実力テストのあと、僕はどうするでしょう。

ア 和夫に言う イ 先生に言う ウ だれにも言わない

エ その他(_____)

3. 友人がカンニングをしているところを目撃したとき、あなたならどんな行動をとりますか。



4. 親友との仲を保ちつつ、公正、公平、社会正義を守ることはできると思いますか。

できる

できない

【理由】

5. 今日の授業を受けての感想

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

- 1 主 題 わがままと節度 (A-2 節度、節制)
- 2 教 材 「かぼちゃのつる」(こころつないで1:教育出版)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

集団生活をよりよいものにするには、人の注意を素直に聞くことや、節度ある生活を送ることの大切さを内面から自覚できるようにして、自分も周りの人も互いに気持ちよく過ごすことについて考えさせることが大切であると考えます。

本教材は、周りからの注意に耳を傾けずに、自分勝手につるを伸ばし続け、最終的につるを切られて自己中心的であったと気づき、不十分な自分であったと反省する主人公の気持ちを考えさせる資料である。この教材を通じて、わがままをして失敗したときの感じ方や考え方を想起しながら、周りからの注意を受け入れて、自分の失敗を反省し、節度ある生活をしようとする大切さについて考えさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、特別支援学級で、知的障害を持つ生徒が在籍している。周りのことを考えずに、思ったり考えたりしたことをそのまま行動、発言することが多い傾向にある。そこで、本教材を通じて節度について考えることで、学校や家庭、地域の中で、自分一人だけで生活しているのではないということ、さらに、その場にいる人たちのことを考えて行動、発言をすることが大切であるということ等を学ばせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

かぼちゃの行動を通じて、周りの人のことを考えて、わがままなことや自分勝手なことをしないで、節度ある生活をしようと考えることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 教材を活用した話し合い活動をする。
- ・ 意見発表をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 15 分	1 本時のねらいを知る。 2 教材の前半部分を聞き、内容の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の中で、他の人のことを考えて行動していることを聞く。 ・ 学校生活や地域など、様々な場面からいくつか考えさせる。 ・ 貼付カードを使って、内容の確認をさせる。
深 め る 25 分	3 教材の前半について、話し合う。 ○ かぼちゃはどんな気持ちで、つるをのばしていたか。 ＜予想される意見＞ ・ 気持ちいいな。 ・ たのしいな。 ○ はちやちょう、犬などに注意された時のかぼちゃは、どんな気持ちでいたか。 ＜予想される意見＞ ・ うるさいな。 ・ 別にいいじゃん。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伸び放題につるを伸ばしていくかぼちゃの気持ちを考えさせる。 ・ 周りの注意を聞かずにいるかぼちゃの言動に気付かせ、気持ちを考えさせる。

	<p>4 主題について考え、意見発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>自分がかぼちゃなら、つるを伸ばす？伸ばすのをやめる？</p> </div> <p>伸ばす：大きくなりたいから。 やめる：通る人などのことを思うと、やめたほうがいいと思う。</p> <p>5 教材の後半部分の話を読み、かぼちゃの気持ちについて考える。</p> <p>○ かぼちゃは、つるを切られて泣きながらどんな気持ちだったか。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注意を聞けばよかった。 ・ 自分が悪かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どちらの意見でも、その理由も、自分の言葉で伝えさせる。 ・ かぼちゃが後悔している気持ちに共感させる。
<p>見 つ め る 10 分</p>	<p>6 授業の振り返りをする。</p> <p>(1) ワークシートに自己評価を書く。</p> <p>(2) これからは、どういう点に気をつけながら行動するかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに自己評価の記入をするように指示する。 ・ 学校生活で、周りのことを考えながら行動することに気付かせながら、これからどうするかを考えさせる。

(4) 評価

かぼちゃの行動を通じて、周りの人のことを考えて、わがままなことや自分勝手なことをしないで、節度ある生活をしようと思えることができたか。

(5) 板書計画

節度
|| 行き過ぎのない適当な程度。ほどあ
い。

かぼちゃのつる

つるをのばしていたかぼちゃ

- ・ きもちいいな。
- ・ たのしいな。

注意されても伸ばしていたかぼちゃ

- ・ うるさいな。
- ・ べつにいいじゃん。

もし自分がかぼちゃなら、伸ばす？
伸ばすのをやめる？

のばす

- ・ 大きくなりた
い。
- ・ 気持ちいい感
じを味わい続
けたい。

やめる

- ・ 周りのことも
考えないと
いけない。

車につるをきられたかぼちゃ

- ・ 注意を聞けばよかった。
- ・ 自分が悪かった。

かぼちゃのつる

なまえ _____

1. 生活の中で、みんなのことを考えて行動していることはありますか。



2. 「かぼちゃのつる」を読んで、かぼちゃはどんな気持ちで、つるをのばしていたと思いますか。

3. はちやちょう、犬などに注意されたときのかぼちゃは、どんな気持ちでいたと思いますか。

4. もし、自分がかぼちゃならば、つるを伸ばし続けますか。それとも、伸ばすのをやめますか。理由も書いてみよう。

5. 自分で振り返りをしてみよう。

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	できた
①自分の考えを友だちに伝えることができましたか。	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか。	1	2	3	4
③自分の考えを深めることができましたか。	1	2	3	4

- 1 主 題 思いやりの心 (B-6 思いやり、感謝)
- 2 教 材 「人との接し方」(明るい人生 3年：愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりの心とは、自分が他者と能動的に接するときに必要なとされる心の在り方である。そして、その心を行動に移すには、相手の立場を理解し、尊重するという人間愛の精神が根底になければならない。よって、家族や仲間などの親しい人間関係の間では援助の手をさしのべることはごく自然に行われやすく、その行動に躊躇することは少ないと考えられる。しかし、見知らぬ人に対して思いやりの心をもった行動を起こすことは難しいものである。それは、他者への深い理解と共感を面倒なことだと考えたり、行動後の他者の反応に対する猜疑心からなかなか行動に移せない心の弱さをもっていたりするからだと考える。反面、他者による思いやりに触れ、それを素直に受け止めることができたとき、人は自ずと感謝の心を抱くようになる。そして、自分が現在あるのは、多くの人々によって支えられてきたからであることを自覚し、次は自分が他者に対して思いやりの心をもって接しようと考えることができるようになる。

中学生の時期には、仲間、先輩後輩、地域の人々との関わり合いの中で、人間愛に基づく他者との関わり方の大切さを理解できるようになってくる。しかし、SNSの普及などによる社会環境の変化に合わせ、人間的な交わりの方が急速に少なくなりつつあるとともに、顔を合わすことなく行われる間接的な交流によるトラブルも多くなっている。そうした風潮の中で、自分は温かい人間愛に恵まれていないと感じてしまい、利己的、自己中心的に物事を考えてしまうことが多くなり、他者を省みない行動に走る場合も少なくない。したがって、様々な思いやりの心をもった行動の事例を知り、理解し、触れることにより、思いやりの心を身に付けることは人生を充実させる上で大切であると考えられる。

本教材は、電車の優先席に座っている女性に、おばあさんと席を替わるように注意した人にあこがれを抱いた「私」が、その女性が実は足が不自由だったことを知り、「思いやりをもって人と接するということ」はどういうことかを考えるという話である。注意をした人の勇気と、何もできなかった「私」への思いをもとに、それぞれの立場やあるべき行動に目を向けさせ、思いやりの心を行動として表すことの大切さを考えさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級には、明るく活発な生徒が多い。また、修学旅行などの行事を通して、相手の立場や置かれている環境を尊重しながら、よい学級にするために協力しようとする心が培われつつある。しかし、1学期後半に実施された生活アンケートでは、「困っている人に手をさしのべることが苦手である」と答えた生徒が2割に上るなど、他者との関わり方に不安を抱く生徒も少なくない。さらに、日常の学校生活では、不登校気味の生徒との関わり方に困惑する場面も見受けられた。そこで、本教材を取り上げ、「思いやりをもって人と接するということ」についてじっくりと考えた互いの意見を共有することで、人間愛や思いやりに対する考えを深めさせたいと考える。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

「思いやりをもって人と接するということ」とはどんなことなのかについて、友達と意見を共有する中で、自分の考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ グループでの話し合い活動をする。
- ・ 意見交換を終えた後に、自分の考えをもう一度見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
価値の把握 10分	<p>1 日々の生活の中で、「ありがとう」、「ごめんなさい」という言葉を素直に使うことができているかどうかを振り返る。</p> <p>2 優先席の利用を通して、思いやりの心について考えることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深刻な事態だけでなく、コミュニケーションを円滑に進めるために使う場合など、様々な場面で使われる言葉であることを知らせ、修学旅行での例をあげながら「思いやりの心」について考えさせる。 ・ 自分の当てはまる選択肢の欄に名札カードを貼らせる。 ・ 人との接し方の一例として、優先席の利用について取り上げることを伝え、優先席を譲ったことのある経験や譲れなかった経験を思い起こさせる。
価値の追求 30分	<p>3 教材を読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が自分たちと同じ中学生であることを確認しながら教材を配付し、範読する。
	<p>自分が、声をかけたお婆さんの立場だったとしたら、この後どうしますか。</p>	
	<p>4 自分だったらどうしたかを考える。</p> <p>5 <u>自分の考えを発表する。</u> (1) グループで発表する。</p> <p>(2) 代表が全体にグループの意見を発表する。 <予想される意見> ・ 何か行動を起こす。 ・ 何もできない。 [理由] 他人の目が気になる。 勇気がない。</p> <p>6 <u>このできごとの後、黙ってしまったお婆さんにはどんな行動をとってほしいかを考える。</u> <予想される意見> ・ 素直に謝る。 ・ 謝罪し、自分の席を譲る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他者の目も気にしながらの状況であることを確認したうえで、何もできないという答えも認めることを伝える。行動できる場合はその内容、行動できない場合はその理由も考えさせる。 ・ 4人(または5人)のグループをつくるように指示する。 ・ メンバーそれぞれの考え方を聞き、自分の考えを深める。 ・ グループごとの多数意見を確認し、特に何もできないという答えの理由を発表させる。 ・ 座席を元に戻すように指示する。 ・ それぞれの立場を理解したうえでの望ましい行動に目を向けさせ、思いやりの心を行動として表すことの大切さを考えさせる。 ・ 数名の生徒に発表させる。

ま と め 10 分	<p>7 授業の振り返りをする。</p> <p>(1) 本時のまとめと感想を書く。</p> <p>(2) 自己評価をする。</p> <p>8 教材の続きを読む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「思いやりをもって人と接するということ」はどうか、じっくり考えて書くよう指示する。 ・ 教材の続きを範読し、筆者の考える「思いやりをもって人と接するということ」とはどんなことなのかを伝える。
------------------------	--	--

(4) 評価

「思いやりをもって人と接するということ」とはどんなことなのかについて、友達と意見を共有する中で、自分の考えを深めることができたか。

(5) 板書計画

「人との接し方」

○ 「ありがとう」「ごめんなさい」の言葉を素直に使うことができますか。

ウ	イ	ア

キーワード
「思いやりの心」

○ 自分が、声をかけたおばさんの立場
 だったとしたら、この後どうしますか。

- ・ 何か行動を起こす。 5 班
- ・ 何もできない。 4 班

← 他人の目がある。
 勇気がない。 など

○ このできごとの後、おばさんにはどんな行動をとってほしいですか。

- ・ 女の人に素直に謝る。
- ・ 女の人に謝罪し、自分の席を譲る。

など

B-6
人との接し方

3年 組 番、氏名

1 あなたは、日々の生活の中で「ありがとう」、「ごめんなさい」の言葉を、素直に、そして気軽に使うことができますか。

ア 素直に言うことができる。
 イ 素直に口にしたいが、言えないことがある。
 ウ 素直に言うことができない。

2 もし、自分が声をかけたおばさんの立場だったとしたら、この後どうしますか。

何もできないと思う ・ 何かしらの行動を起こす

〔何もできない理由〕 or 〔どんな行動をするか〕

.....

.....

3 黙ってしまったおばさんに、この後どのような行動をとってほしいですか。

.....

.....

.....

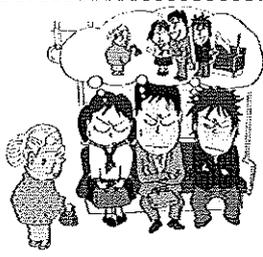
4 「思いやりをもって人と接する」ということはどういうことか、自分の考えをまとめ、今日の授業の感想と合わせて書きましょう。

.....

.....

.....

.....



<本時の振り返り>	できた	あまりできなかった	まだ	よく
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

1 主 題 よりよく生きる (A-5 真理の探究、創造)

2 教 材 「道はいつもひらかれている」(明るい人生 3年:愛知県教育振興会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生は非常に多感な時期で、友達の意見に左右されたり、親の意見に反抗したりすることが多い。これから大人になっていく中で、そういったいろいろな人からの影響を受けながら、自分という人格を形成していく。そのうえで、自分はこうやって生きていきたいという自分の芯を知ること、さらにそれを創っていくことは重要だと考える。

中学3年生にとって、この1年間は期待や不安の入り交じった1年である。これから先、自分で様々な選択をする機会が増え、自ら道を切り拓いて行かなくてはならない。周囲を見ながらも、最後は自分の足で歩く、自分の人生は自分で決めるということにも気付かせたい。

この教材は、人の生き方について多様な見方や考え方に触れることができ、「道はいつもひらかれている」という前向きなメッセージをもとに作られていることから、迷いや悩みの多い中学3年生という時期に適した教材だと考える。この教材を通じて、進路選択や、その先にある困難に直面したときに、自分の足で踏ん張ったり、切り開いたりできるよう、強く生きていこうとする姿勢を育てたい。

(2) 子どもの実態について

本学級の生徒は、男子19人、女子15人の34人である。非常に個性が豊かで、自分の性格や、自分の得意なこと、苦手なことは、どの生徒もしっかり自覚している。しかし、得意なことに関しては意欲的に取り組むが、苦手なことに関しては避ける傾向にあり、人任せになる場面も少なくない。また、自分はこういう人間だから仕方ないと割り切っている面も見られる。そこで、本教材を用いて、自分だけでなく他者の意見を取り入れ、よりよい自分を創っていくことを学ばせたい。

また、人と違う行動を選ぶことを非常に恐れる傾向にあり、人の目を気にして思うよう行動することがなかなかできないことがある。小集団による学習などを取り入れ、自他の相違は当たり前のことなのだという点にも気付かせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

教材中の様々な言葉の中から、自分がどんな生き方をしていきたいかを考え、他者の意見を取り入れ、高め合いながら、自己の真理について深く見つめることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 小集団による話し合い活動をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 12 分	1 本時のねらいを知る。 (1)「人生は、」のあとに続く言葉をつくる。 (2) 発表する。 2 「道はいつもひらかれている」の範読を聞き、 心に残ったフレーズに線を引く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表しやすい雰囲気をつくる。 ・ 多様な意見が出るよう、机間指導して生徒の意見を周囲に伝える。 ・ 書いた言葉だけでなく、なぜそうしたかの理由も聞く。 ・ 長い資料なので、テンポよく範読する。

<p>深める</p>	<p>3 教材について話し合う。</p> <p>(1) 心に残ったフレーズをワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 発表する。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 一度やってもだめなら十度やってみよう。 やり遂げるまでは決してあきらめないこと。 <p>4 生きていくうえで大切だと思うことを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこれまでの生活と対比して考えさせる。 発表に共感できる意見を聞き、その理由も聞く。
<p>32分</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>生きていくうえで最も大切なことは何ですか。</p> </div> <p>(1) 個人の意見をワークシートに記入し、発表する。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 努力 目標 <p>(2) <u>発表によって出た事柄を、小グループで順位づけする。</u></p> <p>(3) <u>小グループで出た意見を、クラス全体で追求する。</u></p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> 努力しないと何事もうまくいかない。 目標がないと向かう先が分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> 必ず1つだけに絞らせる。 お金などの物質的なものではなく、内面的なもので考えさせる。 順位がつけられないという結論でもよいが、話し合わせるために最初はあえて言わないでおく。 グループで出た意見を他グループに伝え、思ったことを確認する。 肯定的に話が進むよう配慮して進行する。
<p>見つめる</p> <p>6分</p>	<p>5 授業の振り返りをする。</p> <p>(1) ワークシートに本時の授業の感想を書く。</p> <p>(2) 全体の場で自分の意見を発表する。</p> <p>(3) 自己評価を記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仲間の意見に対して思ったことを具体的に書くよう指示する。 任意指名で数名発表させる。

(4) 評価

教材中の様々な言葉の中から、自分がどんな生き方をしていきたいかを考え、他者の意見を取り入れ、高め合いながら、自己の真理について深く見つめることができたか。

(5) 板書計画

真理の追求

○ 人生は、

- ・ 山あり谷あり
- ・ 楽しい
- ・ 紙ヒコーキ

道はいつもひらかれている

○ 資料を読んで

印象に残ったフレーズ

- ・ 一度やってもだめなら十度やろう。
- ・ 答えはいつも自分の中にある。
- ・ 見栄や虚勢、嫉妬などに捕らわれていては本当の自分が見えない。

○ 生きていくうえで大切なこと

- ・ 愛
- ・ 目標
- ・ 希望
- ・ あきらめない心
- ・ 努力
- ・ 自由
- ・ 根性
- ・ 勘

○ グループの意見

- ・ 愛がなければ何も生まれない。
- ・ 目標がないとどこへ行けばいいかわからない。

道はいつもひらかれている

3年()組()番 名前()

- ① 下の口に当てはまることをひとつ考えてかきましょう。

人生は、

- 資② あなたがひかれた言葉、いいなと感じた言葉は何ですか。



- ③ 生きていくうえで大切なものは何だと思えますか。

- ④ グループになって大切なものの順位をつけてみよう。

- ⑤ 今日の授業で思ったこと・感じたことを自由にかきましょう。

振り返り

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

自分の考えを友達に伝えることはできましたか？	1	2	3	4
友達の意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

1 主 題 相互理解 (B-9 相互理解、寛容)

2 教 材 「Re-born～生まれ変わる～」

(人権シンポジウム in 東京 「性の多様性を考える～性的指向と性同一性障害～」)

③佐藤かよさん トークショー)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生の発達段階として、異性に関心をもつことは自然なことである。この時期の生徒は、異性を異性として意識するようになり、異性の前で自然に振る舞うことが難しくなることがある。また、このような感じ方には大きな個人差があり、この個人差によって友人との間にズレを感じてしまうことも少なくない。さらに、これまでの生活経験の中で一般概念としての「男らしさ」「女らしさ」を知り、現実の自分とこのような概念とのギャップに違和感を感じ始める生徒もいる。このような時期だからこそ、互いの身体的・生理的性差を正しく理解したり、人との違いが性差によるものなのか、個性によるものなのかを見極めたりする力を身に付けることは、潜在的な性的差別意識を解消し、人として支え合い、共に生きようとする資質の育成に必要である。

本教材は、現在モデルとして活躍をしている佐藤かよさんの実話をもとにしている。幼少期から自身の性に違和感を感じていた彼女は、周りの大人の態度から違和感を感じながらも誰にも相談できなかった。そんな中、死をも考えていた彼女が事実を打ち明け、モデルとして活動しようと思ったのはなぜなのかを考えることで、性差に関係なく「その人本来のよさ」を認め合い、尊重し合える関係を築くことの重要性に気付かせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級には、心優しく誰とでも分け隔てなく接することができる生徒が多くいる。男女の仲も良く、給食や休みの時間にも一緒に話をして過ごす姿を多く見かける。当番の活動もそれぞれが役割をもち、協力をして声をかけ合いながら行うことができている。一方で、相手に少し不満があるときには、「男のくせに…」「女らしく」「男って…」「女はいつも…」など男女を一括りにした発言もみられる。そのような発言から潜在的な性的差別意識をもちつつ、お互いに関わり合っていることが分かる。

そこで、本教材を通して、まずは自分の中にある潜在的な性的差別意識に気付かせたい。また身体的性と精神的性のズレがある人に対して頭では偏見の目で見てはいけないことを分かっているが、実際には拒絶や戸惑いを抱いて行動してしまうことはないかを考えさせたい。さらに、性同一性障害の方の苦悩や決断を知ること、性的差別意識やその他の偏見で人を判断するのではなく、「その人本来のよさ」を見つめることの大切さに気付かせたい。また、普段の生活においても偏見をもたずに、よりよい人間関係を築くことのできる生徒を育成したい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 性同一性障害の事例を通じて、一方的な偏見で人を判断するのではなく、「その人本来のよさ」を見つめて人と関わりをもとうとする意識を高める。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 教師の発問に対して、自分の考えを率直に表現する。
- ・ 少人数で話し合い活動をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 3分	<p>1 理想のパートナーについて話し合う。</p> <p>(1) 理想のパートナーの条件をワークシートに書く。</p> <p>(2) 発表する。 <予想される意見> 【男】 ・ 頼りがいがある。 ・ 強い。 【女】 ・ 料理が得意。 ・ おしゃれ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に人気の有名人の写真を男女別に提示し、外見より内面に着目するよう指示をする。 ・ ワークシートを配付する。 ・ 共感を得そうな意見を書いているかつ発表をためらわない生徒を指名する。 ・ 理想の人に「実は男(女)なんだ。」と打ち明けられたらどうするかを生徒に問い、性差への自分の意識に気付かせる。
深める 40分	<p>2 教材を読む。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) 「私」が性差の違和感を相談できなかったのはなぜかを考える。</p> <p>① ワークシートに記入する。</p> <p>② 発表する。 <予想される意見> ・ 変な目で見られると思ったから。 ・ みんなとは違うから嫌われる。</p> <p>3 性同一性障害の人は、周りに事実を打ち明けた方がよいか、隠し通した方がよいか、を話し合う。</p> <p>(1) 「打ち明ける」「隠し通す」のどちらかを選ぶ。</p> <p>(2) 選んだ理由を考える。</p> <p>(3) 全体で話し合う。 <予想される意見> 【打ち明ける】 ・ 嘘をつき続けるのは苦しい。 ・ みんな理解してくれるはず。 【隠し通す】 ・ 陰口を言われたり、無視されたりする。 ・ 周りの人に哀れみの目で見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性同一性障害の人にとって、周囲の人の無理解や偏見の目が「死」を意識するほどの苦しみの原因となっていることを押さえる。 ・ 生徒を指名し、発表させる。 ・ 理由を考える前に自分がどう思っているかはっきり気持ちを表現させる。 ・ 挙手をさせ、自分の意見を明確にし、仲間の意見も確認する。 ・ 教材から読み取った性同一性障害の人の気持ちを思い出させる。 ・ 時間に余裕のある生徒には、反対の意見をもつ人の理由を考えさせる。 ・ ①「打ち明ける」②「隠し通す」の順で意見を発表させる。 ・ 「つかむ」の段階で実際に自分もった感情を思い出させ、理想と現実のギャップに気付かせる。 ・ 意見が変わった生徒は、赤で印をつけるように指示を出す。

	<p>4 「私」が事実を打ち明けるきっかけとなった一言はどんな言葉だったかを考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">打ち明けるきっかけとなった一言とは、どんな言葉だったでしょうか。</p> <p>(1) <u>4～5人の小グループで話し合う。</u></p> <p>(2) 全体に発表する。 <予想される意見> ・ 男だとしても関係ないけどね。 ・ 何か問題あるのかな。</p> <p>(3) 自分なりのベストアンサーを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の様子を把握し、話し合いの進んでいないグループには、どうして性差の違和感を相談できなかったのかを思い出させる。 ・ 意見をまとめ、簡易ホワイトボードに記入して黒板に提示させる。 ・ 簡易ホワイトボードは、似ている意見が固まるように貼り直す。 ・ 理由も合わせて発表させる。 ・ ワークシートに記入させる。 ・ 性差にこだわることなく、人と関わる上で大切なことがあることに気付かせる。
<p>見 つ め 直 す</p> <p>7 分</p>	<p>5 授業のまとめをする。</p> <p>(1) 教師の体験談を聞く。</p> <p>(2) 授業の感想を書き、発表する。</p> <p>(3) 自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「性別」で人を判断してしまった体験談を話し、性差ではなく「その人のよさ」が大切であることとともに、身近な話題であることに気付かせる。 ・ 多様な意見ができるように指名し、数名に発表させる。

(4) 評価

性同一性障害の事例を通じて、一方的な偏見で人を判断し、関わりをもつのではなく、「その人本来のよさ」を見つめて人と関わりをもとうとする意識を高めることができたか。

(5) 板書計画

The blackboard contains the following elements:

- Left side:** A 4x2 grid of sticky notes with handwritten text.
- Center:**
 - Vertical text: ① 打ち明ける 30人
 - Vertical text: ② 隠し通す 4人
- Right side:**
 - Handwritten notes: 性差の違和感と相談できなかった理由、知られるのが恥ずかしい、問題のある子、勇気だから、問題のある子.
 - Photos of two people.
 - Handwritten text: 理想のパートナー、Reborn、生まれ変わる、やさしい、いじわる、いじわるを、かわいらしい人、理解してくれる人、かわいらしい人.

3年()組()番()

★ 理想のパートナー



○ 性差への違和感を誰にも相談できなかったのはなぜでしょう。



◎ 性同一性障害の人は、周りに事実を打ち明けた方がよいでしょうか？隠し通した方がよいでしょうか？

打ち明ける . 隠し通す

なぜそう思うのか理由を書きましょう。

反対の立場の人はどんな意見をもっているでしょうか。

なるほどスベース

打ち明ける

隠し通す

きっかけとなった一言とは？



感想

①自分の考えを友達に伝えることはできましたか。

1 2 3 4

②友達の意見や考えを理解できましたか。

1 2 3 4

③自分の考えを深めることはできましたか。

1 2 3 4

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

第3学年D組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 集団の一員としてできること (C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実)
- 2 教 材 「明かりの下の燭台」(明るい人生 3年：愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

中学生は、同じ学校の中でも学年、学級、部活動、生徒会活動など細分化された集団の中で、それぞれの立場で学校生活を送っている。もちろん学校以外においても、それぞれが家庭をはじめとして異なる集団に属し、その一員として日々の生活を営んでいる。生徒たちがそれぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。そこで、本主題を通して、より集団としての質を向上させ、その中で自己実現を図るために、お互いに協力し、励まし合うことで、よりよい人間関係をつくるろうとする意欲と実践的態度を育てたい考える。

本教材は、東京オリンピックのバレーボール日本チームのマネージャーであった鈴木恵美子さんのことを、当時の大松監督が語った話である。選手としてプレイすることを願っていた鈴木さんは、監督からマネージャーとしてチームのために働くことを求められた。悩んだ末に、鈴木さんはマネージャーを引き受け、4年間、何の愚痴もこぼすことなくその役割を果たしていく。やがてチームは、金メダル獲得という目標を達成することができた。そこには、選手と同じように個人として、チームの一員として充実感や達成感を味わう鈴木さんの姿があった。そのような鈴木さんの生き方を通して、普段の自分自身の行動を見つめ直させ、一つの目標に向かう集団の一員として自らの役割や責任を果たすことや、そこから得られる喜びを感じ取らせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、落ち着いた生徒が多く、穏やかな雰囲気である。一部で幼さの残る男子生徒がおり、休み時間にはじゃれ合う姿が見られるものの、授業や学級活動との切り替えはきちんとできている。また、学級の係活動や当番活動、委員会活動に対して、指示されたことは素直に取り組んでいる。時には自分の仕事に気づかずに忘れてしまう生徒がいたり、一人では大変そうな仕事をしている生徒がいたりするのを見かけると、それに対して声をかけたり代わりに手伝ったりするなど、お互いに助け合う姿が見られる。

しかし、言われたことをその通りにやろうとする受け身の傾向が強い分、集団の中での役割を責任もって果たすということが、集団生活の向上につながり、さらには自己の向上にもつながるということ意識できている生徒はあまり多くないように感じられる。また、特に女子生徒においては、普段から深く付き合う友達が限られている生徒が多く、お互いに対立することはないものの、女子特有の小グループがそれぞれ独立しており、前述の助け合いの行動もその仲間同士だけに留まることが多い。

そこで、本教材を通してどんな立場や関わり方であっても集団全体に貢献する大切さに気付かせるとともに、お互いを認め合う雰囲気を高めたい。そして、自分の行動に責任をもち、さらに集団の一員として積極的に行動できる生徒を育てたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 鈴木さんの生き方を通して、集団の一員として役割を果たすことが集団の向上につながることや、そこから得られる喜びがあることを知る。
- ・ 集団の一員としてできることについて、自分の考えをより深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ グループ単位や学級全体で意見を共有することで、さまざまな集団への貢献の仕方や価値に対する多様な考え方に気付き、自分の考えを見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5 分	<p>1 提示された写真を通して、本時の主題を知る。</p> <p>○ この写真の女性の職業は何だと思えますか。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わからない。 ・ 給食の調理員。 ・ 清掃員。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京ディズニーシーのカストーディアルの写真を黒板に貼る。 ・ 数人の生徒を指名し、発表させた後、清掃をする姿の写真を提示し、「カストーディアル」と呼ばれていることを知らせる。 ・ 「集団の一員としてできること」について考えることを伝える。 ・ ワークシートを配付する。
深 め る 40 分	<p>2 教材を読む。</p> <p>(1) 教材の前半部分 (~ P.81 L.11) を読み、あらすじを確認する。</p> <p>(2) マネージャーを引き受けた鈴木選手の気持ちを考える。</p> <p>○ 鈴木選手がマネージャーを引き受けたのは、どのような気持ちからだと思えますか。</p> <p><予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選手になれないなら辞めてしまいたいけど、それでもバレーボールに携わりたい。 ・ 前のマネージャーがやめてしまったのであれば仕方がない。 ・ 本当は選手として活躍したかったけど、新たな立場でがんばろう。 <p>(3) 教材の後半部分 (P.81 L.12 ~) を読む。</p> <p>3 自分が鈴木さんの立場にいるものと想定して、チームのためにどのようなことができるのかを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が範読する。 ・ 東京オリンピックのころで、女子バレーボールの日本代表が金メダルを確実視されていたこと、6人制への移行により身長の高い選手が活躍の場を失ったことなど、鈴木さんを取り巻く状況を確認する。 ・ 鈴木さんが選手としてプレーしたいという願いが強かったことを押さえる。 ・ ワークシートに自分の考えを書かせる。 ・ 数名を指名して発表させる。 ・ 教師が範読する。 ・ マネージャーの仕事に取り組む中で、鈴木さんが個人として、チームの一員としての喜びを味わっていたことを押さえる。 ・ 磯田と谷田が大会前にけがをした状況で考えるように伝える。

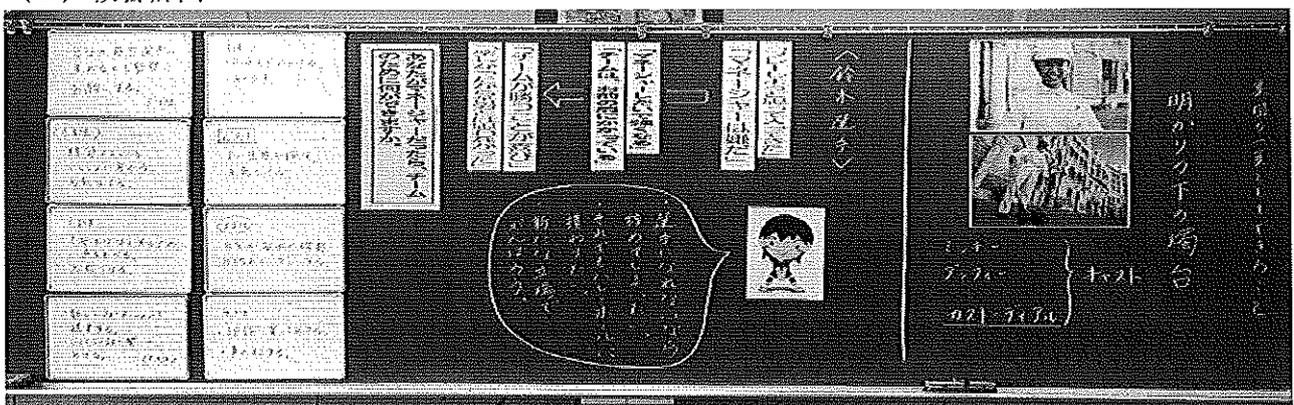
あなたが鈴木さん（マネージャ）だったら、チームのために何ができますか。

	<p>(1) 考えたことをワークシートに書く。 <予想される意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 磯田と谷田が不安にならないように励ます。 ・ 磯田と谷田のけがの状況が相当悪そうなのであれば、自分が代わりに選手になれないか監督に懇願する。 ・ けがをしていてもできる練習メニューを監督と相談して考える。 <p>(2) <u>グループで考えを共有する。</u></p> <p>(3) <u>グループでどのような考えが出てきたのかを発表する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導をして、考えを書けない生徒に助言をする。 ・ 4人もしくは5人のグループを作らせる。 ・ 他の生徒が話しているときには、じっくりと耳を傾けるように指示する。 ・ 簡易ホワイトボードに意見を書かせる。 ・ 簡易ホワイトボードを黒板に掲示させる。 ・ 数グループ発表させる。 ・ グループで出てきた考えはすべて発表させる。
<p>見 つ め 直 す 5 分</p>	<p>4 「集団に所属する一員としてできること」について考えたことをまとめる。</p> <p>5 本時の振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動を振り返って自分の考えをワークシートに書かせる。

(4) 評価

- ・ 本時の活動を通して、集団の一員として役割を果たすことが集団の向上につながることや、そこから得られる喜びがあることを知るとともに、集団の一員としてできることについて、自分の考えをより深めることができたか。

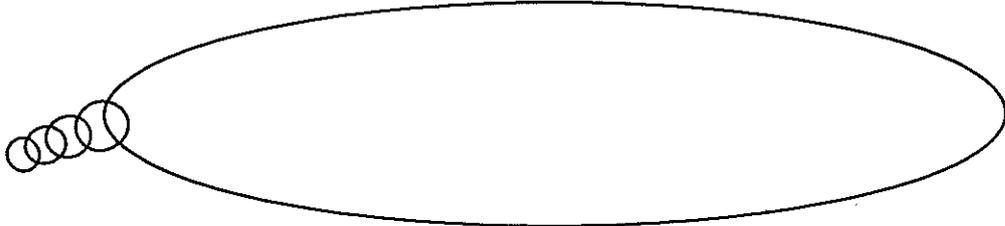
(5) 板書計画



明かりの下の燭台

組 番 氏名

鈴木選手がマネージャーを引き受けたのは、どのような気持ちからだと思いますか。



あなたがマネージャーだったら、磯田と谷田が大会前にけがをした状況の中で、チームのために何ができますか。

【あなたのできること】

【どのような思いからそうするのか】

グループをつくり、あなたの下した決断とその理由をみんなに伝えましょう。相手の話はじっくり聞きましょう。

【聞き取りメモ】*印象に残った考えなどをメモしましょう。



話し合いや全体発表をふまえて、「集団に所属する一員としてできること」ことについて、どのように考えたかを書きましょう。

【本時を振り返って】 できなかった ・ あまりできなかった ・ まあできた ・ よくできた

①自分の考えを相手に伝えることができましたか。	1	•	2	•	3	•	4
②相手の意見や考えを理解することができましたか。	1	•	2	•	3	•	4
③自分の考えを深めることができましたか。	1	•	2	•	3	•	4

- 1 主 題 真の友情 (B-8 友情、信頼)
- 2 教 材 「裏庭での出来事」(明るい人生 3年:愛知県教育振興会)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

真の友情とは、互いに信頼があって成り立つものである。それは、相手の成長を願い、互いに励まし合い、高め合い、協力を惜しまない関係である。中学生の時期は、互いに心を許しあえる友人を真剣に求めるようになる時期である。これまでは家族や先生に判断をゆだねてきたことを、自分自身で考え行動しなければならない段階にある。そのため、同世代により理解者を求めたり、心から信頼できる友人関係を築いたりしたいという気持ちが高まってくる。しかし、自分が傷つかないように、同じ考えの仲間や自分の考えに同調してくれる人だけを友人としてみなして、人間関係を築いてしまいがちである。そこで、豊かな人間関係を促しながら、相手の表面的な言動だけでなく、内面的なよさに目を向け、相手の成長を心から願って互いに励まし合い、わだかまりなく注意し合える信頼関係を築かせたい。

本教材は、学校生活の中で日常的に起こり得る出来事を扱ったものである。遊んではいけない裏庭で遊んでいた3人のうち、雄一が窓を割ってしまう。雄一は先生のところへ謝りに行ったが、大輔は自分は悪くないから謝りに行く必要がないと主張する。この二人の間で悩みながらも、謝りに行こうと決意した主人公の健二の気持ちを中心に、この話は描かれている。この話の最後には、健二は大輔のことを振り切って、先生のところへ謝りに行くという決断をする。そこで、心から信頼関係を築くには、健二は大輔に対してどのような言葉がけをするとよかったかを考えさせることで、真の友人関係について多様な考えがあることに気付かせ、深めさせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、男女ともに和やかな雰囲気生活している。しかし、周りに流され、級友の意見に同調することで、友人関係を築いている生徒も多くいる。また、本学級の生徒は、自分の思いを伝えるのが苦手な傾向にある。これまでの道徳の授業での自己評価を見ると、「自分の考えを深めることができましたか」の質問に対しては、ほとんどの生徒が「できた」と回答している。また、「友だちの意見や考えを理解することができましたか」に対しても、「できた」と答える生徒が多かった。その一方で、「自分の考えを友だちに伝えることができましたか」に対しては、「あまりできなかった」という消極的な回答が多く見られた。そこで、本時の中で、自分の意見を発表できる場をつくり、相手に自分の思いをきちんと伝えさせたいと考える。

これらのことから、本教材を通して、友人関係の中で、大切にしなければならないことを考え、心から信頼できる友人関係を築くことができる生徒の育成を目指したい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 大輔に対する健二の言動を通じて、「真の友情」について多様な考え方があることを知ることから、自分の考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 班での話し合い活動をする。
- ・ 意見交換を終えた後に、自分の考えをもう一度見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

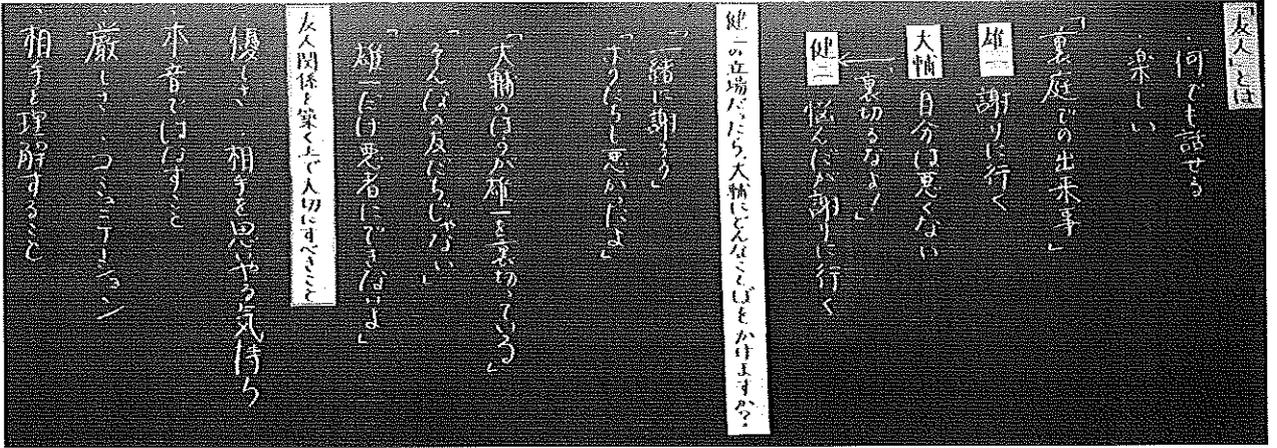
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
価値の提示 5分	1 自分にとって友人はどんな存在であるかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「友情」について考える時間であることを知らせる。 ・ ワークシートを配付する。 ・ 数名に指名して、思い浮かんだことを自由に発表させる。 ・ 普段の学校生活の中で、友人とどのような関わり方をしているのかを確認する。
価値の追求把握 40分	2 教材を読んで考える。 (1) 範読を聞き、内容を理解する。 (2) 自分が健二の立場だったら、大輔にどのような言葉がけをするかを考える。 (3) 学級全体で意見を共有する。 〈予想される意見〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一緒に謝ろう。 ・ 僕たちも悪かった。 ・ 大輔の方が雄一を裏切っている。 ・ そんなの友だちじゃない。 ・ 雄一だけ悪者はおかしい。 3 「真の友情」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読後、貼付カードなどを用いて、話の要旨を確認する。 ・ 大輔の「謝りに行かない」という選択が、よいことなのか悪いことなのかを考えさせる。 ・ 4～5人の班で意見交換をさせ、一つの意見にまとめさせる。 ・ 机間指導の中で、各班の意見を把握する。 ・ 理由も添えて発表させる。 ・ 種類分けしながら、意見を板書する。 ・ 他の班の意見でなるほどと思ったことをワークシートに記入させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 友人関係を築く上で大切にすべきことを考えましょう。 </div>		
	(1) <u>班で話し合う。</u> (2) 学級全体で意見交換する。 〈予想される意見〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 優しさ ・ 相手を思いやる気持ち ・ 本音を話すこと ・ 厳しさ ・ コミュニケーション ・ 相手を理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班で意見交換をさせ、できるだけたくさん考えさせる。 ・ 班で出た意見の中から上位5つを選んで、理由も添えて発表させる。

まとめ 5分	4 友人にとって自分はどうのような存在でありたいかを考える。 〈予想される意見〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本音を言い合える存在 ・ 間違っことは間違っているといえる存在 ・ 優しくて厳しい存在 5 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いで考えたことをもとに書かせる。 ・ 意見を発表させる。 ・ 自己評価をさせる。
-----------	---	---

(4) 評価

- ・ 大輔に対する健二の言動を通じて、「真の友情」について多様な考え方があることを知ることから、自分の考えを深めることができたか。

(5) 板書計画



裏庭での出来事

B-8

()組

()番

名前()

○ あなたにとって友人はどのような存在ですか？

○ 健二の立場だったら、大輔にどんなことばをかけますか？

『

』

理由：

.....
.....
.....

☆ 友人関係を築く上で大切にすべきことは である

あてはまることばを班で5つ考えましょう。(理由も添えて)

○ 友人にとってあなたはどのような存在でありたいですか？



- 道徳の授業を振り返って 1：できなかった、2：あまりできなかった、3：まあできた、4：よくできた
- | | | | | | | | |
|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 自分の考えを友だちに伝えることができた | 1 | • | 2 | • | 3 | • | 4 |
| 友だちの意見や考えを理解できた | 1 | • | 2 | • | 3 | • | 4 |
| 自分の考えを深めることができた | 1 | • | 2 | • | 3 | • | 4 |

- 1 主 題 きまりの本当の意味（C-10 遵法精神、公德心）
- 2 教 材 「ワカサギ」（明るい人生 3年：愛知県教育振興会）
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

最近の社会では、法に違反さえしなければ、何をやってもよいというようなできごとを目にすることが多い。社会の秩序は、守るべき最低限の事柄を示した法を守るだけでなく、自らの良心に従って、積極的に法を守ろうとすることによって維持され、高められる。

本教材は、三郎たちが、産卵期で川をのぼるワカサギを禁漁区域外だということで取ってしまうわけであるが、そのことを通して、きまりのもつ本来の意味を理解することの大切さを考えさせるものである。禁漁区が、産卵期の魚を保護するために設定されたものであることについて、深く考えさせることを通じて、自らの良心を見つめ積極的に法を守る生徒を育てたい。

(2) 子どもの実態について

本学級は、明るい生徒が多い。元気がよく、楽しい雰囲気をつくることもあるが、きまりに対して、自分に都合のよい解釈をして、周囲に迷惑をかける行動をとってしまうこともある。本教材を通して、社会の秩序や規律を守るために、きまりの意義を理解させ、自分の行動による影響を考える態度を身に付けさせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 法やきまりの意義を理解し遵守するとともに、自他の権利を重んじ、社会の秩序と規律を守る気持ちを高めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 小グループでの話し合いを通じて、他の人の考えを聞くことにより、自分の考えを深める。

(3) 本時の展開（ねらいにせまる学習活動）

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5分	1 日常生活の中で、きまりを守れなかった経験を思い出す。	・ きまりを守れなかった経験のある生徒に挙手をさせる。
深 め る 40分	2 教材を読む。 3 教材について話し合う。 (1) 筆者の行動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の前半を範読し、内容を確認する。 ・ ワークシートを配付し、自分の考えを書かせる。 ・ 理由も書くよう伝える。 ・ 机間指導し、どんな考えを書いているかをつかむ。
	三郎や忠と順二の父のどちらが正しいと思うか。	

	<p>(2) <u>班で話し合う。</u></p> <p>(3) <u>学級全体で意見を発表し合う。</u> <予想される意見> 【三郎や忠】 ・ 禁漁区でない。 【順二の父】 ・ ワカサギが絶えてしまう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班で、自分がワークシートに書いた意見を順に発表させる。 ・ 班ごとに、出た意見を発表させる。また、参考になった意見もワークシートに書かせる。
<p>見 つ め 直 す 5分</p>	<p>4 自分の意見を見つめ直す。 <予想される意見> 【順二の父】 ・ 禁漁区と同じ。</p> <p>5 本時の授業で、きまりについて考えたことを書く。 <予想される意見> ・ きまりの意味を考えたい。</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材の後半を範読し、改めて自分の意見をワークシートに書かせる。 ・ きまりのもつ本来の意味について考えさせる。 ・ 自己評価を記入させる。

(4) 評 価

- ・ 法やきまりの意義を理解し遵守するとともに、自他の権利を重んじ、社会の秩序と規律を守る気持ちを高めることができたか。

(5) 板書計画

ワカサギ

子持ちのワカサギを取る。

○ 三郎や忠(取ってよい)

・ 禁漁区でない。

・ 数年は一度なので影響ない。

○ 順二の父(取っていけない)

・ ワカサギが絶えてしまう。

・ 産卵場所なので禁漁区と同じ。

◎ きまりについて

・ きまりの本当の意味を考えたい。

・ きまりのないことも自分の行動による影響を考えたい。

ワカサギ C-10

() 番 ()

○ 三郎や忠と順二の父のどちらが正しいと思うか。その理由も書きなさい。

三郎や忠（取ってよい） ・ 順二の父（取っていけない）

理由

○ 他の人の意見で、参考となった意見を書きなさい。

○ 改めて三郎や忠と順二の父のどちらが正しいと思うか。その理由も書きなさい。

三郎や忠（取ってよい） ・ 順二の父（取っていけない）

理由

○ 今日の授業で、きまりについて考えたことを書きなさい。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできたか?	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できたか?	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできたか?	1	2	3	4

- 1 主 題 様々な意見を聞こう (B-9 相互理解、寛容)
- 2 教 材 「こどものとうひょう おとなのせんきよ」(童新社)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自分の考えや意見を人に伝えることは、人間関係を築き、相互理解を深めるために欠かすことができない。また、人には、それぞれ自分のものの見方や考え方があり、個性がある。互いが相手の存在の独自性を認め、相手の考えや立場を尊重することで、自分のものの見方や考え方を広げたり、確かなものにしたることができる。そこで本主題を通して、自分の考えや意見を伝えること、他者の考えや立場を尊重することの大切さを学ばせたい。

本教材は、多くの子どもたちが利用する児童館を舞台とした絵本である。児童館の広場を多くの子どもが利用するようになり、ぶつかるなどしてけんかや争いが起こったため、子どもたち自身が広場の使い方を決めることになる。本教材を利用し、児童館の広場の使い方について、どのように決めるとよいのかを考えさせ、自分の意見を発表させたい。さらに、他者の考えを聞き、多様な考えがあることに気付き、様々な意見を大切にしなければいけないことに気付かせたい。

(2) 子どもの実態について

本学級には、自閉症やADHDといった発達障害をもつ生徒や不登校傾向の生徒が在籍している。自分の考えや意見を言葉でうまく伝えることが難しい生徒が多い。一方で、自分の意見を言うことばかりを考え、他者の意見を聞くことが難しい生徒、自分の考えに固執するあまり他者の意見を聞き入れることが難しい生徒もいる。学校生活全般を通して、あらゆる場面で他者の意見を聞くことの大切さを伝えてはいるが、生徒の特性ゆえになかなか理解することが難しい。そこで、本教材を通して、それぞれの特性に応じ、できる範囲で自分の考えや意見を伝えさせるとともに、他者の考えや意見を尊重することの大切さを学ばせたい。

4 本時の構想

(1) 本時のねらい

- ・ 児童館の広場の使い方をどのように決めるのか、なぜそう思うのか、自分の考えや意見を伝えることができる。
- ・ 級友の意見を聞き、多様な考えがあることに気付き、様々な意見を大切にしなければいけないことに気付くことができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ ワークシートに自分の考えや意見を書いてから発表する。
- ・ 級友の意見についてどのように思うか発表する。
- ・ 級友の意見を聞いたあとに、自分の考えをもう一度見つめ直す。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

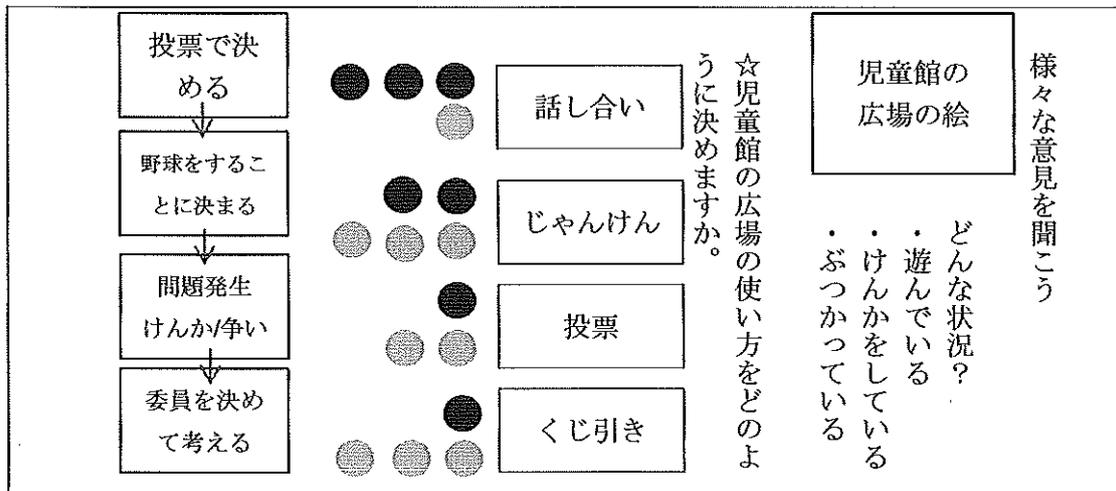
過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 10 分	1 主題を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えや意見を伝える、意見を聞くときのポイントを伝える。
	2 提示された絵を見て、どのような状況なのか考える。 ○ この絵はどのような状況だと思いますか。 <予想される意見> ・ 遊んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館の広場で多くの子どもが遊んでいる絵を見せる。 ・ 理由も添えて、発表させる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ けんかをしている。 ・ 人がたくさんいる。 	
深める 30分	<p>3 児童館の広場の使い方をどのように決めるか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">児童館の広場の使い方をどのように決めますか。</div> <p>(1) <u>ワークシートに自分の考えを書く。</u></p> <p>(2) <u>自分の意見を発表する。</u> <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> ・ じゃんけんで決める。 ・ 投票で決める。 </p> <p>4 児童館の広場の使い方をどのように決めて、どのような結果になったのかを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童館の広場でけんかや争いが起きていることを説明し、使い方をどのように決めるか考えさせる。 ・ <u>級友の意見について、マークを使って賛成と反対を示させ、理由を発表させる。</u> ・ 教材の内容を絵を提示しながら伝える。
	見つめ直す 10分	<p>5 <u>級友の意見、教材の内容を聞き、どのように決めるか、もう一度考える。</u> <予想される意見> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いで決める。 ・ 投票で決める。 </p> <p>6 本時の振り返りを記入する。</p>

(4) 評価

- ・ 児童館の広場の使い方をどのように決めるのか、なぜそう思うのか、自分の考えや意見を伝えることができたか。
- ・ 級友の意見を聞き、多様な考えがあることに気づき、様々な意見を大切にしなければいけないことに気付くことができたか。

(5) 板書計画



道徳プリント「様々な意見を聞こう」

名前 _____

1 児童館の広場の使い方をどのように決めますか。



<理由>

2 様々な意見を聞いて、どのように決めるかもう一度考えましょう。



<理由>

3 感想や思ったことがあれば書きましょう。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第1学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 「よりよく生きる」とは (D-22 よりよく生きる喜び)
 2 教 材 「あるレジ打ちの女性」(明るい人生 一年:愛知県教育振興会)
 「生きてることってすばらしい」(山口智充 作詞)
 「隻腕の剣士・高宮選手」(インターネット画像)

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

3つの教材に登場する人物の様々な生き方について考え、「よりよく生きる」ことについて仲間と意見を共有したり話し合ったりすることで、自らの考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 小グループでの話し合いをする。
- ・ クラス全体での意見共有と個人による二次判断をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 5分	1 本時のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ よりよく生きることについて考えることを確認する。 ・ 答えは数多くあることを伝える。
深める 35分	2 教材を通じて、生き方について考える。 (1) 歌「生きてることってすばらしい」を聴き、歌詞の「 <u>死んでるように生きている</u> 」とはどのような生き方なのか小グループで話し合う。 (2) 「あるレジ打ちの女性」を読み、登場人物の生き方を知る。 (3) 「隻腕の剣士・高宮選手」の写真を見て、生き方を知る。 3 <u>よりよく生きるために必要なことについて話し合う。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞カードとワークシートを配付する。 ・ グループで話し合ってから、出た意見を記入させる。 ・ 1グループずつ発表させる。 ・ 隊形を元に戻すよう指示する。 ・ 貼付カードで要点を確認する。 ・ 登場人物の気持ちも考えさせる。 ・ 貼付カードで要点を確認する。 ・ 個性や発想の転換にも注目させる。
	どんなことをすれば、よりよく生きることができると思いますか？	
	(1) <u>自分の意見をワークシートに書き、発表する。</u> (2) <u>級友の意見について話し合う。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材のような生き方や自分の経験から大切だと思ったことに注目させる。 ・ 生き方がどのようによくなるのか考えさせる。

ま と め る 10分	4 自分の生き方について、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がよりよく生きるために必要なことを考えさせる。 ・ 数名に発表させる。
	5 本時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時は、よりよく生きることについて考えるきっかけであることをもう一度確認する。 ・ 自己評価を記入させる。

(4) 評価

3つの教材に登場する人物の様々な生き方について考え、「よりよく生きる」ことについて仲間と意見を共有したり話し合ったりすることで自らの考えを深めることができたか。

ワークシート

<D-22>

～ 「よりよく生きる」とは ～

組 番 氏名

1 「死んでるように生きている」とは、どのような生き方だと思いますか？

2 どんなことをすれば、よりよく生きられると思いますか？



3 自分がよりよく生きるために必要なことは何だと思いますか？ 理由も書いて下さい。

4 感想を書いて下さい。



本時の振り返り	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
① 自分の考えを相手に伝えることができましたか。	1	2	3	4
② 相手の意見や考えを理解することができましたか。	1	2	3	4
③ 自分の考えを深めることができましたか。	1	2	3	4

第1学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 どうして礼儀や敬語が必要なのか (B-7 礼儀)
 2 教 材 「やっぱり敬語が必要なわけ」(明るい人生 1年:愛知県教育振興会)
 3 本時の構想

(1) 本時のねらい

- 教材の中学生や道を尋ねた人の気持ちや思い、他の人が見ていた時の思いを理解することを通して礼儀や敬語をどんな時に使うのか、誰に対して敬語を使うとよいのかについて考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ロールプレイを取り入れたグループ内の意見交換を行う。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 7 分	1 敬語について話し合う。 ・ 突然話しかけて来た人に対してどう答えるのか、グループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 知らない人が突然話しかけてきた時の対応の仕方や言葉使いをグループで話し合いをさせる。 自分の意見が書けないときは友達の見解をワークシートに記載させる。 礼儀や敬語について考えることを伝える。
	2 本時の主題を知る。	
配役決め、演技終了後に思った気持ちを伝えよう。 また、どうしたらよいのか話し合おう。		
深 め る 37 分	3 <u>ロールプレイをして、意見交換をする。</u> (1) 分担して演じる。 (2) 気持ちを共有する。 (3) 発表する。 4 どんな話し方をしたらよいのかを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイで、自分が演じたものの気持ちや感想や意見をグループ内に伝達させる。 ワークシートに自分が思ったことや感じたことを記入させ、友達の意見や感想も記入させる。 ホワイトボードに記入させる。 誰に対して敬語を使うべきなのかを考えさせる。 年下でも敬語を使わないといけない場合があることを確認する。
ま と め る 6 分	5 礼儀や敬語について教師の話聞く。 6 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> 礼儀やマナーについて、教師の経験を踏まえた話をする。 本時の感想や自己評価を記入させる。

(4) 評 価

教材の中学生や道を尋ねた人の気持ちや思い、他の人が見ていた時の思いを理解することを通して礼儀や敬語をどんな時に使うのか、誰に対して敬語を使うとよいのかについて考えを深めることができたか。

ワークシート「礼儀や敬語」について (B-7)

年 組 班 番氏名

1. あなたは、敬語は必要だと思いますか? → は い ・ いいえ		
2. 全然知らない人が話しかけてきました。あなたならどうしますか? 例 無視・逃げる		
知らない人	自分の意見・班の人の意見	丁寧語・尊敬語・タメ口
妊婦 (荷物を持っている・つらそう)		
ヤンキー (やばい・怖そうな人)		
年下の人 (小学2~4年生)		
◎礼儀や敬語はなぜ必要? →		
3. 配役決め、演技終了後に思った気持ちを伝えよう。また、どうしたらよいのか話し合おう。 ※中学生がどうしたらよかったのかを班でまとめてみましょう。(ミニホワイトボード)		
配 役 (役者氏名)	気持ちを考えよう	
中学生 ()	本人の気持ち →	
道を尋ねる人 ()	中学生に対しての気持ち →	
家政婦は三田 ()	やり取りを見た感想 →	
通りすがりの人 ()	やり取りを見た感想 →	
4. どんな話し方をしますか? 例 ため口・丁寧な言葉・敬語や尊敬語		
() 先生	質問や話かける時 →	
() 先輩	何かを尋ねる時 →	
友達 ()	何かを尋ねる時 →	
5. どんな時に敬語が必要ですか? また、誰に敬語を使いますか?		
○どんな時・・・		
○誰に敬語を使いますか? (2名程度)・		
6. ため口で言える人は、() 人間と () の人間 or () 言の言葉		

授業の感想・自分が変わったところ・自分が変わろうと思ったところを書きましょう。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか?	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか?	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか?	1	2	3	4

第1学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 ルールと思いやり (C-10 遵法精神、公德心)
 2 教 材 「村長の決断」(モラルジレンマ資料と授業展開 小学校編: 明治図書)
 3 本時の構想

(1) 本時のねらい

村長の葛藤について学級全体で話し合うことをきっかけに、遵法精神と思いやりの共存について自分の考えを深めさせる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体で討議をする。
- ・ グループで話し合いをする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 13分	1 「我が家のルール」について意見交換し、発表する。 2 教材を読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面型の座席で授業を始める。 ・ 近くの4～5人のグループで、座席はそのままで意見交換させる。 ・ 発表する生徒には、何のためのルールか確認する。 ・ 教材を配付する。 ・ 貼付カードを使って要点を確認する。
高め合う 30分	3 <u>村長の決断について考え、学級全体で討議する。</u> ○ 村長はどうすればよかったですか。 4 問題点を確認する。 5 <u>2つの道徳的価値についてグループで話し合い、内容を発表する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付し、自分の考えを記入させる。 ・ 机間指導をしながら、書き終わった生徒には黒板に名札カードを貼付するよう声をかける。 ・ 全員が名札カードを貼付したら、生徒に理由を聞きながら討議させる。 ・ 教材の状況が、遵法精神と思いやりについて葛藤していることを確認する。 ・ 4～5人のグループ隊形をつくるよう指示する。
	<p>どうすれば、みんながよりよく暮らすことができるでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いがまとまっていなくても、話し合った内容を発表するよう伝える。
見つける 7分	6 自分の考えをワークシートにまとめ、発表する。 7 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隊形を元に戻すよう指示する。 ・ グループの話し合いの内容にとらわれず、自分の考えをまとめるよう伝える。 ・ 書き終わった生徒数名に発表させる。 ・ 全員が書き終わったら、ワークシートを回収する。

(4) 評 価

村長の葛藤について学級全体で話し合うことをきっかけに、遵法精神と思いやりの共存について自分の考えを深めることができたか。

道徳プリント「村長の決断」

1年 組 氏名 _____

1 村長は、どうすればよかったと思いますか？

少女を見逃す

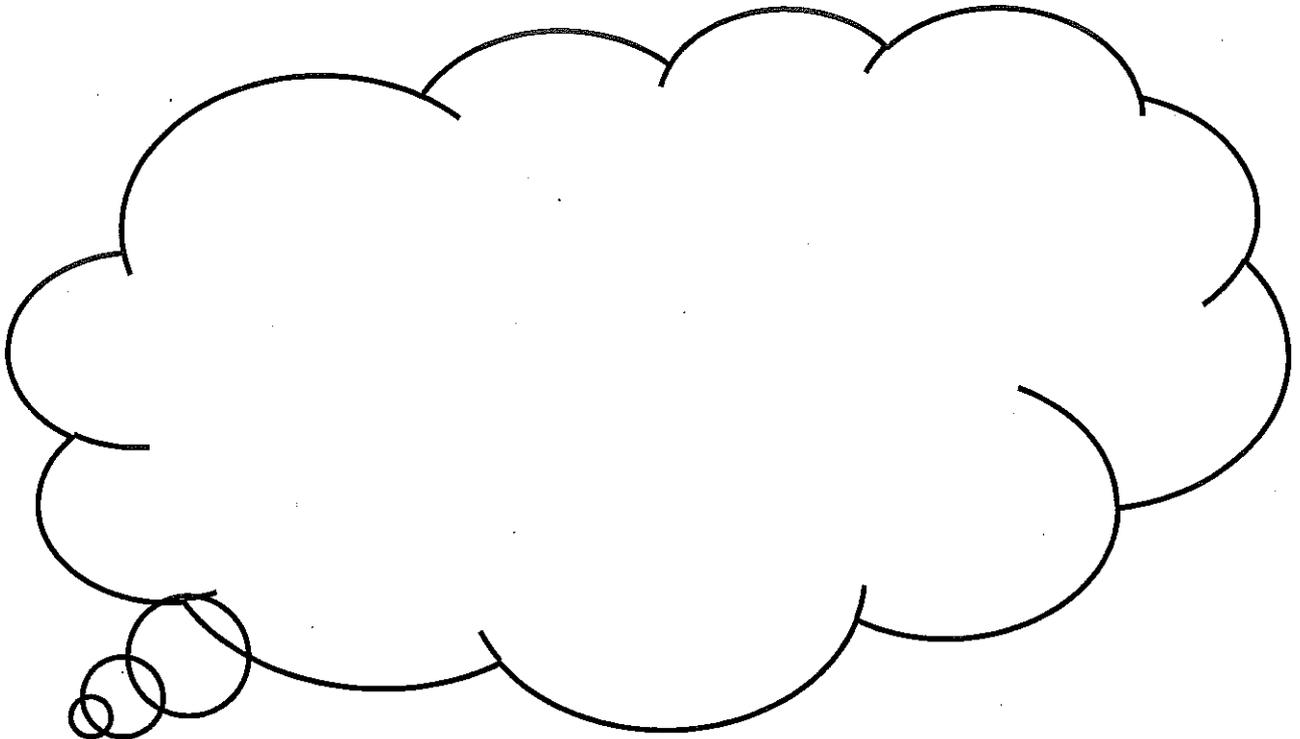
少女を捕まえて、村人に渡す

<理由>

2 どうすれば、みんながよりよく暮らすことができるでしょう？

<メモ欄>

3 「ルールを守ること」と「人を思いやること」について、自分の考えをまとめましょう。



<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第2学年 道徳学習指導案

指導者

1 主 題 ふるさとの未来を見つめて (C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

2 教 材 「ぼくらの村の未来」(「ココロ部!」4月7日・14日放送: NHK Eテレ)

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

- 教材「ぼくらの村の未来」を取り上げ、新しい道路建設の是非を問う中で、便利で安全なくらしと村の発展を望むか、これまで通りの豊かな自然の中での生活を望むかを考え、話し合う活動を通して、郷土を愛し、郷土の発展のために自分にできることを実行しようとする意欲を高めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- 小グループによる話し合いや、全体での発表を行う。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 15分	1 「ぼくらの村の未来」を視聴して、内容を確認する。 (1) 「ぼくらの村の未来」を視聴する。 (2) 主人公であるコジマくんの立場になって、内容を確認する。	・ イラストを活用して、内容を整理する。
深める 30分	2 コジマくんの立場になり、村の道路建設に「賛成」か「反対」かを考える。 コジマくんは、道路建設に「賛成」か「反対」のどちらを選んだらよいと思いますか。 (1) 「賛成」(村の発展)か「反対」(自然を守る)かを自分で決め、その理由も考えて、ワークシートに書く。 (2) 自分の決めた立場を名札カードで黒板に示す。 (3) <u>小グループをつくり、意見交換をする。</u> (4) <u>学級全体で意見を共有する。</u> 3 話し合いを通して考えたことをもとに、10年後、100年後の村の未来のことを考え、もう一度「賛成」か「反対」かを考える。	・ なかなか書けない生徒には、思っていることをそのまま書くよう指示する。 ・ 互いの意見に疑問があるときには、伝え合うなどより話し合いを深めるよう指示する。 ・ 理由も書かせる。
まとめる 5分	4 今日の学習を通して、自分のふるさとである「弥富」についてどう思っているのか、ふるさとのために将来どんなことができるのかをまとめる。 5 本時の振り返りをする。	・ 自分のふるさとである「弥富」に目を向けさせ、将来自分がふるさとのためにどんなことができるかを考えさせる。 ・ 数名に発表させる。 ・ 自己評価を記入するよう伝える。

(4) 評 価

- 仲間と話し合う活動を通して、郷土を愛し、郷土の発展のために自分にできることを実行しようとする意欲を高めることができたか。

道徳日記

2年()組 No.() 名前()

○コジマくんはどちらを選んだらよいと思いますか？ その理由も書きましょう。

賛成 (便利で安全な暮らし)	反対 (豊かな自然を守る)



○10年後、100年後の「ぼくらの村」のことを考えてコジマくんはどうしたらよいのでしょうか？ 理由も書いてみましょう

どうする？	理由は？

○今日の学習を通して

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第2学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 国際理解 (C-18 国際理解、国際貢献)
 2 教 材 「海と空 ー樫野の人々ー」(私たちの道徳:文部科学省)
 「海難1890」(インターネット動画)

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

樫野の人々の思いやトルコの親日感情を理解した私の変化を通して、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野で同じ人間として尊重しあおうとする心情を育む。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 小グループでの話し合いをする。
- ・ クラス全体での意見共有と個人による二次判断をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 5分	1 本時のねらいを知り、トルコについての興味を高める。	・ トルコの位置や「エルトゥールル号遭難事件」の資料を見せる。
深める 35分	2 教材を通じて、エルトゥールル号の生存者を救助した、樫野の人々の「思い」を考える。 (1) 教材「海と空 ー樫野の人々ー」の範読を聞き、トルコ航空でイランから脱出できた主人公の疑問について確認する。 (2) エルトゥールル号を救助した樫野の人々の「思い」について考え、ワークシートに意見を書いて発表する。	・ 教材とワークシートを配付する。 ・ なぜトルコの飛行機が日本人を救出したのかという疑問から、過去の遭難事件との関わりに注目させる。 ・ カードで要点を確認する。 ・ 樫野の人々の遭難した人たちへの行為を確認する。
	3 「海難1890」を視聴する。	・ 動画を視聴させて、過去の二つの事件の実情を知る。
	4 <u>水平線を見ている私の思い</u> を考える。 「海と空」が水平線で一つになっているのを見ながら、私はどんなことを考えていたのだろう。	
	(1) <u>自分の意見をワークシートに書き、各グループで意見交換</u> をする。 (2) <u>各グループの代表者が、それぞれのグループで出した意見を発表</u> する。	・ 海は船(エルトゥールル号)、空は飛行機(トルコ航空)の象徴であることに気付かせる。 ・ 樫野の人々の遭難者救出とトルコ航空の日本人救出について、共通する思いがあることに注目させる。 ・ 貼付カードを使って、意見発表をさせる。

ま と め る	5 授業の感想をワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が違っても、同じ人間として尊重して助け合うことの大切さを考えさせる。 ・ 数名に発表させる。 ・ 自己評価を記入させる。
	6 本時を振り返る。	
10分		

(4) 評価

教材を通じて、様々生き方について考え、意見交換をすることで、世界の中の日本人としての自覚をもち、同じ人間として尊重しあおうとする考えを深めることができたか。

C-18 「海と空 一徳野の人々」 年 組 番 (氏名) _____

1 エルトゥールル号を救助した徳野の人々の「思い」は、どんなものだったのだろう。

2 「海と空」が水平線で一つになっているのを見ながら、私はどんなことを考えていたのだろう。

3 今日の授業で感じたことを書いてみましょう。

4 本時の振り返り

	できなかった	あまりできなかった	できました	よくできた
①自分の考えを友達に伝えることができましたか。	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか。	1	2	3	4
③自分の考えを深めることができましたか。	1	2	3	4

第2学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 「生きる」を考える (D-19 生命の尊さ)
- 2 教 材 「この子のために」(モラルジレンマ資料と授業展開 中学校編: 明治図書)
- 3 本時の構想

(1) 本時のねらい

命の重さについての葛藤を通して、主体的に考え、仲間と意見を共有し話し合うことで、自分の考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体での討議をする。
- ・ グループでの話し合いをする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 10 分	1 主題を知る。 2 教材を読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 命の重さについて考える時間であると確認する。 ・ 貼付カードで要点を確認する。
高 め る 30 分	<p>3 <u>ジョーンズさんの行為について考え、学級全体で討議する。</u></p> <p>○ あなたは、ジョーンズさんの行為をどう思いますか。</p> <p>4 問題点を確認する。</p> <p>5 <u>グループで話し合い、内容を発表する。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付し、自分の考えを記入させる。 ・ 書き終わった生徒には黒板に名札カードを貼付するよう声をかける。 ・ 全員が名札カードを貼付したら理由を聞きながら討議させる。 ・ 教材の状況は、命の重さについての葛藤であることを確認する。 ・ 4～5人のグループ隊形をつくるよう指示する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>日々の暮らしの中で、あなたが大切にしたいことは何だろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ よいと思った意見はメモ欄に記入するよう指示する。
見 つ め る 10 分	<p>6 日々の暮らしの中で大切にしたいことは何か考えワークシートにまとめ、発表する。</p> <p>7 本時の振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 隊形を元に戻すよう指示する。 ・ 本時の内容を振り返らせてから、ワークシートに記入させる。 ・ 書き終わった数名に発表させる。 ・ 全員が書き終わったらワークシートを回収する。

(4) 評 価

命の重さについての葛藤を通して、主体的に考え、仲間と意見を共有し話し合うことで、自分の考えを深めることができたか。

『この子のために』

組 番 名前

1. あなたは、ジョーンズさんの行為をどう思う？

許せる _____ | _____ 許せない

理由

2. 日々の暮らしの中で、あなたが大切にしたいことは何だろう。

グループメモ

3. 日々の暮らしの中で、あなたが大切にしたいことは何か考えよう。

自分の考えをまとめてみよう。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第2学年 道徳学習指導案

指導者

1 主 題 命を大切に、精いっぱい生きよう (D-22 よりよく生きる喜び)

2 教 材 「父の決意」(明るい人生 2年:愛知県教育振興会)

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

父の決意について考えることを通して、かけがえのない生命を大切に、精いっぱい生きようとする気持ちを高めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体での討議や2人ペアでの活動をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 7 分	1 教材の前半部分を読み、内容を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脳梗塞で倒れた父の右半身が全く動かず、鼻から栄養チューブを入れられた状態である場面まで範読する。 ・ 貼付カードを使って要点を確認する。
高 め 合 う 35 分	<p>2 <u>自分が父の立場なら、これからどうするかを学級で討議する。</u></p> <p>○ あなたが父なら、これからどうしますか。それは、どうしてですか。</p> <p>3 教材の続きを読み、内容を理解する。</p> <p>4 <u>父が決意した理由を考える。</u></p> <p>○ 父が生きようと決意した理由を考えましょう。</p> <p>5 教材を最後まで読み、内容を理解する。</p> <p>6 <u>自分が精いっぱい生きるためには、どんな言葉を自分自身にかけられるかを考える。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたが精いっぱい生きるためには、どんな言葉を自分に言いますか。</p> </div> <p>7 <u>2人ペアになり、書いた言葉をお互いに伝え合う。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付し、自分の考えを記入させる。 ・ 書き終わった生徒には黒板に名札カードを貼付するよう声をかける。 ・ 全員が名札カードを貼付したら、生徒に理由を聞きながら討議させる。 ・ タオルを使って自分の首を絞めている父に母が話しかける場面まで範読する。 ・ 母の言葉やサッカー選手の姿などから他人との関わりや生きようとする力を感じさせる。 ・ 書けない生徒には、がんばっていることやこれからの将来などについて書かせる。
見 つ め る 8 分	8 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の感想と振り返りをさせる。 ・ 書き終わった生徒数名に発表させる。 ・ 個人評価を記入させる。 ・ 全員が書き終わったら、ワークシートを回収する。

(4) 評 価

父の決意について考えたことを通して、かけがえのない生命を大切に、精いっぱい生きようとする気持ちを高めることができたか。

2年 組 番 ()

1 あなたが父なら、これからどうしますか。それはどうしてですか。
生きる ●—————●—————●—————● 生きられない

2 父が生きようと決意した理由について考えましょう。

3 あなたが精いっぱい生きるためには、どんな言葉を自分に言いますか。

4 授業の感想

5 振り返り

できなかった あまりできなかった まあできた よくできた

①自分の考えを友だちに伝えることができましたか。	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか。	1	2	3	4
③自分の考えを深めることができましたか。	1	2	3	4

1 主 題 よりよく生きるとは (D-22 よりよく生きる喜び)

2 教 材 「塩狩峠」(明るい人生 3年:愛知県教育振興会)

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

信夫の生き方について話し合うことを通して、人としてよりよく生きることの気高さや尊さについて、自分の考えを深めることができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 学級全体で討議する。
- ・ 個人の考えをワークシートに書いてから、班で意見交換をし、その後、個人の考えの振り返りを行う。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 15分	1 2つの鉄道事故に関する新聞記事を知る。 2 教材を読み、内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「2001年1月東京山手線新大久保駅の男性3名死亡事故」と「2016年6月愛知名鉄犬山線下小田井駅の老人救助」の結果が対照的な記事を紹介する。 ・ 教材を配付する。 ・ 登場人物の絵を貼付して、要点を確認する。
高めあう 30分	<p>3 <u>乗客を救うために犠牲になった信夫が最後に考えたことはどんなことだったのか、学級全体で討議する。</u></p> <p>4 <u>人のために尽くす生き方について、学級全体で討議する。</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あなたは、人間として「人のために尽くす生き方」をどう思いますか。</p> </div> <p>5 <u>班で話し合う。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付し、自分の考えを記入させる。 ・ 机間指導をしながら、○つけ法を活用して、書き終わった生徒の意見を確認し、発表させる。 ・ 黒板の横軸「理想」「理想ではない」縦軸「できる」「できない」の自分の心情に近い位置に名札カードを貼付させる。 ・ 全員が名札カードを貼付したら、生徒に理由を聞きながら討議させる。 ・ 4～5人の班をつくるように指示する。 ・ 机間指導をしながら、話し合いが深まるように、補助発問をする。
見つける 5分	6 自分の考えをワークシートにまとめる。 7 本時の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席を元の隊形に戻すよう指示する。 ・ 班の話し合いの内容にとらわれず、自分の考えをまとめるように伝える。 ・ 全員が自己評価を書き終わったら、ワークシートを回収する。

(4) 評 価

信夫の生き方について話し合うことを通して、人としてよりよく生きることの気高さや尊さについて、自分の考えを深めることができたか。

3年 組 番 氏名

乗客を救うために犠牲になった信夫が最後に考えたことは、どんなことだったでしょうか。

.....

.....

.....

あなたは、人間として「人のために尽くす生き方」をどう思いますか。



.....

.....

.....

グループをつくり、あなたの考えとその理由をみんなに話しましょう。聞き手の人はじっくり聞きましょう。そして、全員が意見を述べ終えたら、お互い質問や意見を投げかけてみましょう。

【聞き取りメモ】 *印象に残った考えをメモしましょう。

あなたにとって、よりよく生きるとは？

<本時のふり振り返り>

(1) 自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
	1	2	3	4
(2) 友だちの意見や考えを理解できましたか？	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
	1	2	3	4
(3) 自分の考えを深めることはできましたか？	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
	1	2	3	4

第3学年 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 あなたならどうしますか？（C-18 国際理解、国際貢献）
 2 教 材 「六千人の命のビザ」（明るい人生 3年：愛知県教育振興会）
 3 本時の構想

(1) 本時のねらい

杉原氏の決断を通して、人間愛の精神を深く自覚し、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を高める。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 個人→班での意見交換→全体での意見交換を行う。

(3) 本時の展開（ねらいにせまる学習活動）

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5分	1 資料を見て当時の状況を整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時の国際情勢や歴史的事実を補足する。 ・ 状況の把握を精緻に行い、葛藤の状況を把握しやすくする。
深 め る 38分	2 教材を読み、目の前の群衆と日本政府の命令、家族の状況などを整理する。 3 杉原千畝はどのような判断をすべきかを考える。 (1) <u>個人で考える。</u> (2) <u>班で意見交換をする。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の要旨や、それに関わる時代背景を写真資料を用いて補足する。 ・ 第1次判断なので直感的なものでよい。 ・ 自分の考えが書けない生徒に対して、時代背景をくみとるように助言する。 ・ 小グループをつくり、お互いの意見を発表させる。 ・ 納得をしたり印象に残ったりした意見をメモさせる。
	あなたが、千畝の立場なら「ビザを発給する」「ビザを発給しない」どちらですか。	
	4 最終判断を考える。 5 <u>学級全体で考えを共有する。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初の判断より、後の判断理由が深まっていることが望ましい。 ・ 意見交流の良さに気付かせる。
見 つ め 直 す 7分	6 本時のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 杉原千畝の決意と行動から、学ぶことを中心に書かせる。 ・ 私たちが世界平和のために貢献できることはどんなことがあるかにもふれる。 ・ 自己評価を記入させる。

(4) 評 価

杉原氏の決断を通して、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に務めようとする心情を高めることができたか。

教材名 六千人の命のビザ

3年 組・番号 氏名 _____

<主発問>

あなたが、千畝の立場なら「ビザを発給する」「ビザを発給しない」どちらですか。また、それはどうしてですか。

1次判断	ビザを発給する	・	ビザを発給しない

班活動メモ・感想

最終判断	ビザを発給する	・	ビザを発給しない

*外務省の命令に背いてまでビザを発給した杉原さんの生き方を通して、私たちが世界平和のために貢献できることはどんなことがあるだろうか。今日の授業の感想も含めて書いてください。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

第3学年 道徳学習指導案

指導者

1 主 題 わたしたちと貧困のつながり (C-18 国際理解、国際貢献)

2 教 材 「教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻」

: 独立行政法人国際協力機構 中部国際センター

3 本時の構想

(1) 本時のねらい

世界の貧困と自分たちの生活は無関係ではないことに気付き、主体的に「貧困」という課題に向き合う気持ちと態度を養うことができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ カードを使ってのアクティビティを行う。

- ・ 各グループでの話し合い活動をする。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つかむ 8分	1 「インドの親子」の写真を見て意見交換し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配付し、相談せずに自分の考えを記入する。 ・ お金をあげる、あげないの両方の考えを発表する。
学び合う 27分	<p>2 <u>貧困の原因について、カードを使って因果関係を考える。</u></p> <p>3 <u>貧困の悪循環をグループで文章に表現してみる。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近くの席で4～5人のグループをつくる。 ・ グループで教材の8枚の貧困カードを確認する。 ・ 悪循環の例を示す。 ・ グループごとに、カードがどのような順番でつながっていくのか因果関係を考えながら、カードを模造紙に貼る。 ・ グループの代表者が、模造紙を見せながらできあがった文章を発表する。 ・ 貧困の悪循環について確認する。 ・ 隊形を元に戻すよう指示する。
まとめる 15分	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>自分ひとりの力でこの悪循環から抜け出せるか考える</p> </div> <p>3 自分の考えをワークシートにまとめ、発表する。</p> <p>4 国際機関や NGO などが貧困を減らすための活動をしていることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き終わった生徒数名が発表する。 ・ 全員が書き終わったら、ワークシートを回収する。 ・ JICA や青年海外協力隊の活動について伝える。

(4) 評 価

世界の貧困と自分たちの生活は無関係ではないことに気付き、主体的に「貧困」という課題に向き合う気持ちと態度を養うことができたか。

～ぐるぐるまわる貧困の輪～

3年()組()番 名前 []

問1 あなたなら、この親子にお金をあげますか？ あげませんか？

あげる あげない

【理由】

問2 貧困の輪を文章で表現してみよう。

問3 自分ひとりの力でこの悪循環から抜け出せるか考えをまとめてみよう。

<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか？	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか？	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか？	1	2	3	4

I組 道徳学習指導案

指導者

- 1 主 題 人間の弱さ醜さの克服 (D-22 よりよく生きる喜び)
- 2 教 材 「二度と通らない旅人」(小川未明童話全集：講談社)
- 3 本時の構想

(1) 本時のねらい

父親の旅人に対しての言動について、自分の考えをもちつつ、友達の考えを聞くことができる。

(2) ねらいにせまる学習活動

- ・ 互いの考えを発表し、聞き合う。

(3) 本時の展開 (ねらいにせまる学習活動)

過程	学 習 活 動	指導上の留意点
つ か む 5分	1 教材への関心をもつ。	・ 紙芝居を見せながら、冒頭部を読み、情景を想像させる。
高 め 合 う 39分	2 父親や兄のとった行動について考える。	・ ワークシートを配付し、自分の考えを記入させる。
	あなたなら旅人を泊めてあげますか。	
見 つ め る 6分	3 <u>意見発表をする。</u> 〈予想される意見〉 【泊める】道に迷った旅人を追い返すなんて薄情だ どこの誰だかわからないから 【泊め 娘が苦しんでいて困っているから ない】自分たちのことで精一杯だから 【その他】水だけはあげても良かったのでは 薬をもらったことには感謝する	・ 泊めるか、泊めないかを記入させる。 ・ 父の気持ちに共感させることで、事情はあるにせよ、人間のもつ自己中心的な醜さに気付かせ、ありのままの人間性を理解させる。
	4 教材の後半を読み、内容を理解する。	・ 父親が深く反省し、悔やんでいることを理解させる。
	5 父親の取った行動についてどう思うか。	・ 紙芝居を見せながら想像させる。
	6 <u>父親や家族は、娘が一人前になった日、嵐の夜のできごとを思い出し、どんなことを考えていたかを発表する。</u> 〈予想される意見〉 ・ 自分のことしか考えなかったり、親切を裏切ったりして恥ずかしい。 ・ どんなに冷たくされても人に温かくできる人もいるもんだ。	・ 教材の終末部分から読み取らせる。
見 つ め る 6分	7 困っている人を手伝えることができるか、ワークシートにまとめ、発表する。	・ 今の自分を振り返り、これからどういう行動をとるか考えさせる。
	8 本時の振り返りを記入する。	・ 自己評価を記入させる。

(4) 評 価

父親の旅人に対しての言動について、自分の考えをもちつつ、友達の考えを聞くことができたか。

道徳ワークシート 「二度と通らない旅人」

氏名 _____

Q1 あなたなら旅人を泊めてあげますか。 ※ 意見に○を付けなさい

泊める 泊めない

水だけあげる 話だけ聞く

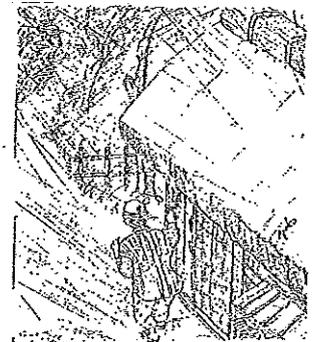
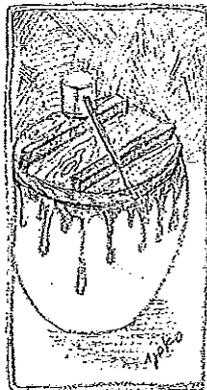
その他

Q2 お父さんのとった行動についてどう思いますか。○を付けなさい。

ひどい かわいそう 水くらいあげたらいい
家に入れたら危険 その他

なぜですか。

Q3 困っている人を手伝うことができますか。また、それはどんなことですか。



<本時の振り返り>

	できなかった	あまりできなかった	まあできた	よくできた
①自分の考えを友だちに伝えることはできましたか?	1	2	3	4
②友だちの意見や考えを理解できましたか?	1	2	3	4
③自分の考えを深めることはできましたか?	1	2	3	4

【資料】 学校行事と各教科を関連させた年間指導計画

		仲間と学び合い、よりよく生きる生徒の育成											
		現職教育目標											
		学年											
		1年生											
教科・領域	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
担任授業	A-2 節度、節制 「ばなしの女王様 上！」	C-16 郷土の伝統 と文化の尊重、郷土 を愛する態度 「名石屋徳義の父」 C-18 国際理解、 国際貢献 「わが愛はヒマラヤの ふもとに」	C-13 勤労 「ぼくの仕事は煙所 掃除」 D-20 自然愛護 「キャンパスの思い出」 「愛する態度」 「愛する態度」 「愛する態度」	C-14 家族愛、家 庭生活の充実 「美しい母の顔」 C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 「愛する態度」 「愛する態度」	A-1 自主、自律、 自由と責任 「人であふれた駐車 場」 C-15 よりよい学 校生活、集団生活の 充実 「ハベキキング」	B-6 思いやり、感 謝 「二冊ずつのノート」 D-22 よりよく生き る喜び 「兄からのメッセ ジ」	B-8 友情、信頼 「裏庭のきこり」 B-9 相互理解、寛 容 「深音ちゃんのこと」 C-13 勤労 「重油回収作業」	A-2 節度、節制 「愛は生命なり」 C-13 勤労 「重油回収作業」	A-4 希望と夢、 克己と強い意思 「三人の秘密」 C-10 道法精神、 公徳心 「自転車放置禁止」	D-19 生命の尊さ 「ペットの命は誰のも の？」 D-21 感動、畏敬 の念 「木のいのち 木のこ ころ」	A-5 真摯の研究、 創造 「陶管の恩人」 C-14 家族愛、家 庭生活の充実 「わたしが生まれ愛 わった日」		
道徳	A-4 希望と夢、克己と強い意思「夢をあきらめない」 B-6 思いやり、感謝「カーテンの向こう」 B-8 友情、信頼「ライバル」 C-12 社会参画、公共の精神「無人スタンド」 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実「わたしは言った」 D-19 生命の尊さ「いのちの判断」						A-1 自主、自律、自由と責任②「ネット習紙」 A-3 向上心、個性の伸長「一本の道草」 B-9 相互理解、寛容②「言葉の向こうに」 C-11 公正、公平、社会正義「向面の人」 C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度②「わが街」 D-20 自然愛護②「自然を再生する人の輪」						
担任以外の ローテーション 授業	B-7 礼儀「やっぱり敬語が必要なわけ」 C-10 道法精神、公徳心「校長の決断」 D-22 よりよく生きる喜び「あるレジ打ちの女性」												
学校行事	入学式	オリエンテーション 合宿	部活動本入部	中総体	学校祭	校内長距離走大会	福祉実践教室	人權週間		3年生を送る会	卒業式		
国語		B-8 友情、信頼 花曇りの向こう		D-22 よりよく生きる 喜び 空を見上げて D-19 生命の尊さ 光る地草履	D-19 生命の尊さ 大人になれなかった弟 たちに... B-8 友情、信頼 星の花が降るころに	D-20 自然愛護 シカの「落ち穂拾い」	D-20 自然愛護 名の魚は生きていた 桜守代	C-16 郷土の伝統と 文化の尊重、郷土を 愛する態度	D-19 生命の尊さ 少年の日の思い出				
社会		C-18 国際理解、国 際貢献 世界各地の人々のく らし					D-20 自然愛護 開発の進展と環境問 題(南アメリカ)		D-21 感動、畏敬の 念 大地の変化	D-21 感動、畏敬の 念 動き続ける大地			
理科			D-20 自然愛護 植物の分類										
音楽	C-15 よりよい学校 生活、集団生活の充 実 歌詞の内容や曲意を とらえて			C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛 する態度 歌詞と旋律との関わりを聴いて C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実 合唱を味わって			C-17 我が国の伝統 と文化の尊重、国を 愛する態度 郷土の民謡や芸能 の魅力			C-17 我が国の伝統 と文化の尊重、国を 愛する態度 郷土の民謡や芸能 の魅力			
美術				C-12 社会参画、公 共の精神 ポスター制作		D-20 自然愛護 自然物の再構成							
保健体育	C-15 よりよい学校生 活、集団生活の充実 集団行動		C-17 我が国の伝統と 文化の尊重、我が国を 愛する態度 相撲				C-16 郷土の伝統と文 化の尊重、郷土を愛す る態度 なごなた						
技術・家庭									C-10 道法精神、公 徳心 インターネットと情報通 信ネットワークの活 用	C-16 郷土の伝統と 文化の尊重、郷土を 愛する態度 調理と食文化			

【資料】 学校行事と各教科を関連させた年間指導計画

現職教育目標		仲間と学び合い、よりよく生きる生徒の育成											
弥富市立弥富中学校 2年生		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
教科・福蔵		A-2 節度、節制 「ランベット」 C-14 家族愛、 家庭生活の充実 「母とわたしの台 所」	C-11 公正、公 平、社会正義 「人間の弱さと強 さ」 D-20 自然愛護 「よみがえれたボウ ドリ」	A-3 向上心、個 性の伸長 「ハイキング」	B-6 思いやり、 感謝② 「十三歳のわたし へ」 C-13 勤労 「愛されるテンさ ん」	A-1 自主、自 律、自由と責任 「一人じゃないよ」 C-18 国際理 解、国際貢献② 「あふれる愛」	A-5 真理の探 究、創造 「星空の狩人」 D-21 感動、 尊敬の念 「あたたかな炎」	C-14 家族愛 「母の反響」	A-4 希望と勇 気、克己と強い意 志 C-13 勤労② 「ほくにごできること」	C-16 郷土の伝 統と文化の尊重 郷土を愛する態度 「七宝の里」	A-2 節度、節制 ② 「言葉の向こうに」	A-5 真理の探 究、創造② 「夢をもちたいとい う願い」 D-20 自然愛護 ② 「不思議な光景」	
道徳		B-6 思いやり、感謝「カーテンの向こう」 B-8 友情、信頼「部屋まきの声」 B-9 相互理解、寛容「たまに生まれただけ」 B-9 相互理解、寛容②「エースの出場辞退」 C-11 公正、公平、社会正義②「友達がもし…」 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実「親切のけきなかつた日」						A-1 自主、自律、責任「置き逃げ」 B-7 礼儀「置き逃げ」 C-10 道徳精神、公徳心「試合からの帰り道」 C-12 社会参画、公共の精神「善いときだからこそ」 C-15 よりよい学校生活、集団生活の充実②「明かりの下の燭台」 C-17 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する心「ガランナード」					
担任以外の ローテーション 授業		C-16 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度②「ほくらの村の未来」 C-18 国際理解、国際貢献「海と空一程野の人々」 D-19 生命の尊さ「この子のために」 D-22 よりよく生きる喜び「父の決意」											
学校行事	職場体験学習 (事前学習)				中総体 C-17 我が国の 伝統と文化の尊 重、国を愛する心 新しい短歌のため に C-18 国際理解、 国際貢献 世界で一番の贈り 物	学校祭 C-14 家族愛、家 庭生活の充実 益土産、字のない 葉書	校内長距離走大会 D-20 自然愛護 モアイは語る―地 球の未来 C-11 公正、公 平、社会正義 歴史・新しい政治 の方針を調べよう D-19 生命の尊さ 動物の分類 C-12 社会参画、 公共の精神 Universal Design D-19 生命の尊さ 一版多色刷り版画	広島研修	人権週間		3年生を送る会 A-5 真理の探 究、創造 走れメロス C-16 郷土の伝 統と文化の尊重 郷土を愛する態度 地理・身近な地域 を調べてみよう D-20 自然愛護 天気		卒業式 C-10 道徳精神、 公徳心 歴史・民主主義と 民族の独立につい てまとめよう D-20 自然愛護 The Movie Dolphin Tale
国語													
社会													
理科		D-20 自然愛護 地理・環境問題に ついて調べよう											
英語		C-13 勤労 Career Day											
美術													
保健体育		C-15 よりよい学 校生活、集団生活 の充実 集団行動											

【資料】 学校行事と各教科を関連させた年間指導計画

新南市立弥生中学校 3年生		仲間と学び合い、よりよく生きる生徒の育成										
現職教育目標		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教科・領域		A-2 節度、節制 「期の上」 C-15 よりよい学 校生活、集団生活の 充実 「母校の創立記念に 寄せて」 A-5 真理の探究、創造 「道はいづもひらかれて いる」 B-6 思いやり、感謝 「人との接し方」 B-8 友情、信頼 「義経での出来事」 B-9 相互理解、寛容 「Re-born」 C-10 遵法精神、公徳心 「ワカサギ」 C-15 よりよい学校生活、 集団生活の向上 C-18 国際理解、国際貢献 「六千人の命のピザ」 C-18 国際理解、国際貢 献②「教室から地球へ」 D-22 よりよく生きる 喜び「塩狩味」	B-9 相互理解、寛 容 「山寺のピワの表」 C-14 家族愛、家 庭生活の充実 「母の涙」	B-7 礼儀 「茶わんをぐるぐる回 すわけ」 C-11 公正、公 平、社会正義 「卒業文集募集の2 行」	A-3 向上心、個性 の伸長 「自分という作品」 D-21 感動、畏敬 の念 「サルと人間」	B-7 礼儀 「あいさつ」 C-14 家族愛、家 庭生活の充実 「一冊のノート」	A-2 節度、節制 「位置について」 C-16 郷土の伝統 と文化の尊重、郷土 を愛する態度 「ゆづり登れかたつ むり」	C-10 遵法精神、 公徳心 「二通の手紙」 C-13 勤労 「加山さんの願い」	B-8 友情、信頼 「雨の日の届け物」 C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 「日本とわたし」	A-1 自主、自律、 自由と責任 「忘れていた手紙」 A-5 真理の探究、 創造 「ハイオリンをさがし て」	D-22 よりよく生き る喜び 「足袋の季節」	C-11 公正、公 平、社会正義 「ぼくの夢」
道徳		A-4 希望と勇氣、克己と強い意志（今、編んでいる） B-6 思いやり、感謝②「みんなまで読んだ」 C-12 社会参画、公共の精神「油が漏れの釣り人」 D-19 生命の尊さ「命の重さ」 D-20 自然愛護「狼跡七千年の形」										
担任以外の ローテーション 授業		C-18 国際理解、国際貢献「六千人の命のピザ」 C-18 国際理解、国際貢 献②「教室から地球へ」 D-22 よりよく生きる 喜び「塩狩味」										
学校行事		入学式 始業式	修学旅行		中総体	学校祭	校内長距離走大会				3年生を送る会	卒業式
国語		B-9相互理解、寛 容 「握手」		A-5 真実の探求、 創造 月の起源を探る	D-19 生命の尊さ 高須船	A-4 希望と勇氣、克 己と強い意志 故郷	C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 白今和歌集 仮名書 巻符つと 尊重	D-20 自然愛護 作られた「物語」を組 えて				卒業式 わたしを忘れないで A-9 向上心、個性 の伸長
社会				C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 染付け創造する日 本の伝統文化 C-10 遵法精神、公 徳心 社会における私たち ときまりの意義	C-13 勤労 むねらしい生活を営 む権利 C-11 公正、公平、 社会正義 等しく生きる権利							
理科				D-19 生命の尊さ 遺伝の規則性と遺伝 子				D-21 感動、畏敬の 念 宇宙の広がり				
英語		C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 Pop Culture Then and Now	C-18 国際理解、国 際貢献 Fair Trade Event			D-19 生命の尊さ A Mother's Lullaby			A-4 希望と勇氣、克 己と強い意志 Surviving for a Better World			
音楽		C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、国 を愛する態度 歌詞の内容や曲想 の変化を味わって			C-15 よりよい学校生活、 集団生活の向上 合唱を味わって				C-17 郷土の伝統と 文化の尊重、国を愛 する態度 総合芸術に親しもう			C-15 集団生活の充実 卒業の思い出を歌にのせて
美術					C-12 社会参画、公 共の精神 ポスター制作							
保健		C-15 よりよい学校 生活、集団生活の向 上 集団行動		C-17 我が国の伝 統と文化の尊重、我 が国を愛する態度 相撲								
技術・家庭				C-12 社会参画、公 共の精神 C-14 家族愛、家庭 生活の充実 家庭や家族の機能 や地域とのかわわり を考えよう			C-12 社会参画、公 共の精神 情報技術の評価、活 用	C-14 家族愛、家庭 生活の充実 家族関係をよりよくし ていこう	C-14 家族愛、家庭 生活の充実 幼いころを振り返ろう			

【資料】主発問記録シート

<第1回 主発問>	夢を叶えるために必要なことって何だろう
【授業者のメモ】	あなたにとって、という文言が抜けてしまっていたため、自分の事としてフィードバックすることが出来ず、一般的な答えが返ってきてしまった。
<第2回 主発問>	あなたにとって夢を叶えるために必要なことって何だろう
【授業者のメモ】	自分の夢と向き合いながらその夢を叶えるために必要なことを考えることが出来たが、答えは似通ったもののおおく、深く迫れたかどうかは疑問。
<第3回 主発問>	あなたが夢を叶えるためにどうすることが必要になってくるかな？
【授業者のメモ】	「何だろう」という言葉を「どうする」という言葉に代えたことで、答えに具体性が出てきたように考えられる。
<第4回 主発問>	
【授業者のメモ】	
<第5回 主発問>	
【授業者のメモ】	
<第6回 主発問>	
【授業者のメモ】	

【資料】主要発問記録シート

<p><第1回 主要発問></p> <p>村長は、この時どうするべきだと思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 登場人物の行動の掘り下げで終わってしまう。道徳的価値にせまれたか疑問。・ 2回目に同じ発問をして変化しても、それはこの場面への対応の深まりや変容の気がする。
<p><第2回 主要発問></p> <p>ルールを守ることと思いやること、どうすればいいと思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ねらいに沿った話し合いにはなった。・ 発問を投げかけた瞬間に、一瞬子どもたちに戸惑いがある。発問の質を上げたいが、いいアイデアが浮かばず困った。
<p><第3回 主要発問></p> <p>ルールを守ることと人を思いやること、どうすればよりよく暮らせると思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 多様な方法解を考える生徒が多くなってしまった。・ 価値にせまる話し合いとしては悪くない。
<p><第4回 主要発問></p> <p>みんながよりよく暮らすには、どうしたらいいと思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ねらいにせまった話し合いが、どのグループもできるようになった。・ 資料内の状況だけにならないよう声かけが必要。
<p><第5回 主要発問></p> <p>みんながよりよく暮らすには、どうしたらいいと思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今回も話し合いは、価値に深くせまれていた。・ 規則の中にも思いやりが必要、思いやりに流されて規則を守らないのは良くないという気付きがある。そこからどこに落としどころを見つけるか、各個人が感想に書けていた。
<p><第6回 主要発問></p> <p>みんながよりよく暮らすには、どうしたらいいと思いますか？</p>
<p>【授業者のメモ】</p>

今日の協議会

授業内容	1年 A組 道徳 (C-12 社会参画、公共の精神) 題材名「無人スタンド」
授業者	

1 協議会日時と場所

日時：平成28年6月17日(金) 18時30分～
場所：ふれあい教室

2 本日の協議題

今日の主発問 「わたしが少年に会おうと決意したのは、どんな思いからでしょうか。」
場作りの工夫について

- ・授業隊形の工夫
- ・グループでの意見交換から全体への意見交換

- | | |
|---|-----------------------------|
| A | 主発問は、子どもたちの活発な意見交換に効果的だったか。 |
| B | 話し合いの場は、活発な意見交換の手立てとなったか。 |

3 参観者へ準備のお願い

- ① 授業を見て、協議題についてよかった点は青、改善点などは赤の付箋にメモしてください。
協議題以外に気付かれた点については黄色に記入をお願いします。
- ② 「学び合いシート」を記入して、協議会終了時に授業者に渡してください。

4 協議会の係について

- ・記録：授業者
- ・WSグループ作成：研究部
- ・用具準備：授業者&研究部
- ・発表者：協議会の各グループから1名(研究部より指名します)

5 流れ

15分	① グループ協議 書き込んだ付箋を、協議題別に貼って意見交換。
5分	② 発表 協議題別に内容をまとめ、各代表者が ___分以内に発表する。
3分	③ 授業者の学び
5分	④ 協議会のあり方について(全員で振り返り)

(0617) 授業研究記録①

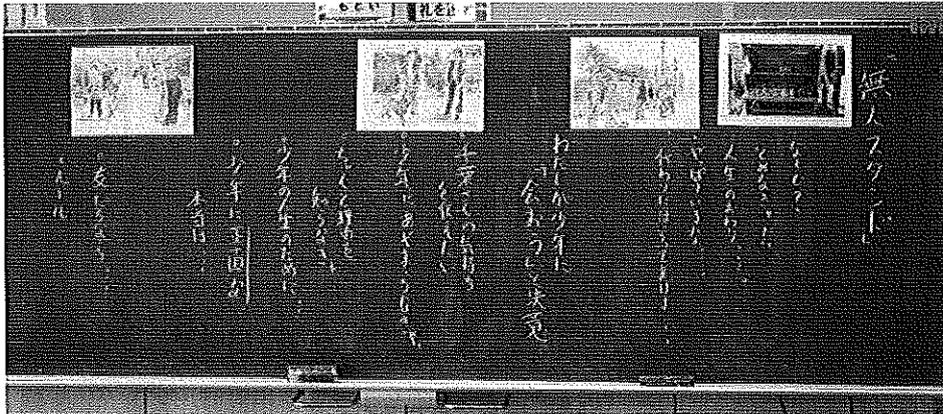
内容項目 C-12 社会参画、公共の精神
教材名 「無人スタンド」

主発問 『「わたし」が少年に会おうと決意したのは、どんな思いからでしょうか。』

場作りの工夫

- 授業隊形（コの字）
- 読み物資料を提示しない、小出しの範読による授業
- 復唱法による生徒の意見の引き出しと拡散

板書の記録



協議会を終えて

- 物語の中でキーワードとなるような重要な台詞を提示し視覚化することで、場面の流れをより、子どもたち一人ひとりがとらえやすくなるように支援を試みる。
- 主発問を設定する上で、別の登場人物を中心とした授業展開で授業を行ってみることで、価値によりせまるものにできるよう試みる。
- 千葉さんの考えについて着目することで、主題により迫ることができるように、試みる。

今回の検討会で、授業の展開の新たな切り口を見いだすことができました。次回のローテーション授業に向けて、よりよいものになるよう、研鑽していきたいと思っております。大変勉強になりました。ご指導ありがとうございました。

今日の協議会

授業内容	2年 A組 道徳 (D-22よりよく生きる喜び)
授業者	題材名「エースの出場辞退」

1 協議会日時と場所

日時：平成28年6月21日(火) 18時30分～
場所：職員室のテーブル

2 本日の協議題

今日の主発問 「エースの決断は良かったですか？」

場作りの工夫について

- ・ 授業隊形 (対面型)
- ・ 少人数グループによる学び合い

- | | |
|---|-------------------------------|
| A | 導入は生徒を授業に引きつける内容になっていたか？ |
| B | 授業者は、話し合いが上手に進むような手立てを行っていたか？ |

3 参観者へ準備のお願い

- ① 授業を見て、協議題についてよかった点は青、改善点などは赤の付箋にメモしてください。協議題以外に気付かれた点については黄色に記入をお願いします。
- ② 「学び合いシート」を記入して、協議会終了時に授業者に渡してください。

4 協議会の係について

- ・ 記録：授業者
- ・ WSグループ作成：研究部
- ・ 用具準備：授業者 & 研究部
- ・ 発表者：協議会の各グループから1名 (研究部より指名します)

5 流れ

15分	① グループ協議 書き込んだ付箋を、協議題別に貼って意見交換。
5分	② 発表 協議題別に内容をまとめ、各代表者が ___分以内に発表する。
3分	③ 授業者の学び
5分	④ 協議会のあり方について(全員で振り返り)

今日の協議会

授業内容	2年C組 道徳 (C-⑪ 公正、公平、社会正義) 題材名「友だちがもし・・・」
授業者	

1 協議会日時と場所

日時：平成28年 7月 6日 (木) 18時30分～

場所：ふれあい教室

2 本日の協議題

今日の主発問 「実力テストのあと、僕はどうするでしょう。」

場作りの工夫について

- ・個人の考えを書く→意見交換(全体)→個人の考えの振り返り

A 主発問は、多様な意見交換をするのに効果的だったか。

B 話し合いを通じて、自分の考えを深めることができたか。

3 参観者へ準備のお願い

- ① 授業を見て、協議題についてよかった点は青、改善点などは赤の付箋にメモしてください。
協議題以外に気付かれた点については黄色に記入をお願いします。
- ② 「学び合いシート」を記入して、協議会終了時に授業者に渡してください。

4 協議会の係について

- ・記録：授業者
- ・WSグループ作成：研究部
- ・用具準備：授業者&研究部
- ・発表者：協議会の各グループから1名(研究部より指名します)

5 流れ

15分	① グループ協議 書き込んだ付箋を、協議題別に貼って意見交換。
5分	② 発表 協議題別に内容をまとめ、各代表者が___分以内に発表する。
3分	③ 授業者の学び
5分	④ 協議会のあり方について(全員で振り返り)

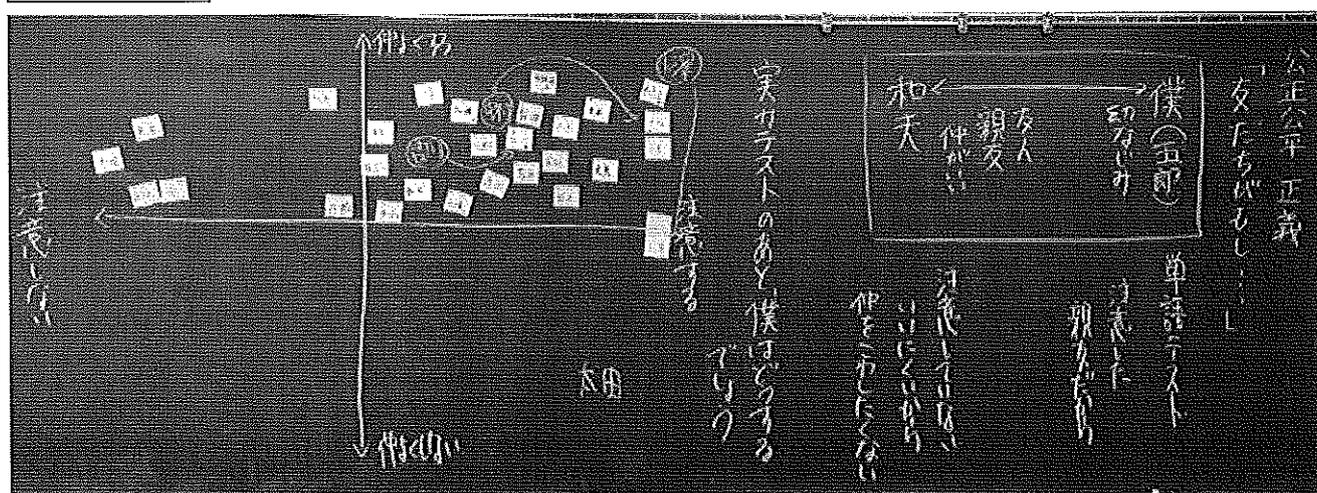
内容項目 C-11 公正、公平、社会正義
 教材名 「友だちがもし・・・」

主発問 『実力テストのあと、僕はどうするでしょう。』

場作りの工夫

- ・ 授業隊形（通常）
- ・ 全体での意見交換による学び合い

板書の記録



協議会を終えて

- 導入について
 前時では、主題が公正公平であることにこだわり過ぎて時間をかけてしまったが、今回は軽くふれて資料に入ったのでスムーズに和気藹々とした雰囲気の中で授業に入れた。
- 場作りについて
 前時はグループでの話し合いを行ったが、意見に偏りがみられ相互比較ができず深まりもなかった。今回全体での意見交換の形をとった。しかし、教員が指名し生徒自らが意見を発表したり、聞いた意見をもとに自分の意見を発表したりする形ができなかった。次回は全体の場で考えた内容をもう一度少人数で考えるなど、工夫を加えたいと思った。
- その他
 日頃の習慣で、生徒の意見をオウム返ししたり、生徒を指名したりしてしまうため、当てられたときだけ考えていて、突然指名するとその場しのぎの返事をする生徒が多かった。道徳の授業に限らずどの教科においてもしっかりと仲間のお話を聞けるような授業の雰囲気作りが必要だと感じた。

【資料】個人評価

名前		担当学級	2年 B組
項目内容記号	B-⑨	項目内容	相互理解、寛容
主発問	男にはかなわないと思いますか。		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	男女とも立場は一緒だけど、やっぱり男の方が力が強いから、どちらかというとなかなわないと思う。	女の子だけが大変ではなく、男の子もけっこう大変。泣いたら、弱いとバカにされる。たまたま男に生まれただけでも大変なんだと思った。	
【評価】	内面的な部分と身体的な特徴とに分けて、考えることができました。人の意見を聞き、自分の考えを深め、男女ともにがんばって生活していることに気が付きました。		

名前		担当学級	2年 C組
項目内容記号	B-⑩	項目内容	思いやり
主発問	人を思いやる上で、大切なことは何だと思いますか。		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	相手の気持ちをよく考える。 →考えるだけ	まわりのために考え、そのことばを言うこと。 →行動に移す	
【評価】	道徳の授業における話し合い活動を通して、思いやりについての多様な考えに触れることができました。相手の立場に立って考え、思いやりの心をもって、行動しようとする気持ちを高めることができました。		

名前		担当学級	3年 B組
項目内容記号	D-⑫	項目内容	よりよく生きる喜び
主発問	あなたは、これからの人生をどのように生きていきたいですか		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	自分中心ではなく、他人のために生きていくことは難しい。その人生を生きられる人はほんとうに立派な人だと思う。	自分を大切に、他人にも気遣いができる人生を歩みたい。	
【評価】	道徳の授業を通して、自分自身の考えを班員に伝えたり、お互いの考えを聞き合ったりすることで、生きることの気高さに気づき、自分のこととしてとらえ、考えることができました。		

名前		担当学級	3年A組
項目内容記号	B-⑨	項目内容	相互理解、寛容
主発問	佐藤かよさんは知人のある一言で事実を公表すると決心しました。その一言とは？		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	性同一性障害の人は、周りに事実を打ち明けたほうがいい。そういう病気なら周りもそれなりの対応をしてくれると思ったから。早く打ち明けた方が自分の被害が少ないと思ったから。	このプリントでは、打ち明けると書いたが、この立場だったら言えるか分からないが、もしそう明かされたとき優しくできる人になりたい。	
【評価】	道徳の授業において、性同一性障害の方の苦しさについて考えました。仲間と考えを交流する中で、自分の心の中にある矛盾にも気づき、性にかかわらず優しい心をもって人と接したいという気持ちを高めました。		

名前		担当学級	2年A組
項目内容記号	D-⑳	項目内容	よりよく生きる喜び
主発問	今のあなたにとって、「生きる」とはどんなことですか。		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	人生は1回しかないものだから、自分がいいと思う生き方をすればいいと思う。楽しく、自由に自分なりの生き方をするのが「生きる」ことだと思う。	命は自分のものだけれど、自分が死ねば相手も苦しむのだから、自分の命はみんなの命でもあると思う。だから、何があっても一生懸命生きるべきだと思う。頑張っている人がいるなら、自分も頑張っていることだと思う。	
【評価】	授業のはじめ、「生きる」ことが自分一人だけの命として考えていましたが、授業を通して、自分と周りで支える人たちとの関わりに気づき、自分一人の命ではないことに気づくことができました。		

名前		担当学級	1年F組
項目内容記号	D-㉑	項目内容	遵法精神、公德心
主発問	「ルールを守ること」と「人を思いやること」について考えましょう。		
	【共有前の生徒のワークシートの記述】	【共有後の生徒のワークシートの記述】	
	家族のために食べ物を盗んでしまった優しい少女を死刑にするのはとてもかわいそう。 →表面的な感情論	私はどちらかといえば人を思いやることを優先してしまうけど、ルールというものはやっぱり大切なので、ルールの範囲内で人を思いやって行動できる人になりたいと思いました。 →自己理解をした上で遵法精神の深まり	
【評価】	規則の遵守と思いやりについて考える授業では、授業の最初には「かわいそう」という気持ちから規則の遵守については重きを置くことがなかったが、仲間との話し合いを通じてよりよい者会を作るための規則の必要性について理解を深めることができ、自らの思いもたいせつにしつつ規則の遵守に対する考えを深めることができました。		

道徳通信

No. 3
H28. 5. 16

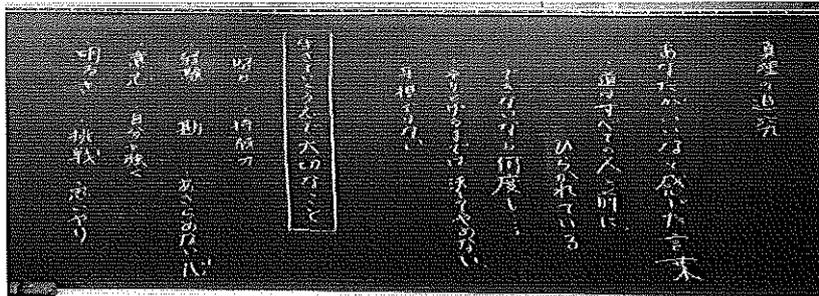
☆ A先生研究授業&B先生初ファシリテーター！

11日(水)5限にA先生の研究授業、さらにその日の放課後にはB先生のファシリテーターによる協議会が行われました。

A先生の授業は「A-⑤真理の追究」について、テーマを掘り下げる「テーマ発問」を主発問にした展開がされ、参観した先生方にとって学びが多い授業となりました。(ちなみに、主発問は「生きていく上で大切なことは？」でした。)

また初ファシリテーターを務めたB先生は、前日からA先生に「今日の協議会」のプリント配付を依頼したり、協議会で使用する台紙を用意していただいたりしていただきました。その甲斐あって、協議会でも授業者・参観者ともに十分に学びを深めることができました。

これから1学期後半にかけてますます研究授業が増えていきますが、みんなで協力し合って極力少ない負担の中で、実り多い研鑽を重ねられたらと思います。



☆ 今週のローテーション授業 () は協議会アリの授業です)

16日(月)3限:2年B組(B先生②) 5限:1年E組(C先生)

17日(火)1限:3年F組(D先生②) 3限:3年A組(E先生②)

☆ その他

5月12日(木)海部地方現職教研 研究推進会より

道徳部会の推進員の先生方に、本校の研究の協議会資料についてF先生が代表としてご指導をいただきました。

- ローテーション授業について
本来担任が行うべきである道徳を、なぜ本来の形を変えてまでも学年の先生でローテーションして授業を行うのか?
- 手立てについて
教師のスキルアップの話が多く、生徒に対しての手立てを前提としてほしい。
- 新指導要領への対応
海部地方現職教研で統一して新指導要領に合わせていきたい。(教科化後に対応という意味)
例:×題材→○教材 ×道徳の時間→○道徳の授業 ※つまり本校サブテーマも変更です
「評価」の必要性(指導案に盛り込む)など
- 「検証」の手立てを盛り込む
研究成果を検証する部分は盛り込んでほしい。

主に以上の4点についてご指導をいただきました。早急に校内推進会等で検討した上で提案の修正をしたものを20日(金)までに提出していただくことになりました。修正版についてはまとまり次第、先生方に配付しますので、ご意見等がありましたらお聞かせください。

指導案雛形(決定版)ができました

12日(木)の県研究発表会実行委員会を受けて、4月にお示しした指導案雛形の決定版が完成しました。4月のものとは違い、前述した新指導要領に準拠した形での指導案になります。なお、**指導案提出は8月2日(火)まで**となっています。できる部分から少しずつ作成に取り掛かっていただきますようお願いいたします。

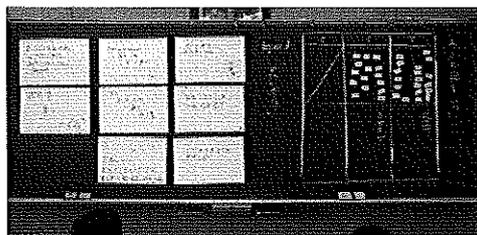
☆ 前期の「ヤマ場」!

夏休みまであと3週間、今週の1学期期末テストが終わると、いよいよ夏休みに向けてまっしぐらとなります!

しかし、夏休みを迎える前に、みなさんの道徳授業実践がテスト後から「前期のヤマ場」を迎えるようです。夏休みの指導案作成に向けて、今まで試行錯誤してきた授業も、どの発問や場作りが有効で、時間配分はどうするのがいいのか、そろそろ形が見えてくることと思います。

そんな中、最近では多くの先生が「話し合いの場作り」に苦労や自身の課題を感じていると聞きます。今まで中学校という現場で、手のかかる子どもたちがいてもきっちり授業を進めるノウハウを蓄積してきた先生方にとって、ある意味全く別世界の授業づくりに取り組んでいるように感じる部分もあるかと思えます。今度の新学習指導要領でどの教科にも必要といわれている「アクティブラーニング」に先行して取り組んでいるともいえる今回の研究。あれこれ悩んで今チャレンジしたことは、きっとこれから先生方がどこで勤務されても、その場所で生きる力となることと思います。

ちなみに、8月4日(木)のファシリテーター研修は、授業の中での話し合い活動の活発化のノウハウを先生方が身に付けるのに、大変有効だと言われています。もし、まだ申し込みをしていない先生でやっぱり参加をしたいという先生がいましたら、追加申し込みが可能ですので、研究主任まで声かけをお願いします。



<心情の見える化がすすんでいます>



<お互いの距離を近くする工夫も>

☆ 今週・来週のローテーション授業 (.....は協議会アリの授業) (★=後期ローテ授業)

28日(火) 1限: 3年B組 (A先生③)

1日(金) 1限: 2年B組 (B先生③)

3限: 3年D組 (D先生③)

5限: 1年F組 (F先生)

4日(月) 1限: 1年E組 (H先生⑤)

5日(火) 2限: 2年D組 (I先生③)

6限: 1年C組 (K先生③)

6日(水) 3限: 2年C組 (L先生③)

7日(木) 1限: 3年C組 (M先生④)

4限: 1年F組 (O先生③)

8日(金) 3限: 2年F組 (P先生③)

6限: 3年E組 (R先生④)

2限: 1年C組 (C先生④)

4限: 2年D組 (E先生②)

6限: 3年C組 (G先生③)

3限: 1年A組 (J先生④)

2限: 1年D組 (N先生③)

5限: 1年B組 (Q先生④)

☆ その他

○ 8月4日(木)「ファシリテーター研修」申込者は以下の通りです。申し込み忘れや追加で参加申し込みをしたい方は、早急に研究主任まで声をかけてください。

- ①A先生 ②B先生 ③C先生 ④D先生 ⑤E先生 ⑥F先生 ⑦G先生
⑧H先生 ⑨I先生 ⑩J先生 ⑪K先生 ⑫L先生 ⑬M先生 ⑭N先生
⑮O先生 ⑯P先生 ⑰Q先生

【資料】引用一覧

- 「道徳教育研究発表会要項 公開授業 指導案」
平成元年 11 月 1 日（水）大府市立大府北中学校

- 「教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻」
独立行政法人国際協力機構中部国際センター